
江東区民意識意向調査

報告書

平成 20 年 3 月



目次

I. 調査の概要.....	1
II. サンプル（調査回答者）特性	4
III. 調査結果.....	7
1. 江東区での居住歴と今後の定住意向.....	7
(1) 居住年数	7
(2) 定住・転出意向	9
2. 現状の江東区のイメージと江東区が目指すべきまちの姿.....	12
(1) 江東区の良いイメージ	12
(2) 江東区の悪いイメージ	16
(3) 江東区の望ましい将来像.....	20
3. 生活する周辺の環境への評価.....	24
(1) 現在の生活周辺環境評価.....	25
(2) 以前と比較した生活周辺環境評価	30
(3) 回答対象の環境との関係が特に強い層の回答状況.....	35
(4) 生活周辺環境の位置づけ（総合評価）	41
(5) 優先的に取り組むべき項目	49
(6) 満足度と優先度の関係	66
4. 江東区の将来に向けて重点的に取り組むべき政策・施策.....	74
(1) 健康維持・医療体制の充実.....	74
(2) 高齢者の生活支援.....	78
(3) 子育て環境の充実.....	83
(4) 学校の教育力向上.....	88
(5) 環境保全・資源の有効活用	93
(6) 観光.....	97
(7) 新たなまちづくり.....	101
(8) 地域コミュニティの活性化.....	106
(9) 区民参画・協働の現状と今後の意向.....	111
(10) 区民参画・協働の参加しやすい形.....	119
(11) 区政情報の公開.....	124
IV. 江東区民まつり参加者へのアンケート調査結果	128
(1) 調査概要	128
(2) 調査結果	128
資料編（アンケート調査票）	133

I. 調査の概要

調査目的

- ・ 本調査は、本区の新しい基本構想・長期基本計画の策定に向けて、幅広く区民の意識や意向を把握し、策定の基礎資料として活用することを目的に、無作為に抽出した区民を対象として実施した。

調査の内容

- ・ 属性
- ・ 江東区での居住歴と今後の定住意向
- ・ 現状の江東区のイメージと目指すべきまちの姿
- ・ 生活する周辺の環境に対する評価と取り組みの優先度
- ・ 江東区の将来に向けた政策・施策

調査方法

- ・ 調査地域：江東区全域
- ・ 調査対象：江東区在住の満 20 歳以上の男女
- ・ 標本数：3,000人
- ・ 調査方法：郵送配布、留置、郵送回収

調査対象者の抽出

- ・ 母集団…………… 江東区住民基本台帳上の満 20 歳以上の男女
- ・ 抽出法…………… 無作為抽出法

調査期間

- ・ 平成 19 年 11 月 10 日～12 月 7 日

回収結果

- ・ 3,000 サンプルを抽出し、有効回収数 1,302 サンプル（回収率 43.4%）であった。

摘要と標本誤差

- ・ すべての集計表は、小数点第 2 位を四捨五入した。
- ・ 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基礎（n）として算出した。したがって、複数の回答の設問のすべての比率は合計すると 100%にならないことがある。
- ・ 図、表中の数字で、その項目に該当する回答がまったくないものは「0.0」と示す。
- ・ 地域別分析に用いた回答者の居住地区の地区区分は以下の通りである。

図表I-1 地区区分図



図表I-2 地区・町丁目対応表

地区	該当町丁目
白河・小松橋	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋、千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富岡・東陽	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島、木場、東陽、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番)、新砂1丁目1番
豊洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀戸	亀戸
大島	大島
砂町	北砂、南砂(1丁目、5丁目)、南砂2丁目(24番~34番)、東砂(1丁目~5丁目)
南砂	東砂(6丁目~8丁目)、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番・24番~34番を除く) 3・4・6・7丁目、新砂1丁目(1番を除く) 2・3丁目、夢の島、新木場、若洲

- ・ 標本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、 比率算出の基礎(n)、及び 回答比率(p)によって異なる。

$$S.E. = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(100 - p)}{n}}$$

ただし、S.E. = 標本誤差
 N = 母集団
 n = 回収数
 p = 回答率

であり、この式は標本誤差を信頼度 95%で算出している。

図表I-3 誤差率

回収数	回答率					
	50%	40% 又は 60%	30% 又は 70%	20% 又は 80%	10% 又は 90%	5% 又は 95%
4,000	1.6%	1.5%	1.4%	1.3%	0.9%	0.7%
3,000	1.8%	1.8%	1.7%	1.5%	1.1%	0.8%
2,000	2.2%	2.2%	2.0%	1.8%	1.3%	1.0%
1,302	2.8%	2.7%	2.5%	2.2%	1.7%	1.2%
1,000	3.2%	3.1%	2.9%	2.5%	1.9%	1.4%
500	4.5%	4.4%	4.1%	3.6%	2.7%	1.9%
250	6.3%	6.2%	5.8%	5.1%	3.8%	2.8%
100	10.0%	9.8%	9.2%	8.0%	6.0%	4.4%
50	14.1%	13.9%	13.0%	11.3%	8.5%	6.2%

母集団は江東区「人口統計」による平成 19 年 1 月 1 日時点の人口

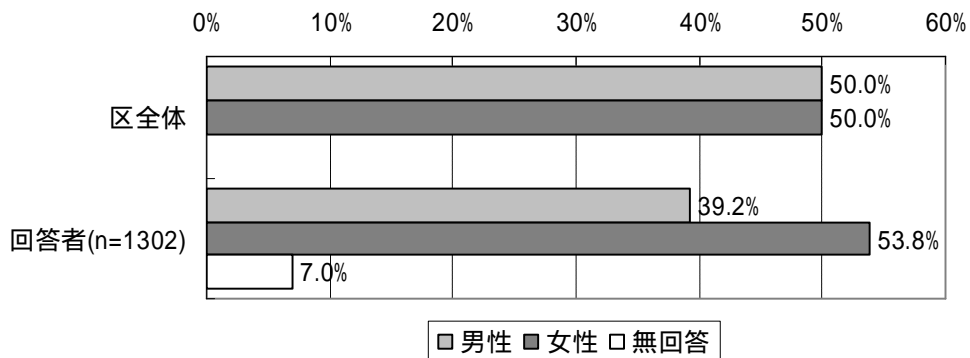
上表の誤差率は、各設問における、各選択肢の回答率に応じた標本誤差の大きさを表しており、本調査の回収数は 1,302 サンプルであったため、誤差が最も大きくなる回答率 50%の場合の標本誤差が 2.8%となっている。すなわち、ある設問における特定の選択肢の回答率が 50%であった場合、予想される母集団の回答率と今回のサンプルの回答率の誤差は、±2.8%の範囲内におさまると考えられる。

II. サンプル（調査回答者）特性

性別

- 母集団は男性、女性概ね同じ割合であるが、回答者は女性の方が高い。

図表II-1 性別

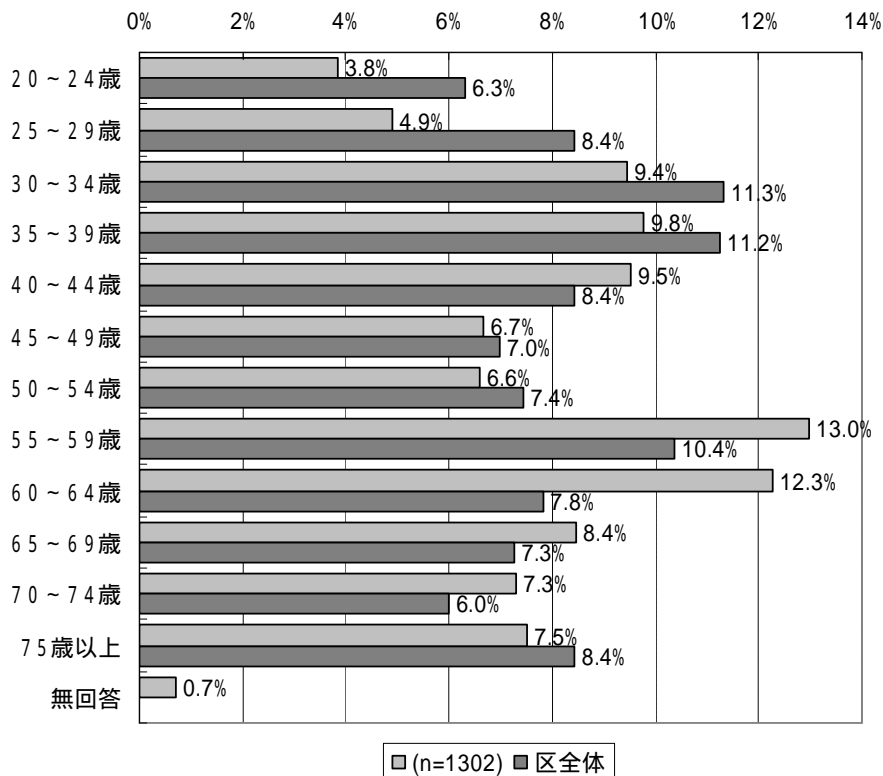


母集団は江東区「人口統計」による平成19年1月1日時点の人口

年齢

- 母集団の割合に比べて20～29歳が特に低く、55歳以上64歳以下が特に高い。

図表II-2 年齢



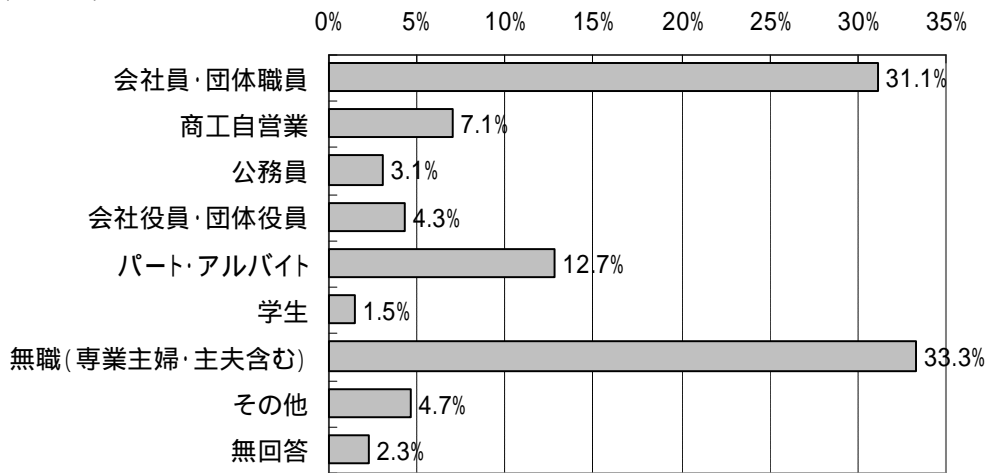
母集団は江東区「人口統計」による平成19年1月1日時点の人口

職業

- ・ 無職（専業主婦・主夫）の割合が最も高く、次いで会社員・団体職員が高い。

(n=1302)

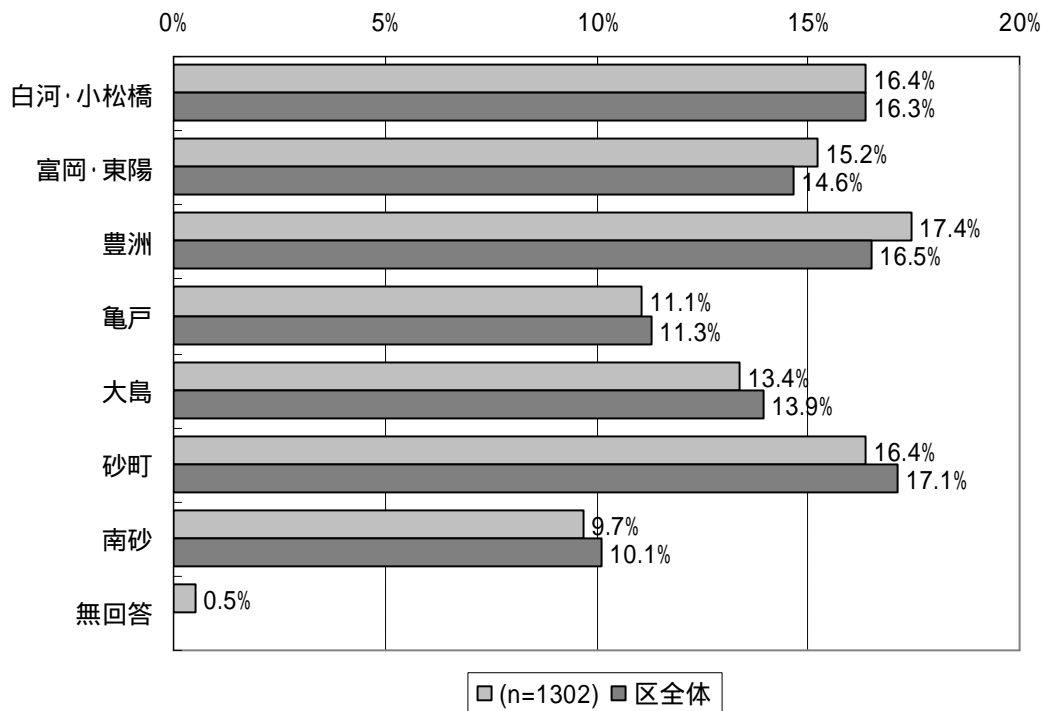
図表II-3 職業



居住地区

- ・ 居住地区の割合は豊洲、白河・小松橋及び砂町（同率）、富岡・東陽、大島、亀戸、南砂の順となっている。

図表II-4 居住地区

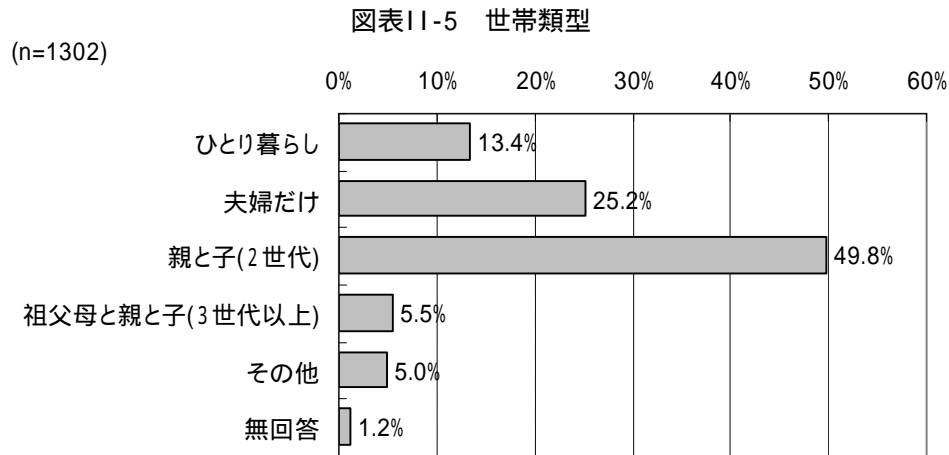


母集団は江東区「人口統計」による平成19年1月1日時点の人口

世帯の構成

a) 基本類型

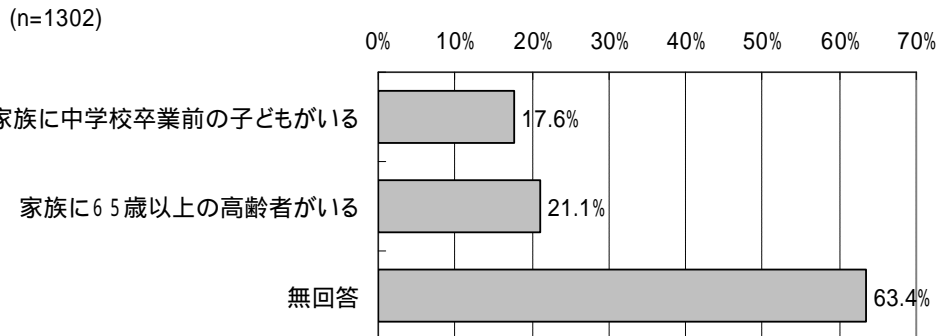
- 親と子からなる世帯の割合が最も高く 49.8%を占めており、次いで夫婦だけが高い。



b) 中学卒業前の子ども及び65歳以上の高齢者の有無

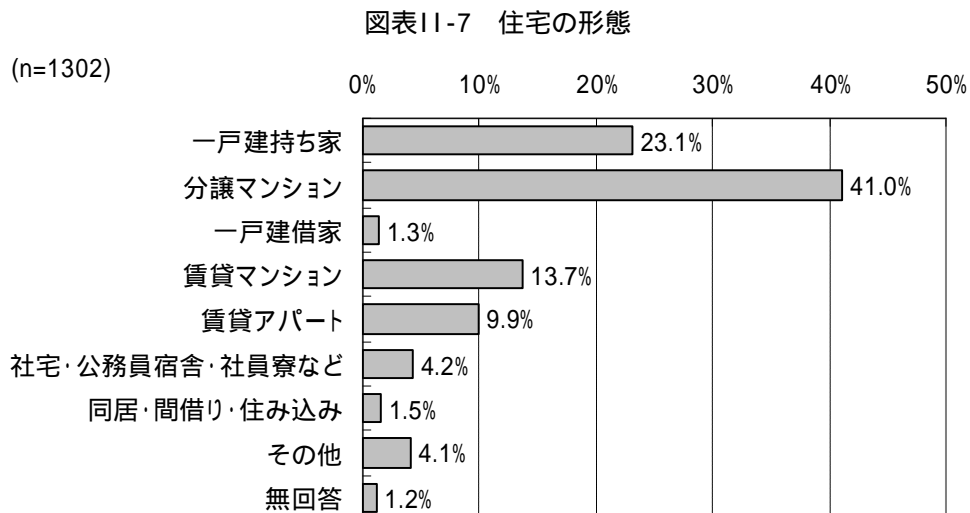
- 中学卒業前の子どもがいる世帯は17.6%、65歳以上の高齢者がいる世帯は21.1%である。

図表11-6 世帯に中学卒業前の子ども及び65歳以上の高齢者のいる回答者



住宅の形態

- 分譲マンションの割合が最も高く、次いで一戸建持家が高い。



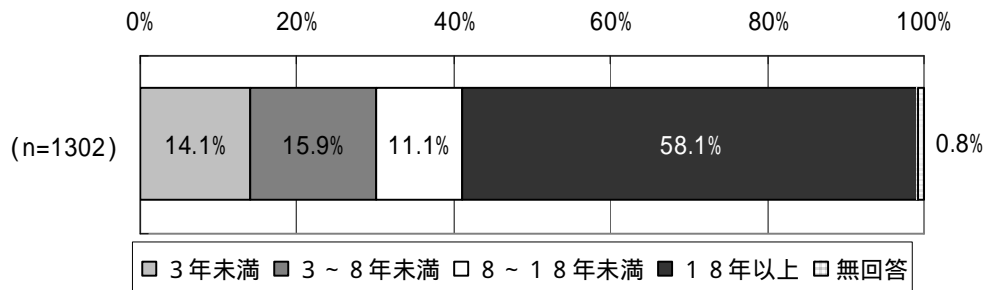
III. 調査結果

1. 江東区での居住歴と今後の定住意向

(1) 居住年数

問1 あなたはどのくらい前から江東区にお住まいですか。次の中からあてはまるもの1つにをつけてください。

図表III-1 居住年数



- ・ 「18年以上」(58.1%)の長期居住者の割合が最も高く、半数を超えている。これに続き、「3～8年未満」(15.9%)、「3年未満」(14.1%)、「8～18年未満」(11.1%)の順となっており、10年未満の居住者が3割となっている。

地区別

- ・ 地区別では、「18年以上」の割合が大島地区(70.7%)、砂町地区(68.1%)の2地区で特に高く、約7割が長期居住者となっている。また、南砂地区(61.1%)、白河・小松橋地区(60.1%)も6割を超えている。逆に豊洲地区は、「3年未満」の割合が24.7%、「3～8年未満」が28.2%であり、10年未満の居住者が半数を超えている。

図表III-2 地区別居住年数

	3年未満	3～8年未満	8～18年未満	18年以上	無回答
白河・小松橋(n=213)	15.0%	10.3%	14.1%	60.1%	0.5%
富岡・東陽(n=198)	13.6%	17.2%	11.1%	57.6%	0.5%
豊洲(n=227)	24.7%	28.2%	10.6%	35.7%	0.9%
亀戸(n=144)	13.9%	16.0%	11.1%	58.3%	0.7%
大島(n=174)	6.9%	13.8%	8.0%	70.7%	0.6%
砂町(n=213)	8.5%	10.8%	12.2%	68.1%	0.5%
南砂(n=126)	14.3%	12.7%	10.3%	61.1%	1.6%
無回答(n=7)	14.3%	14.3%	0.0%	57.1%	14.3%

性年齢別

- ・ 「18年以上」の割合は、男性の75歳以上(96.4%)、70~74歳(86.1%)、女性でも70~74歳(85.1%)、75歳以上(81.5%)の高年齢層で長期居住者が多い。また、男性の60~64歳(76.1%)、65~69歳(72.5%)、女性の55~59歳(72.6%)、60~64歳(78.8%)、65~69歳(72.9%)の中高年齢層も長期居住者が7割を超えており、全体的にみて、中高年齢層の長期居住傾向が強い。
- ・ 30歳未満についてみると、「18年以上」の長期居住者は、20~24歳の男性(52.4%)、同女性(67.9%)で高くなっている。その一方で、「3年未満」の短期居住者は、男性の25~29歳(36.4%)、30~34歳(38.1%)及び女性の20~24歳(25.0%)、25~29歳(40.5%)、30~34歳(39.5%)で高く、これらの年齢層では、生まれてから居住し続けている層がいる一方で、他から転入してきた層も多いことがわかる。
- ・ また、30歳代、40歳代については男女共に「3~8年未満」「8~18年未満」の割合が他の年齢層より多い傾向がみられ、これらの年齢層でも、他からの転入者が多いことがうかがえる。

図表III-3 性年齢別居住年数

< 男性 >

	3年未満	3~8年未満	8~18年未満	18年以上	無回答
20~24歳(n=21)	19.0%	19.0%	9.5%	52.4%	0.0%
25~29歳(n=22)	36.4%	18.2%	0.0%	45.5%	0.0%
30~34歳(n=42)	38.1%	19.0%	11.9%	31.0%	0.0%
35~39歳(n=42)	23.8%	33.3%	11.9%	31.0%	0.0%
40~44歳(n=58)	17.2%	36.2%	15.5%	31.0%	0.0%
45~49歳(n=47)	10.6%	19.1%	19.1%	51.1%	0.0%
50~54歳(n=40)	5.0%	20.0%	12.5%	60.0%	2.5%
55~59歳(n=65)	13.8%	10.8%	7.7%	67.7%	0.0%
60~64歳(n=67)	6.0%	7.5%	9.0%	76.1%	1.5%
65~69歳(n=40)	5.0%	15.0%	7.5%	72.5%	0.0%
70~74歳(n=36)	2.8%	0.0%	8.3%	86.1%	2.8%
75歳以上(n=28)	3.6%	0.0%	0.0%	96.4%	0.0%
無回答(n=2)	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
男性計(n=510)	14.1%	17.1%	10.2%	58.0%	0.6%

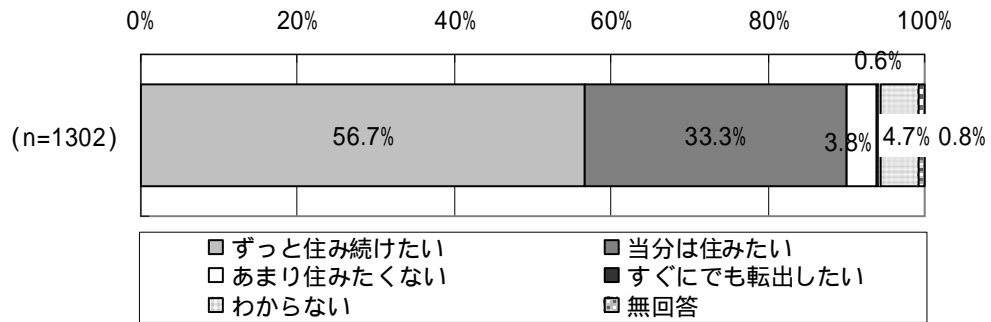
< 女性 >

	3年未満	3~8年未満	8~18年未満	18年以上	無回答
20~24歳(n=28)	25.0%	0.0%	7.1%	67.9%	0.0%
25~29歳(n=42)	40.5%	21.4%	4.8%	33.3%	0.0%
30~34歳(n=81)	39.5%	28.4%	3.7%	28.4%	0.0%
35~39歳(n=82)	20.7%	37.8%	20.7%	20.7%	0.0%
40~44歳(n=63)	11.1%	20.6%	28.6%	39.7%	0.0%
45~49歳(n=40)	20.0%	10.0%	30.0%	40.0%	0.0%
50~54歳(n=40)	7.5%	25.0%	7.5%	57.5%	2.5%
55~59歳(n=84)	10.7%	10.7%	6.0%	72.6%	0.0%
60~64歳(n=80)	2.5%	7.5%	11.3%	78.8%	0.0%
65~69歳(n=59)	1.7%	6.8%	16.9%	72.9%	1.7%
70~74歳(n=47)	4.3%	4.3%	4.3%	85.1%	2.1%
75歳以上(n=54)	1.9%	5.6%	9.3%	81.5%	1.9%
無回答(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
女性計(n=701)	15.1%	16.3%	12.6%	55.5%	0.6%

(2) 定住・転出意向

問2 これからも江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに をつけてください。

図表III-4 定住・転出意向



- ・ 「ずっと住み続けたい」(56.7%)と「当分は住みたい」(33.3%)を合わせた、《定住意向》(90.0%)が9割と高い。

地区別定住・転出意向

- ・ 地区別に「ずっと住み続けたい」「当分は住みたい」を合わせた《定住意向》をみると、いずれの地区も9割程度となっており、高い定住意向を示している。
- ・ 居住年数「3年未満」「3～8年未満」の割合が他地区と比較して高い豊洲地区においても、「ずっと住み続けたい」割合は他地区より低いものの、「当分は住みたい」と合わせると89.4%が定住意向を持っていることがうかがえる。

図表III-5 地区別《定住意向》の推移

	ずっと住み続けたい	当分は住みたい	あまり住みたくない	すぐにでも転出したい	わからない	無回答
白河・小松橋(n=213)	60.1%	32.9%	2.3%	0.9%	2.3%	1.4%
富岡・東陽(n=198)	55.6%	34.3%	3.5%	1.5%	4.0%	1.0%
豊洲(n=227)	47.1%	42.3%	4.4%	0.9%	4.8%	0.4%
亀戸(n=144)	59.7%	30.6%	2.1%	0.7%	6.9%	0.0%
大島(n=174)	60.9%	28.2%	3.4%	0.0%	6.9%	0.6%
砂町(n=213)	58.2%	30.5%	5.6%	0.0%	4.2%	1.4%
南砂(n=126)	60.3%	30.2%	4.0%	0.0%	4.8%	0.8%
無回答(n=7)	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%

性年齢別

- ・ 「ずっと住みたい」という強い《定住意向》は、男性では75歳以上(89.3%)、70～74歳(75.0%)、女性では75歳以上(83.3%)、70～74歳(76.6%)がそれぞれ高い。
- ・ 「当分は住みたい」については、男性の20～24歳(66.7%)、25～29歳(63.6%)、30～34歳(52.4%)、女性の20～24歳(46.4%)、25～29歳(59.5%)、30～34歳(56.8%)、35～39歳(45.1%)が高い割合となっており、20～30歳代は「ずっと住みたい」という強い定住志向はないものの、積極的な転出意向はなく、当分は住む定住層と捉えることができる。

図表-6 性年齢別《定住意向》

< 男性 >

	ずっと住みたい	当分は住みたい	あまり住みたくない	すぐにも転出したい	わからない	無回答
20～24歳(n=21)	9.5%	66.7%	4.8%	0.0%	19.0%	0.0%
25～29歳(n=22)	31.8%	63.6%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
30～34歳(n=42)	42.9%	52.4%	2.4%	0.0%	2.4%	0.0%
35～39歳(n=42)	50.0%	31.0%	2.4%	0.0%	16.7%	0.0%
40～44歳(n=58)	41.4%	50.0%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%
45～49歳(n=47)	66.0%	34.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～54歳(n=40)	47.5%	45.0%	5.0%	0.0%	0.0%	2.5%
55～59歳(n=65)	52.3%	38.5%	4.6%	0.0%	4.6%	0.0%
60～64歳(n=67)	79.1%	14.9%	4.5%	0.0%	1.5%	0.0%
65～69歳(n=40)	62.5%	30.0%	5.0%	0.0%	2.5%	0.0%
70～74歳(n=36)	75.0%	16.7%	2.8%	0.0%	2.8%	2.8%
75歳以上(n=28)	89.3%	7.1%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%
無回答(n=2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性計(n=510)	56.5%	35.5%	3.9%	0.0%	3.7%	0.4%

< 女性 >

	ずっと住みたい	当分は住みたい	あまり住みたくない	すぐにも転出したい	わからない	無回答
20～24歳(n=28)	39.3%	46.4%	3.6%	3.6%	7.1%	0.0%
25～29歳(n=42)	28.6%	59.5%	7.1%	0.0%	4.8%	0.0%
30～34歳(n=81)	23.5%	56.8%	3.7%	1.2%	14.8%	0.0%
35～39歳(n=82)	40.2%	45.1%	3.7%	1.2%	6.1%	3.7%
40～44歳(n=63)	49.2%	38.1%	4.8%	0.0%	7.9%	0.0%
45～49歳(n=40)	47.5%	30.0%	12.5%	2.5%	7.5%	0.0%
50～54歳(n=40)	50.0%	40.0%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%
55～59歳(n=84)	69.0%	22.6%	2.4%	0.0%	6.0%	0.0%
60～64歳(n=80)	72.5%	21.3%	1.3%	0.0%	2.5%	2.5%
65～69歳(n=59)	71.2%	20.3%	3.4%	0.0%	3.4%	1.7%
70～74歳(n=47)	76.6%	12.8%	6.4%	2.1%	0.0%	2.1%
75歳以上(n=54)	83.3%	13.0%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%
無回答(n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性計(n=701)	54.9%	33.4%	4.0%	1.0%	5.6%	1.1%

居住年数別

- ・ 「3年未満」「3～8年未満」では、「当分は住みたい」の割合が最も高いのに対し、「9～18年未満」「18年以上」では、「ずっと住みたい」が最も高く、居住年数が長い方が定住意向が高くなっている。

図表III-7 居住年数別《定住意向》

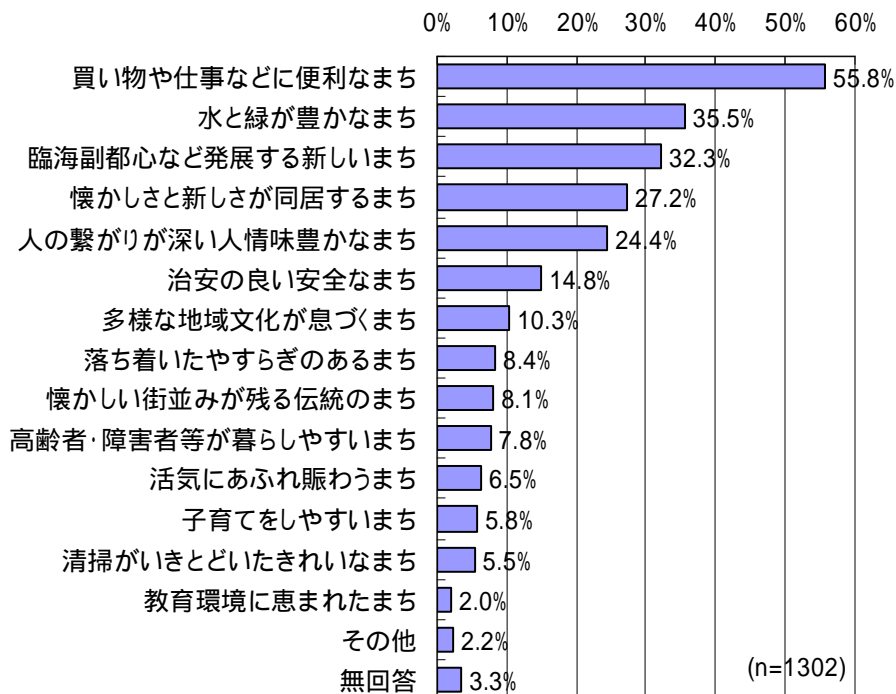
	ずっと住みたい	当分は住みたい	あまり住みたくない	すぐにも転出したい	わからない	無回答
3年未満(n=184)	26.6%	60.9%	6.0%	0.5%	5.4%	0.5%
3～8年未満(n=207)	39.1%	49.3%	6.3%	0.5%	3.9%	1.0%
9～18年未満(n=145)	51.7%	37.9%	2.8%	1.4%	6.2%	0.0%
18年以上(n=756)	70.1%	21.6%	2.9%	0.5%	4.5%	0.4%
無回答(n=10)	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

2. 現状の江東区のイメージと江東区が目指すべきまちの姿

(1) 江東区の良いイメージ

問3 あなたが思い浮かべる江東区の良いイメージ(アピールできるイメージ)はどれですか。次の中から、あてはまるもの3つ以内に をつけてください。

図表111-8 江東区の良いイメージ



- ・ 「買い物や仕事などに便利なまち」(55.8%)が最も高く、「水と緑が豊かなまち」(35.5%)、「臨海副都心など発展する新しいまち」(32.3%)の順となっている。

地区別

- ・ 豊洲地区では、回答者全体と異なり「臨海副都心など発展する新しいまち」(64.3%)が最も高くなっている。
- ・ 他地区はいずれも回答者全体と同様に「買い物や仕事などに便利なまち」が高く、南砂地区(67.5%)、大島地区(67.2%)で特に高い割合を示している。

図表111-9 地区別江東区の良いイメージ

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋(n=213)	買い物や仕事などに便利なまち 48.8%	水と緑が豊かなまち 39.4%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 34.7%	懐かしさと新しさが同居するまち 32.4%	臨海副都心など発展する新しいまち 22.5%
富岡・東陽(n=198)	買い物や仕事などに便利なまち 56.1%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 水と緑が豊かなまち 31.3%	懐かしさと新しさが同居するまち 28.8%	臨海副都心など発展する新しいまち 20.2%	
豊洲(n=227)	臨海副都心など発展する新しいまち 64.3%	買い物や仕事などに便利なまち 45.8%	水と緑が豊かなまち 37.4%	懐かしさと新しさが同居するまち 27.3%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 14.1%
亀戸(n=144)	買い物や仕事などに便利なまち 62.5%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 27.1%	臨海副都心など発展する新しいまち 懐かしさと新しさが同居するまち 22.9%	水と緑が豊かなまち 22.2%	
大島(n=174)	買い物や仕事などに便利なまち 67.2%	臨海副都心など発展する新しいまち 29.9%	水と緑が豊かなまち 懐かしさと新しさが同居するまち 28.2%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 23.0%	
砂町(n=213)	買い物や仕事などに便利なまち 51.2%	水と緑が豊かなまち 43.7%	臨海副都心など発展する新しいまち 29.6%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 懐かしさと新しさが同居するまち 23.5%	
南砂(n=126)	買い物や仕事などに便利なまち 67.5%	水と緑が豊かなまち 42.9%	臨海副都心など発展する新しいまち 29.4%	懐かしさと新しさが同居するまち 26.2%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 16.7%

性年齢別

- ・ 男性では、20歳代を除き、回答者全体と同様に「買い物や仕事などに便利なまち」が最も高くなっている。
- ・ 男性の20～24歳は回答者全体と異なり「臨海副都心など発展する新しいまち」(38.1%)、25～29歳は「水と緑が豊かなまち」(45.5%)が最も高くなっている。
- ・ 女性は、全ての年齢層で回答者全体と同様に「買い物や仕事などに便利なまち」が最も高くなっており、45～49歳で70.0%と特に高くなっている。
- ・ 女性の75歳以上は、回答者全体と異なり「水と緑が豊かなまち」(42.6%)が「買い物や仕事などに便利なまち」と同率で最も高くなっている。

図表III-10 性年齢別江東区の良いイメージ

< 男性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	臨海副都心など発展する新しいまち	水と緑が豊かなまち	買い物や仕事などに便利なまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 多様な地域文化が息づくまち 懐かしさと新しさが同居するまち	
	38.1%	28.6%	23.8%	19.0%	
25～29歳(n=22)	水と緑が豊かなまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 買い物や仕事などに便利なまち 臨海副都心など発展する新しいまち		懐かしさと新しさが同居するまち	
	45.5%	36.4%		31.8%	
30～34歳(n=42)	買い物や仕事などに便利なまち	水と緑が豊かなまち	臨海副都心など発展する新しいまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 懐かしさと新しさが同居するまち	
	47.6%	38.1%	31.0%	23.8%	
35～39歳(n=42)	買い物や仕事などに便利なまち	臨海副都心など発展する新しいまち 懐かしさと新しさが同居するまち		水と緑が豊かなまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち
	61.9%	38.1%		35.7%	14.3%
40～44歳(n=58)	買い物や仕事などに便利なまち	臨海副都心など発展する新しいまち	水と緑が豊かなまち	懐かしさと新しさが同居するまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち
	53.4%	37.9%	29.3%	27.6%	24.1%
45～49歳(n=47)	買い物や仕事などに便利なまち	水と緑が豊かなまち	臨海副都心など発展する新しいまち 懐かしさと新しさが同居するまち		人の繋がりが深い人情味豊かなまち
	61.7%	40.4%	38.3%		34.0%
50～54歳(n=40)	買い物や仕事などに便利なまち	水と緑が豊かなまち	臨海副都心など発展する新しいまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち	懐かしさと新しさが同居するまち
	52.5%	42.5%	37.5%	27.5%	27.5%
55～59歳(n=65)	買い物や仕事などに便利なまち	臨海副都心など発展する新しいまち	水と緑が豊かなまち	懐かしさと新しさが同居するまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち
	60.0%	46.2%	36.9%	29.2%	15.4%
60～64歳(n=67)	買い物や仕事などに便利なまち	水と緑が豊かなまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち	臨海副都心など発展する新しいまち	懐かしさと新しさが同居するまち
	62.7%	31.3%	25.4%	20.9%	19.4%
65～69歳(n=40)	買い物や仕事などに便利なまち	臨海副都心など発展する新しいまち	治安の良い安全なまち	水と緑が豊かなまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち
	55.0%	32.5%	22.5%	22.5%	20.0%
70～74歳(n=36)	買い物や仕事などに便利なまち	水と緑が豊かなまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち	臨海副都心など発展する新しいまち	懐かしさと新しさが同居するまち
	50.0%	30.6%	22.2%	22.2%	22.2%
75歳以上(n=28)	買い物や仕事などに便利なまち	治安の良い安全なまち	水と緑が豊かなまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち	懐かしさと新しさが同居するまち
	50.0%	28.6%	28.6%	25.0%	17.9%
男性計(n=510)	買い物や仕事などに便利なまち	水と緑が豊かなまち	臨海副都心など発展する新しいまち	懐かしさと新しさが同居するまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち
	54.3%	34.3%	33.1%	26.5%	23.3%

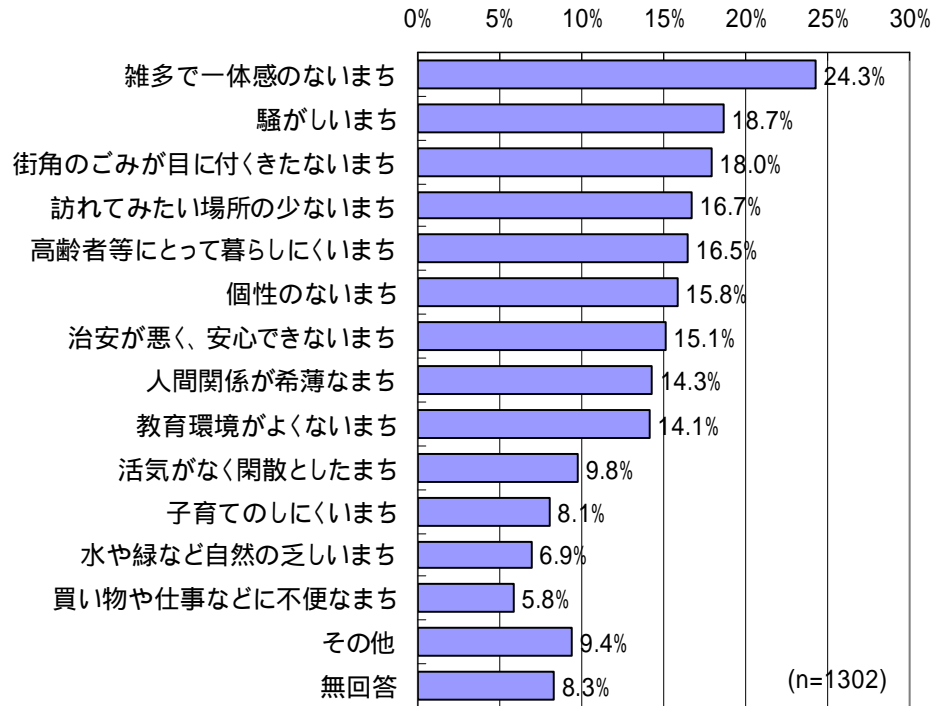
< 女性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	買い物や仕事などに便利なまち 57.1%	臨海副都心など発展する新しいまち 32.1%	懐かしさと新しさが同居するまち 25.0%	治安の良い安全なまち 21.4%	子育てをしやすいまち 17.9%
25～29歳(n=42)	買い物や仕事などに便利なまち 54.8%	臨海副都心など発展する新しいまち 40.5%	懐かしさと新しさが同居するまち 28.6%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 21.4%	治安の良い安全なまち 19.0%
30～34歳(n=81)	買い物や仕事などに便利なまち 50.6%	臨海副都心など発展する新しいまち 40.7%	水と緑が豊かなまち 33.3%	懐かしさと新しさが同居するまち 32.1%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 25.9%
35～39歳(n=82)	買い物や仕事などに便利なまち 56.1%	臨海副都心など発展する新しいまち 46.3%	懐かしさと新しさが同居するまち 35.4%	水と緑が豊かなまち 31.7%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 19.5%
40～44歳(n=63)	買い物や仕事などに便利なまち 58.7%	臨海副都心など発展する新しいまち 36.5%	水と緑が豊かなまち 34.9%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 28.6%	懐かしさと新しさが同居するまち 23.8%
45～49歳(n=40)	買い物や仕事などに便利なまち 70.0%	懐かしさと新しさが同居するまち 52.5%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 42.5%	水と緑が豊かなまち 37.5%	臨海副都心など発展する新しいまち 17.5%
50～54歳(n=40)	買い物や仕事などに便利なまち 65.0%	水と緑が豊かなまち 37.5%	臨海副都心など発展する新しいまち 35.0%	懐かしさと新しさが同居するまち 30.0%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 20.0%
55～59歳(n=84)	買い物や仕事などに便利なまち 65.5%	水と緑が豊かなまち 46.4%	懐かしさと新しさが同居するまち 33.3%	臨海副都心など発展する新しいまち 28.6%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 22.6%
60～64歳(n=80)	買い物や仕事などに便利なまち 60.0%	水と緑が豊かなまち 37.5%	臨海副都心など発展する新しいまち 30.0%	懐かしさと新しさが同居するまち 26.3%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 23.8%
65～69歳(n=59)	買い物や仕事などに便利なまち 52.5%	水と緑が豊かなまち 37.3%	臨海副都心など発展する新しいまち 30.5%	治安の良い安全なまち 23.7%	懐かしさと新しさが同居するまち
70～74歳(n=47)	買い物や仕事などに便利なまち 61.7%	水と緑が豊かなまち 40.4%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 29.8%	治安の良い安全なまち 21.3%	臨海副都心など発展する新しいまち 19.1%
75歳以上(n=54)	買い物や仕事などに便利なまち 42.6%	水と緑が豊かなまち	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 24.1%	治安の良い安全なまち 18.5%	懐かしさと新しさが同居するまち
女性計(n=701)	買い物や仕事などに便利なまち 57.5%	水と緑が豊かなまち 35.7%	臨海副都心など発展する新しいまち 32.0%	懐かしさと新しさが同居するまち 28.8%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 24.1%

(2) 江東区の悪いイメージ

問4 あなたが思い浮かべる江東区の悪いイメージ(改善されるべきイメージ)はどれですか。次の中から、あてはまるもの3つ以内に をつけてください。

図表III-11 江東区の悪いイメージ



- ・ 「雑多で一体感のないまち」(24.3%)が最も高く、「騒がしいまち」(18.7%)、「街角のごみが目に付きたないまち」(18.0%)の順となっている。

地区別

- ・ 亀戸地区以外ではいずれも回答者全体と同様に「雑多で一体感のないまち」が最も高くなっている。
- ・ 亀戸地区では、回答者全体と異なり「街角のごみが目に付きたないまち」が最も高く、豊洲地区では「教育環境がよくないまち」（23.8%）、砂町地区では「治安が悪く安心できないまち」（20.7%）が、それぞれ「雑多で一体感のないまち」と同率で最も高くなっている。

図表III-12 地区別江東区の悪いイメージ

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋 (n=213)	雑多で一体感のないまち 25.8%	訪れてみたい場所の少ないまち 20.2%	個性のないまち 19.7%	騒がしいまち 18.3%	活気がなく閑散としたまち 16.0%
富岡・東陽 (n=198)	雑多で一体感のないまち 27.8%	騒がしいまち 街角のごみが目に付きたないまち 18.7%	高齢者等にとって暮らしにくいまち	高齢者等にとって暮らしにくいまち 16.7%	個性のないまち 訪れてみたい場所の少ないまち 11.6%
豊洲(n=227)	教育環境がよくないまち 雑多で一体感のないまち 23.8%	高齢者等にとって暮らしにくいまち	高齢者等にとって暮らしにくいまち 18.9%	人間関係が希薄なまち 騒がしいまち 18.1%	
亀戸(n=144)	街角のごみが目に付きたないまち 雑多で一体感のないまち 21.5%	騒がしいまち 個性のないまち 20.1%			訪れてみたい場所の少ないまち 18.8%
大島(n=174)	雑多で一体感のないまち 25.9%	高齢者等にとって暮らしにくいまち 訪れてみたい場所の少ないまち 20.7%	治安が悪く、安心できないまち 20.1%	騒がしいまち 個性のないまち 19.0%	
砂町(n=213)	治安が悪く、安心できないまち 雑多で一体感のないまち 20.7%	街角のごみが目に付きたないまち 20.2%	騒がしいまち 18.3%	個性のないまち 訪れてみたい場所の少ないまち 17.8%	
南砂(n=126)	雑多で一体感のないまち 24.6%	街角のごみが目に付きたないまち 20.6%	騒がしいまち 19.0%	個性のないまち 17.5%	治安が悪く、安心できないまち 訪れてみたい場所の少ないまち 16.7%

性年齢別

- ・ 男性では、回答者全体と異なり、男性の30～34歳、40～44歳で「教育環境がよくないまち」、35～39歳、45～49歳で「騒がしいまち」、20～24歳で「訪れてみたい場所が少ないまち」、25～29歳で「人間関係が希薄なまち」、25～29歳、60～64歳、75歳以上で「街角のごみが目に付きたないまち」、70～74歳で「高齢者にとって暮らしにくいまち」がそれぞれ最も高くなっている。
- ・ 女性では、回答者全体と異なり、40～44歳、65～69歳で「高齢者にとって暮らしにくいまち」、20～24歳、75歳以上で「街角のごみが目に付きたないまち」、35～39歳で「教育環境がよくないまち」、25～29歳、70～74歳で「訪れてみたい場所が少ないまち」がそれぞれ最も高くなっている。

図表III-13 性年齢別江東区の悪いイメージ

<男性>

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	訪れてみたい場所の少ないまち	雑多で一体感のないまち	治安が悪く、安心できないまち	騒がしいまち	街角のごみが目に付きたないまち 高齢者等にとって暮らしにくいまち 水や緑など自然の乏しいまち
	33.3%	28.6%	23.8%	19.0%	14.3%
25～29歳(n=22)	人間関係が希薄なまち		騒がしいまち		個性のないまち 治安が悪く、安心できないまち
	街角のごみが目に付きたないまち		水や緑など自然の乏しいまち		訪れてみたい場所の少ないまち
	27.3%		22.7%		18.2%
30～34歳(n=42)	教育環境がよくないまち	治安が悪く、安心できないまち	雑多で一体感のないまち	子育てのしにくいまち	騒がしいまち
	26.2%	23.8%	21.4%	19.0%	14.3%
35～39歳(n=42)	騒がしいまち	治安が悪く、安心できないまち	雑多で一体感のないまち	街角のごみが目に付きたないまち	個性のないまち 教育環境がよくないまち 高齢者等にとって暮らしにくいまち
	26.2%	23.8%	19.0%	11.9%	9.5%
40～44歳(n=58)	教育環境がよくないまち	騒がしいまち	雑多で一体感のないまち	治安が悪く、安心できないまち	訪れてみたい場所の少ないまち
	34.5%	27.6%	25.9%		17.2%
45～49歳(n=47)	騒がしいまち	治安が悪く、安心できないまち	高齢者等にとって暮らしにくいまち	街角のごみが目に付きたないまち	雑多で一体感のないまち
	25.5%	21.3%	19.1%		17.0%
50～54歳(n=40)	雑多で一体感のないまち	教育環境がよくないまち	街角のごみが目に付きたないまち		個性のないまち 治安が悪く、安心できないまち
	30.0%	22.5%	20.0%	高年齢者等にとって暮らしにくいまち	水や緑など自然の乏しいまち 訪れてみたい場所の少ないまち
					15.0%
55～59歳(n=65)	雑多で一体感のないまち	個性のないまち	治安が悪く、安心できないまち		訪れてみたい場所の少ないまち
	38.5%	23.1%	20.0%	高年齢者等にとって暮らしにくいまち	
					18.5%
60～64歳(n=67)	街角のごみが目に付きたないまち		騒がしいまち	個性のないまち	人間関係が希薄なまち
	雑多で一体感のないまち				
	28.4%		26.9%	23.9%	20.9%
65～69歳(n=40)	雑多で一体感のないまち	人間関係が希薄なまち	高年齢者等にとって暮らしにくいまち	騒がしいまち	
	40.0%	30.0%	22.5%	個性のないまち	
					17.5%
70～74歳(n=36)	高年齢者等にとって暮らしにくいまち	人間関係が希薄なまち			騒がしいまち 活気がなく閑散としたまち
		個性のないまち			街角のごみが目に付きたないまち
		雑多で一体感のないまち			訪れてみたい場所の少ないまち
	33.3%		19.4%		16.7%
75歳以上(n=28)	街角のごみが目に付きたないまち	活気がなく閑散としたまち			人間関係が希薄なまち
		個性のないまち			訪れてみたい場所の少ないまち
		高年齢者等にとって暮らしにくいまち			雑多で一体感のないまち
	28.6%		25.0%		21.4%
男性計(n=510)	雑多で一体感のないまち	騒がしいまち	街角のごみが目に付きたないまち	個性のないまち	
	26.3%	20.6%	17.6%	高年齢者等にとって暮らしにくいまち	
					17.5%

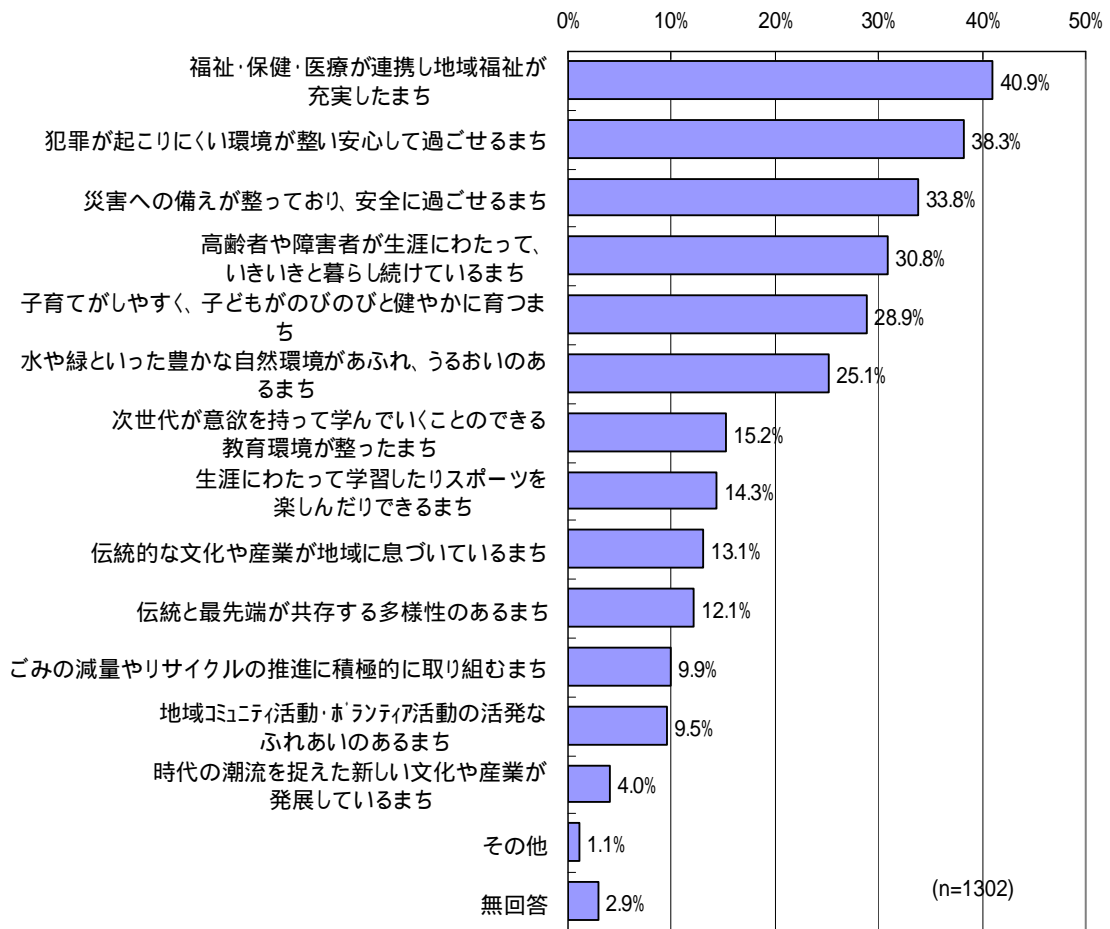
<女性>

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	街角のごみが目に付きたないまち 35.7%	人間関係が希薄なまち 個性のないまち 訪れてみたい場所の少ないまち 21.4%			治安が悪く、安心できないまち 14.3%
25～29歳(n=42)	訪れてみたい場所の少ないまち 31.0%	街角のごみが目に付きたないまち 23.8%	治安が悪く、安心できないまち 19.0%	騒がしいまち 16.7%	人間関係が希薄なまち 個性のないまち 教育環境がよくないまち 14.3%
30～34歳(n=81)	雑多で一体感のないまち 24.7%	騒がしいまち 訪れてみたい場所の少ないまち 21.0%		治安が悪く、安心できないまち 18.5%	教育環境がよくないまち 17.3%
35～39歳(n=82)	教育環境がよくないまち 29.3%	子育てのしにくいまち 24.4%	雑多で一体感のないまち 22.0%	騒がしいまち 治安が悪く、安心できないまち 20.7%	
40～44歳(n=63)	高齢者等にとって暮らしにくいまち 22.2%	騒がしいまち 雑多で一体感のないまち 19.0%		教育環境がよくないまち 15.9%	治安が悪く、安心できないまち 14.3%
45～49歳(n=40)	雑多で一体感のないまち 32.5%	教育環境がよくないまち 30.0%	治安が悪く、安心できないまち 20.0%	騒がしいまち 17.5%	街角のごみが目に付きたないまち 訪れてみたい場所の少ないまち 12.5%
50～54歳(n=40)	雑多で一体感のないまち 27.5%	街角のごみが目に付きたないまち 25.0%	個性のないまち 高齢者等にとって暮らしにくいまち 17.5%		人間関係が希薄なまち 騒がしいまち 15.0%
55～59歳(n=84)	雑多で一体感のないまち 32.1%	街角のごみが目に付きたないまち 26.2%	高齢者等にとって暮らしにくいまち 25.0%	騒がしいまち 23.8%	個性のないまち 17.9%
60～64歳(n=80)	雑多で一体感のないまち 30.0%	人間関係が希薄なまち 活気がなく閑散としたまち 個性のないまち 20.0%			騒がしいまち 17.5%
65～69歳(n=59)	高齢者等にとって暮らしにくいまち 28.8%	雑多で一体感のないまち 23.7%	訪れてみたい場所の少ないまち 20.3%	人間関係が希薄なまち 騒がしいまち 18.6%	
70～74歳(n=47)	訪れてみたい場所の少ないまち 21.3%	人間関係が希薄なまち 高齢者等にとって暮らしにくいまち 17.0%	活気がなく閑散としたまち 個性のないまち 街角のごみが目に付きたないまち 雑多で一体感のないまち 14.9%		
75歳以上(n=54)	街角のごみが目に付きたないまち 27.8%	個性のないまち 高齢者等にとって暮らしにくいまち 22.2%		訪れてみたい場所の少ないまち 18.5%	雑多で一体感のないまち 16.7%
女性計(n=701)	買い物や仕事などに便利なまち 57.5%	水と緑が豊かなまち 35.7%	臨海副都心など発展する新しいまち 32.0%	懐かしさと新しさが同居するまち 28.8%	人の繋がりが深い人情味豊かなまち 24.1%

(3) 江東区の望ましい将来像

問5 あなたにとって、江東区は将来どのようなまちになっていくことが望ましいと思いますか。次の中からあてはまるもの3つ以内に をつけてください。

図表III-14 江東区の望ましい将来像



- ・ 「福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち」(40.9%)が最も高く、「犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち」(38.3%)、「災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち」(33.8%)、「高齢者や障害者が生涯にわたっていきいきと暮らしていけるまち」(30.8%)の順となっている。

地区別

- ・ 豊洲地区以外ではいずれも回答者全体と同様に「福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち」が最も高くなっている。
- ・ 豊洲地区では、回答者全体と異なり「犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち」（37.4%）が最も高くなっている。

図表III-15 地区別江東区の望ましい将来像

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋 (n=213)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち 41.8%	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち 33.8%	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち 32.4%	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち 30.5%	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち 30.0%
富岡・東陽 (n=198)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち 40.9%	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち 38.9%	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち 36.9%	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち 31.8%	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち 29.8%
豊洲(n=227)	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち 37.4%	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち 35.7%	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち 32.6%	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち 31.3%	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち 30.0%
亀戸(n=144)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち 44.4%	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち 42.4%	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち 29.2%	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち 28.5%	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち
大島(n=174)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち 41.4%	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち 39.7%	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち 39.1%	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち 38.5%	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち 28.2%
砂町(n=213)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち 46.9%	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち 40.8%	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち 34.3%	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち 31.9%	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち 25.4%
南砂(n=126)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち 45.2%	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち 41.3%	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち 32.5%	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち 31.0%	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち 29.4%

性年齢別

- ・ 男性では、回答者全体と異なり、20～24歳で「犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち」、20～29歳で「水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち」、30～44歳で「子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち」が最も高くなっている。
- ・ また、45～54歳で回答者全体と同様に「福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち」、60歳以上はいずれの年齢層も「高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち」が最も高くなっており、年齢層によって、望ましい将来像が異なっている。
- ・ 女性では、回答者全体と異なり25～34歳で「子育てがしやすく子どもがのびのびと健や

かに育つまち」、35～44歳、70～74歳で「犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち」、75歳以上で「高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち」が最も高くなっている。

図表III-16 性年齢別江東区の望ましい将来像

< 男性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳 (n=21)	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち		子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち		生涯にわたって学習したりスポーツを楽しんだりできるまち
	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち		災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち		高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち
	38.1%		33.3%		19.0%
25～29歳 (n=22)	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	生涯にわたって学習したりスポーツを楽しんだりできるまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち
	50.0%	45.5%	36.4%	31.8%	
30～34歳 (n=42)	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち
	52.4%	50.0%	35.7%	33.3%	28.6%
35～39歳 (n=42)	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	次世代が意欲を持って学んでいくことのできる教育環境が整ったまち
	54.8%	52.4%	35.7%	26.2%	21.4%
40～44歳 (n=58)	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち
	43.1%	41.4%		31.0%	22.4%
45～49歳 (n=47)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち	生涯にわたって学習したりスポーツを楽しんだりできるまち
	46.8%	40.4%	36.2%	27.7%	25.5%
50～54歳 (n=40)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち
	42.5%	35.0%	32.5%		25.0%
55～59歳 (n=65)	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	地域コミュニティ活動・ボランティア活動の活発なふれあいのあるまち
	43.1%	40.0%	38.5%	36.9%	23.1%
60～64歳 (n=67)	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち
	43.3%	40.3%	34.3%	26.9%	25.4%
65～69歳 (n=40)	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	次世代が意欲を持って学んでいくことのできる教育環境が整ったまち	生涯にわたって学習したりスポーツを楽しんだりできるまち
	45.0%	37.5%	25.0%	20.0%	
70～74歳 (n=36)	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち
	61.1%	52.8%	33.3%	27.8%	25.0%
75歳以上 (n=28)	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	次世代が意欲を持って学んでいくことのできる教育環境が整ったまち
	50.0%	46.4%	32.1%	17.9%	
男性計 (n=510)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち
	36.9%	35.3%	34.9%	29.8%	29.0%

< 女性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳 (n=28)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち
	53.6%	39.3%	32.1%		
25～29歳 (n=42)	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち
	61.9%	38.1%	35.7%	23.8%	
30～34歳 (n=81)	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち
	49.4%	43.2%	33.3%	30.9%	27.2%
35～39歳 (n=82)	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち
	47.6%	41.5%	37.8%	32.9%	31.7%
40～44歳 (n=63)	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち
	50.8%	39.7%	34.9%		
45～49歳 (n=40)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち
	47.5%	40.0%	35.0%	27.5%	25.0%
50～54歳 (n=40)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち
	45.0%	42.5%	40.0%	30.0%	22.5%
55～59歳 (n=84)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち
	45.2%	38.1%			35.7%
60～64歳 (n=80)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち
	51.3%	47.5%	43.8%	35.0%	23.8%
65～69歳 (n=59)	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	伝統と最先端が共存する多様性のあるまち
	57.6%	44.1%	33.9%	32.2%	18.6%
70～74歳 (n=47)	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち
	48.9%	38.3%	29.8%	27.7%	25.5%
75歳以上 (n=54)	高齢者や障害者が生涯にわたって、いきいきと暮らし続けているまち	福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち	犯罪が起こりにくい環境が整い安心して過ごせるまち	災害への備えが整っており、安全に過ごせるまち	ごみの減量やリサイクルの推進に積極的に取り組むまち
	51.9%	33.3%			29.6%
女性計 (n=701)	雑多で一体感のないまち	街角のごみが目に付いたまち	騒がしいまち	訪れてみたい場所の少ないまち	高齢者等にとって暮らしにくいまち
	23.3%	18.4%	17.7%	17.4%	15.7%

3. 生活する周辺環境への評価

問6 あなたが生活する上で、次のそれぞれの項目についてどのようにお感じになっていま
すか。A欄（現在の状況）、B欄（以前と比べて）の**あてはまるところに1つずつ**をつ
けてください。（B欄の「以前と比べて」は4～5年前、それ以降に江東区に住まわれた
方は転入当時と比べて）また、それぞれの分野において、今後優先して取り組んでいくべ
き項目を**優先度の高い順に2つまで選び、それぞれ枠の中に番号を記入**してください。

図表III-17 回答表のイメージ（一部）

分野	番号	あなたの生活周辺環境	A.現在の状況			B.以前と比べて			C.優先度 左の中で、今後優 先して取り組んで いくべき項目を順 に2つ選んで番号 を記入してください
			良 い	ふ つ う	悪 い	良 く な っ た	変 わ ら な い	悪 く な っ た	
	0	(例)							
教育・ 児童 福祉	1	子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境						1番目	
	2	子どもを育む家庭や地域の教育力							
	3	子どもが安全で健やかに育つ地域の環境						2番目	
	4	子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス							
	5	利用しやすい保育サービスの提供							

(1) 現在の生活周辺環境評価

a) 現在の状況が良い項目

- ・ 回答者全体では、「臨海部の新しいまちの整備状況」(29.2%)が最も高く、「水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況」(27.4%)、「道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境」(24.7%)の順となっている。
- ・ 地区別では、回答者全体と異なり、白河・小松橋地区では「水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況」(31.9%)、富岡・東陽地区では「道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境」(28.8%)が最も高くなっている。
- ・ その他の地区では、回答者全体と同様に「臨海部の新しいまちの整備状況」がそれぞれ最も高くなっている。

図表III-18 現在の状況が良い項目 上位10項目(回答者全体)

順位	現在の状況が良い項目	割合(%)
第1位	31.臨海部の新しいまちの整備状況	29.2
第2位	30.水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	27.4
第3位	26.道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	24.7
第4位	37.海・川・緑地等の自然保護・保全の取組	13.8
第5位	6.だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境	13.1
第6位	25.商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	12.8
第7位	12.観光客が増え、観光が活発化している様子	12.4
第8位	35.ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着	12.3
第9位	7.伝統文化の保護や活用の状況	10.9
第10位	8.地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会	10.1

図表III-19 現在の状況が良い項目 地区別上位3項目

地区	現在の状況が良い項目					
	1位		2位		3位	
	項目	割合 (%)	項目	割合 (%)	項目	割合 (%)
1. 白河・小松橋 (n=213)	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	31.9	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	30.5	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	29.6
2. 富岡・東陽 (n=198)	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	28.8	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	27.8	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	24.7
3. 豊洲 (n=227)	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	42.7	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	35.2	25. 商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	27.8
4. 亀戸 (n=144)	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	22.2	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	19.4	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	16.7
5. 大島 (n=174)	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	29.9	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	25.9	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	25.3
6. 砂町 (n=213)	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	23.9	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	22.5	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	20.7
7. 南砂 (n=126)	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	27.8	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	27.0	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	21.4

b) 現在の状況が悪い項目

- ・ 回答者全体では、「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」(37.3%)が最も高く、「区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子」(33.0%)、「すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況」(28.1%)の順となっている。全般に回答率が20%を越える項目が多いなど、現在の状況が良いとする項目よりも悪いとする項目の方が回答率が高くなっている。
- ・ 地区別では、回答者全体と異なり、大島地区(35.6%)、砂町地区では(34.7%)「区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子」が最も高くなっている。
- ・ その他の地区では、回答者全体と同様に「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」が最も高くなっている。

図表III-20 現在の状況が悪い項目 上位10項目（回答者全体）

順位	現在の状況が悪い項目	割合(%)
第1位	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	37.3
第2位	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	33.0
第3位	22.すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	28.1
第4位	10.国内外の多様な人々との交流の活発さ	25.2
第5位	41.区政に意見を言える機会の充実	24.3
第6位	19.高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	21.9
第7位	24.いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境	21.2
第8位	13.区内産業の活発さと中小企業への支援	20.6
第9位	40.区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ	20.4
第10位	33.犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	19.7

図表III-21 現在の状況が悪い項目 地区別上位3項目

地区	現在の状況が悪い項目					
	1位		2位		3位	
	項目	割合(%)	項目	割合(%)	項目	割合(%)
1.白河・小松橋 (n=213)	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	51.2	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	32.9	22.すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	31.5
2.富岡・東陽 (n=198)	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	32.3	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	31.8	10.国内外の多様な人々との交流の活発さ	28.8
3.豊洲(n=227)	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	37.0	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	33.5	22.すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	31.3
4.亀戸(n=144)	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	38.9	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	31.9	22.すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	31.3
5.大島(n=174)	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	35.6	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	35.1	12.観光客が増え、観光が活発化している様子	28.7
6.砂町(n=213)	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	34.7	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	28.6	22.すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	25.4
7.南砂(n=126)	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	38.9	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	29.4	10.国内外の多様な人々との交流の活発さ	26.2

図表III-22 現在の状況 回答率一覧 (n=1302)

分野	番号	あなたの生活周辺環境	良い (%)	ふつう (%)	悪い (%)	無回答 (%)
教育・児童福祉	1	子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境	3.5	64.1	11.4	21.0
	2	子どもを育む家庭や地域の教育力	2.9	60.4	15.6	21.0
	3	子どもが安全で健やかに育つ地域の環境	5.8	60.8	13.0	20.4
	4	子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス	5.1	58.8	13.1	23.0
	5	利用しやすい保育サービスの提供	2.8	57.0	17.4	22.7
産業・コミュニティ・文化	6	だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境	13.1	60.5	8.7	17.7
	7	伝統文化の保護や活用の状況	10.9	62.7	6.6	19.8
	8	地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会	10.1	57.3	12.9	19.7
	9	町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ	8.7	57.7	15.4	18.2
	10	国内外の多様な人々との交流の活発さ	2.2	52.0	25.2	20.6
	11	あらゆる分野に男女が平等に参画し、協働できる環境	3.1	64.1	12.4	20.5
	12	観光客が増え、観光が活発化している様子	12.4	47.9	19.4	20.3
	13	区内産業の活発さと中小企業への支援	1.6	55.8	20.6	22.0
	14	魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	8.1	37.5	37.3	17.1
	15	区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	0.7	45.4	33.0	20.9
福祉・介護・健康	16	消費者保護に関する啓発や相談体制の充実	1.4	60.3	17.8	20.5
	17	高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感	7.4	60.2	14.4	18.0
	18	高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供	5.1	59.8	14.9	20.2
	19	高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	3.2	55.8	21.9	19.1
	20	保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制	6.8	59.1	15.7	18.4
	21	家族・地域による高齢者・障害者の支援体制	3.8	59.5	16.1	20.6
	22	すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	5.5	48.5	28.1	17.9
	23	すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境	3.9	61.5	14.8	19.7
	24	いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境	6.9	54.7	21.2	17.2

分野	番号	あなたの生活周辺環境	良い (%)	ふつう (%)	悪い (%)	無回答 (%)
都市づくり	25	商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	12.8	56.6	11.6	19.0
	26	道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	24.7	47.6	13.1	14.5
	27	交通事故の危険にあわないような取組	3.7	61.2	17.9	17.2
	28	災害に強い安全なまちづくりへの取組	6.3	61.9	14.0	17.8
	29	災害時の救助・救援・支援体制の状況	3.1	65.4	11.7	19.7
	30	水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	27.4	48.3	7.8	16.5
	31	臨海部の新しいまちの整備状況	29.2	45.6	6.4	18.8
	32	生活スタイルに応じて住み続けられる住環境	9.8	62.8	9.8	17.7
	33	犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	4.4	59.0	19.7	16.9
	34	公害等環境汚染のない安全な生活環境	4.7	58.4	19.2	17.7
	35	ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着	12.3	59.6	12.0	16.1
	36	環境配慮行動の浸透に向けた区民や事業者への支援体制	3.2	66.3	10.5	20.0
	37	海・川・緑地等の自然保護・保全の取組	13.8	59.5	9.8	16.9
	38	清潔で調和ある都市景観の美しさ	8.9	58.4	15.4	17.2
行政運営	39	区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実	3.1	66.0	12.7	18.3
	40	区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ	6.3	56.1	20.4	17.3
	41	区政に意見を言える機会の充実	1.7	55.8	24.3	18.1
	42	ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性	9.7	60.2	11.4	18.7
	43	行政窓口の対応や利用のしやすさ	8.4	58.7	17.8	15.1

(2) 以前と比較した生活周辺環境評価

a) 以前と比べて良くなった項目

- ・ 回答者全体では、「臨海部の新しいまちの整備状況」(37.6%)が最も高く、「水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況」(30.0%)、「道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境」(28.6%)の順となっている。この上位3項目は、現在の状況が良い項目としてあげられた上位3項目と同じである。
- ・ 地区別では、いずれの地区においても回答者全体と同様に「臨海部の新しいまちの整備状況」が最も高く、豊洲地区(49.3%)が特に高くなっている。

図表III-23 以前と比べて良くなった項目 上位10項目(回答者全体)

順位	以前と比べて「良くなった」項目	割合(%)
第1位	31.臨海部の新しいまちの整備状況	37.6
第2位	30.水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	30.0
第3位	26.道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	28.6
第4位	42. ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性	21.7
第5位	35.ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着	20.9
第6位	22.すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	19.1
第7位	37.海・川・緑地等の自然保護・保全の取組	18.0
第8位	25.商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	17.9
第9位	12.観光客が増え、観光が活発化している様子	17.5
第10位	38.清潔で調和ある都市景観の美しさ	17.3

図表III-24 以前と比べて良くなった項目 地区別上位3項目

地区	以前と比べて「良くなった」項目					
	1位		2位		3位	
	項目	割合 (%)	項目	割合 (%)	項目	割合 (%)
1. 白河・小松橋 (n=213)	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	34.7	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	33.3	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	32.4
2. 富岡・東陽 (n=198)	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	36.9	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	29.3	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	26.8
3. 豊洲 (n=227)	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	49.3	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	34.8	25. 商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	33.9
4. 亀戸 (n=144)	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	25.7	35. ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着	23.6	42. ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性	21.5
5. 大島 (n=174)	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	36.8	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	35.6	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	28.7
6. 砂町 (n=213)	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	36.2	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	27.2	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	26.3
7. 南砂 (n=126)	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	41.3	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	33.3	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	31.7

b) 以前と比べて悪くなった項目

- ・ 回答者全体では、「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」(33.0%)が最も高く、「区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子」(26.1%)、「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」(16.7%)の順となっている。全般に、以前と比べて良くなったとする項目よりも悪いとする項目の方が、回答率が低くなっている。
- ・ 地区別では、大島地区以外の地区では回答者全体と同様に「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」が最も高く、白河・小松橋地区(44.6%)が特に高くなっている。

図表III-25 以前と比べて悪くなった項目 上位10項目（回答者全体）

順位	以前と比べて「悪くなった」項目	割合(%)
第1位	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	33.0
第2位	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	26.1
第3位	33.犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	16.7
第4位	2.子どもを育む家庭や地域の教育力	14.1
第5位	3.子どもが安全で健やかに育つ地域の環境	13.7
第6位	13.区内産業の活発さと中小企業への支援	12.4
第7位	1.子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境	12.0
第8位	34.公害等環境汚染のない安全な生活環境	9.4
第9位	24.いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境	8.6
第10位	19.高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	8.5

図表III-26 以前と比べて悪くなった項目 地区別上位3項目

地区	以前と比べて「悪くなった」項目					
	1位		2位		3位	
	項目	割合(%)	項目	割合(%)	項目	割合(%)
1.白河・小松橋 (n=213)	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	44.6	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	28.6	33.犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	17.4
2.富岡・東陽 (n=198)	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	30.8	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	27.3	33.犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	13.6
3.豊洲(n=227)	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	23.3	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	20.3	2.子どもを育む家庭や地域の教育力	12.3
4.亀戸(n=144)	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	38.2	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	25.7	3.子どもが安全で健やかに育つ地域の環境	20.1
5.大島(n=174)	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	30.5	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	29.9	33.犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	21.8
6.砂町(n=213)	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	32.9	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	26.3	33.犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	19.7
7.南砂(n=126)	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	34.1	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	25.4	33.犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	17.5

図表III-27 以前との比較 回答率一覧 (n=1302)

分野	番号	あなたの生活周辺環境	良くなった (%)	変わらない (%)	悪くなった (%)	無回答 (%)
教育・児童福祉	1	子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境	8.6	55.4	12.0	24.0
	2	子どもを育む家庭や地域の教育力	4.9	57.0	14.1	24.0
	3	子どもが安全で健やかに育つ地域の環境	7.5	55.5	13.7	23.3
	4	子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス	11.9	57.4	4.9	25.8
	5	利用しやすい保育サービスの提供	8.7	59.8	6.5	25.0
産業・コミュニティ・文化	6	だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境	17.1	57.8	2.1	23.0
	7	伝統文化の保護や活用の状況	8.9	62.9	3.3	24.9
	8	地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会	11.5	59.9	3.8	24.8
	9	町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ	8.4	61.8	6.5	23.3
	10	国内外の多様な人々との交流の活発さ	5.2	65.0	4.5	25.3
	11	あらゆる分野に男女が平等に参画し、協働できる環境	6.0	65.6	3.2	25.2
	12	観光客が増え、観光が活発化している様子	17.5	53.3	5.0	24.2
	13	区内産業の活発さと中小企業への支援	2.3	59.0	12.4	26.3
	14	魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	5.1	40.3	33.0	21.5
	15	区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	1.0	47.5	26.1	25.3
16	消費者保護に関する啓発や相談体制の充実	3.1	64.5	7.6	24.7	
福祉・介護・健康	17	高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感	14.5	55.5	6.5	23.4
	18	高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供	9.9	61.1	4.0	25.0
	19	高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	6.8	60.1	8.5	24.6
	20	保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制	11.8	59.3	5.8	23.2
	21	家族・地域による高齢者・障害者の支援体制	8.7	60.6	5.9	24.8
	22	すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	19.1	52.4	5.5	23.0
	23	すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境	7.9	61.8	5.1	25.3
	24	いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境	11.1	57.7	8.6	22.6

分野	番号	あなたの生活周辺環境	良くなった (%)	変わらない (%)	悪くなった (%)	無回答 (%)
都市づくり	25	商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	17.9	52.2	6.5	23.4
	26	道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	28.6	45.9	5.2	20.4
	27	交通事故の危険にあわないような取組	6.5	64.1	7.1	22.4
	28	災害に強い安全なまちづくりへの取組	10.8	63.2	3.5	22.4
	29	災害時の救助・救援・支援体制の状況	6.8	66.4	2.5	24.3
	30	水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	30.0	44.2	3.9	21.9
	31	臨海部の新しいまちの整備状況	37.6	35.0	4.1	23.3
	32	生活スタイルに応じて住み続けられる住環境	12.5	58.4	6.8	22.4
	33	犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	5.0	57.0	16.7	21.3
	34	公害等環境汚染のない安全な生活環境	10.0	58.2	9.4	22.4
	35	ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着	20.9	51.8	6.0	21.3
	36	環境配慮行動の浸透に向けた区民や事業者への支援体制	5.7	65.3	4.7	24.3
	37	海・川・緑地等の自然保護・保全の取組	18.0	55.1	4.5	22.3
	38	清潔で調和ある都市景観の美しさ	17.3	52.7	8.0	22.0
行政運営	39	区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実	7.1	64.9	4.5	23.4
	40	区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ	10.6	62.1	5.0	22.3
	41	区政に意見を言える機会の充実	4.7	66.4	5.9	23.0
	42	ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性	21.7	50.6	3.9	23.7
	43	行政窓口の対応や利用のしやすさ	14.7	58.4	6.3	20.6

(3) 回答対象の環境との関係が特に強い層の回答状況

この設問のうち、特定の区民が回答対象の環境との関係が特に強いと考えられる項目について、対象となる層と回答者全体を比較した。

対象とした設問は、以下の通りである。

図表III-28 以前との比較 回答率一覧

番号	設問	比較対象
1	子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境	・家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者
2	子どもを育む家庭や地域の教育力	
3	子どもが安全で健やかに育つ地域の環境	
4	子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス	
5	利用しやすい保育サービスの提供	
17	高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感	・家族に65歳以上の高齢者がいる回答者 ・年齢(65歳以上)
18	高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供	
19	高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	
20	保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制	
21	家族・地域による高齢者・障害者の支援体制	

子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境

- ・「現在の状況」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「悪い」とする回答割合が18.3%で回答者全体と比べて高くなっている。
- ・「以前と比べて」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「良くなった」とする回答割合が10.9%で回答者全体と比べて高くなっている。

図表III-29 子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境

	現在の状況					以前と比べて				
	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答	回答数 (人)	良くなった	変わらない	悪くなった	無回答
回答者全体	1,302	3.5%	64.1%	11.4%	21.0%	1,302	8.6%	55.4%	12.0%	24.0%
家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者	229	4.8%	69.9%	18.3%	7.0%	229	10.9%	68.6%	11.4%	9.2%

子どもを育む家庭や地域の教育力

- ・「現在の状況」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「悪い」とする回答割合が18.3%で回答者全体と比べて高くなっている一方、「良い」とする回答割合も4.8%と回答者全体と比べて高くなっている。
- ・「以前と比べて」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「良くなった」とする回答割合が8.3%で回答者全体と比べて高くなっている。

図表III-30 子どもを育む家庭や地域の教育力

	現在の状況					以前と比べて				
	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答	回答数 (人)	良くな った	変わら ない	悪くな った	無回答
回答者全体	1,302	2.9%	60.4%	15.6%	21.0%	1,302	4.9%	57.0%	14.1%	24.0%
家族に中学校卒業前 の子どもがいる回答 者	229	4.8%	69.4%	18.3%	7.4%	229	8.3%	69.9%	11.8%	10.0%

子どもが安全で健やかに育つ地域の環境

- ・ 「現在の状況」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「悪い」とする回答割合が19.7%で回答者全体と比べて高くなっている一方、「良い」とする回答割合も7.4%と回答者全体と比べてわずかに高くなっている。
- ・ 「以前と比べて」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「悪くなった」とする回答割合が18.8%で回答者全体と比べて高くなっている一方、「良くなった」とする回答割合も10.0%と回答者全体と比べて高くなっている。

図表III-31 子どもが安全で健やかに育つ地域の環境

	現在の状況					以前と比べて				
	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答	回答数 (人)	良くな った	変わら ない	悪くな った	無回答
回答者全体	1,302	5.8%	60.8%	13.0%	20.4%	1,302	7.5%	55.5%	13.7%	23.3%
家族に中学校卒業前 の子どもがいる回答 者	229	7.4%	65.5%	19.7%	7.4%	229	10.0%	61.6%	18.8%	9.6%

子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス

- ・ 「現在の状況」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「悪い」とする回答割合が21.8%、「良い」とする回答割合が10.0%で、ともに回答者全体と比べて高くなっている。
- ・ 「以前と比べて」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「良くなった」とする回答割合が23.6%、「悪くなった」とする回答割合が6.6%で、ともに回答者全体と比べて高くなっている。

図表III-32 子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス

	現在の状況					以前と比べて				
	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答	回答数 (人)	良くな った	変わら ない	悪くな った	無回答
回答者全体	1,302	5.1%	58.8%	13.1%	23.0%	1,302	11.9%	57.4%	4.9%	25.8%
家族に中学校卒業前 の子どもがいる回答 者	229	10.0%	60.3%	21.8%	7.9%	229	23.6%	59.0%	6.6%	10.9%

利用しやすい保育サービスの提供

- ・ 「現在の状況」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「悪い」とする回答割合が 33.2%で回答者全体と比べて高くなっている。
- ・ 「以前と比べて」についてみると、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「良くなった」とする回答割合が 10.9%、「悪くなった」とする回答割合が 8.7%で、ともに回答者全体と比べて高くなっている。

図表III-33 利用しやすい保育サービスの提供

	現在の状況					以前と比べて				
	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答	回答数 (人)	良くな った	変わら ない	悪くな った	無回答
回答者全体	1,302	2.8%	57.0%	17.4%	22.7%	1,302	8.7%	59.8%	6.5%	25.0%
家族に中学校卒業前 の子どもがいる回答 者	229	2.2%	56.3%	33.2%	8.3%	229	10.9%	69.9%	8.7%	10.5%

高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感

- ・ 「現在の状況」についてみると、家族に 65 歳以上の高齢者がいる回答者では「良い」とする回答割合が 9.8%で回答者全体と比べて高くなっている。
- ・ また、年齢別では、65～69 歳で「悪い」とする回答割合が 24.5%と回答者全体と比べて大幅に高くなっている一方、70～74 歳及び 75 歳以上では「悪い」とする回答割合がそれぞれ 8.4%、9.2%で、回答者全体と比べて低くなっている。
- ・ 「以前と比べて」についてみると、家族に 65 歳以上の高齢者がいる回答者では「良くなった」とする回答割合が 18.9%で回答者全体と比べて高くなっている。
- ・ また、年齢別では、65～69 歳で「悪くなった」とする回答割合が 11.8%と回答者全体と比べて高くなっている一方、75 歳以上では「悪くなった」とする回答割合が 3.1%で、回答者全体と比べて低くなっている。

図表III-34 高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感

	現在の状況					以前と比べて				
	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答	回答数 (人)	良くな った	変わら ない	悪くな った	無回答
回答者全体	1,302	7.4%	60.2%	14.4%	18.0%	1,302	14.5%	55.5%	6.5%	23.4%
家族に65歳以上の高 齢者がいる回答者	275	9.8%	56.7%	13.8%	19.6%	275	18.9%	50.5%	6.2%	24.4%
65～69歳の回答者	110	7.3%	44.5%	24.5%	23.6%	110	10.9%	50.0%	11.8%	27.3%
70～74歳の回答者	95	7.4%	53.7%	8.4%	30.5%	95	13.7%	42.1%	4.2%	40.0%
75歳以上の回答者	98	10.2%	38.8%	9.2%	41.8%	98	19.4%	26.5%	3.1%	51.0%

高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供

- ・ 「現在の状況」についてみると、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者では「良い」とする回答割合が6.2%で回答者全体と比べてやや高くなっている。
- ・ また、年齢別では、65～69歳で「悪い」とする回答割合が19.1%と回答者全体と比べて高くなっている一方、70～74歳及び75歳以上では「悪い」とする回答割合がそれぞれ12.6%、11.2%で、回答者全体と比べて低くなっている。
- ・ 「以前と比べて」についてみると、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者では「良くなった」とする回答割合が13.1%で回答者全体と比べて高くなっている。
- ・ また、年齢別では、65～69歳で「悪くなった」とする回答割合が5.5%と回答者全体と比べてやや高くなっている一方、70～74歳及び75歳以上では「良くなった」とする回答割合がそれぞれ11.6%、11.2%で、回答者全体と比べてやや高くなっている。

図表111-35 高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供

	現在の状況					以前と比べて				
	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答	回答数 (人)	良くな った	変わら ない	悪くな った	無回答
回答者全体	1,302	5.1%	59.8%	14.9%	20.2%	1,302	9.9%	61.1%	4.0%	25.0%
家族に65歳以上の高 齢者がいる回答者	275	6.2%	58.2%	13.5%	22.2%	275	13.1%	57.5%	2.9%	26.5%
65～69歳の回答者	110	2.7%	49.1%	19.1%	29.1%	110	9.1%	54.5%	5.5%	30.9%
70～74歳の回答者	95	8.4%	44.2%	12.6%	34.7%	95	11.6%	42.1%	5.3%	41.1%
75歳以上の回答者	98	3.1%	35.7%	11.2%	50.0%	98	11.2%	28.6%	4.1%	56.1%

高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境

- ・ 「現在の状況」についてみると、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者では「良い」とする回答割合が4.7%で回答者全体と比べてやや高くなっている。
- ・ また、年齢別では、65～69歳で「悪い」とする回答割合が23.6%と回答者全体と比べてやや高くなっている一方、70～74歳及び75歳以上では「悪い」とする回答割合がそれぞれ13.7%、12.2%で、回答者全体と比べて低くなっている。
- ・ 「以前と比べて」についてみると、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者では「悪くなった」とする回答割合が9.5%で回答者全体と比べてやや高くなっている。
- ・ また、年齢別では、65～69歳で「悪くなった」とする回答割合が15.5%と回答者全体と比べてやや高くなっている一方、70～74歳では「良くなった」とする回答割合が9.5%で回答者全体と比べてやや高く、75歳以上では「悪くなった」とする回答割合が5.1%で回答者全体と比べてやや低くなっている。

図表III-36 高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境

	現在の状況					以前と比べて				
	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答	回答数 (人)	良くな った	変わら ない	悪くな った	無回答
回答者全体	1,302	3.2%	55.8%	21.9%	19.1%	1,302	6.8%	60.1%	8.5%	24.6%
家族に65歳以上の高 齢者がいる回答者	275	4.7%	53.8%	20.4%	21.1%	275	6.9%	57.5%	9.5%	26.2%
65～69歳の回答者	110	3.6%	47.3%	23.6%	25.5%	110	4.5%	49.1%	15.5%	30.9%
70～74歳の回答者	95	6.3%	46.3%	13.7%	33.7%	95	9.5%	42.1%	8.4%	40.0%
75歳以上の回答者	98	5.1%	38.8%	12.2%	43.9%	98	7.1%	32.7%	5.1%	55.1%

保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制

- ・ 「現在の状況」についてみると、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者では「良い」とする回答割合が9.5%で回答者全体と比べてやや高くなっている。
- ・ また、年齢別では、65～69歳で「悪い」とする回答割合が19.1%と回答者全体と比べてやや高くなっている一方、70～74歳及び75歳以上では「悪い」とする回答割合がそれぞれ6.3%、10.2%で、回答者全体と比べて低くなっている。
- ・ 「以前と比べて」についてみると、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者では「良くなった」とする回答割合が16.4%で回答者全体と比べてやや高くなっている。
- ・ また、年齢別では、65～69歳で「悪くなった」とする回答割合が9.1%と回答者全体と比べてやや高くなっている一方、70～74歳及び75歳以上では「良くなった」とする回答割合が12.6%、18.4%で回答者全体と比べてやや高くなっている。

図表III-37 保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制

	現在の状況					以前と比べて				
	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答	回答数 (人)	良くな った	変わら ない	悪くな った	無回答
回答者全体	1,302	6.8%	59.1%	15.7%	18.4%	1,302	11.8%	59.3%	5.8%	23.2%
家族に65歳以上の高 齢者がいる回答者	275	9.5%	56.0%	13.8%	20.7%	275	16.4%	53.8%	5.5%	24.4%
65～69歳の回答者	110	9.1%	49.1%	19.1%	22.7%	110	10.9%	52.7%	9.1%	27.3%
70～74歳の回答者	95	10.5%	51.6%	6.3%	31.6%	95	12.6%	45.3%	4.2%	37.9%
75歳以上の回答者	98	11.2%	36.7%	10.2%	41.8%	98	18.4%	27.6%	3.1%	51.0%

家族・地域による高齢者・障害者の支援体制

- ・ 「現在の状況」についてみると、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者では「悪い」とする回答割合が14.9%で回答者全体と比べてやや低くなっている。
- ・ また、年齢別では、65～69歳で「悪い」とする回答割合が22.7%と回答者全体と比べて高くなっている一方、70～74歳及び75歳以上では「悪い」とする回答割合がそれぞれ

11.6%、7.1%で、回答者全体と比べて低くなっている。

- ・ 「以前と比べて」についてみると、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者では「悪くなった」とする回答割合が5.5%で回答者全体と比べてやや低くなっている。
- ・ また、年齢別では、65～69歳で「悪くなった」とする回答割合が9.1%と回答者全体と比べて高くなっている一方、70～74歳及び75歳以上では「悪くなった」とする回答割合がそれぞれ5.3%、2.0%で、回答者全体と比べてやや低くなっている。

図表III-38 家族・地域による高齢者・障害者の支援体制

	現在の状況					以前と比べて				
	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答	回答数 (人)	良くな った	変わら ない	悪くな った	無回答
回答者全体	1,302	3.8%	59.5%	16.1%	20.6%	1,302	8.7%	60.6%	5.9%	24.8%
家族に65歳以上の高 齢者がいる回答者	275	4.0%	57.8%	14.9%	23.3%	275	8.0%	60.7%	5.5%	25.8%
65～69歳の回答者	110	0.9%	48.2%	22.7%	28.2%	110	7.3%	53.6%	9.1%	30.0%
70～74歳の回答者	95	4.2%	48.4%	11.6%	35.8%	95	7.4%	45.3%	5.3%	42.1%
75歳以上の回答者	98	4.1%	36.7%	7.1%	52.0%	98	10.2%	29.6%	2.0%	58.2%

(4) 生活周辺環境の位置づけ(総合評価)

- ・ 「現在の状況」と「以前との比較」の回答結果を組み合わせ、生活周辺環境の各項目の位置づけを明らかにする。
- ・ 具体的には、各項目の評価結果を数値化した上で、二つの評価結果の組み合わせにより、「以前よりも良くなり満足している()」「以前より悪くなったが現状は満足している()」「以前よりは良くなったが満足できない()」「以前より悪くなり、満足できない()」に分類して分析を行った。

<数値化の方法>

以前との比較については、「良くなった」1点、「変わらない」0点、「悪くなった」-1点とし、現在の状況については、「良い」1点、「ふつう」0点、「悪い」-1点として、各回答数を乗じた数値を合計し、総回答数で除した数値に100を乗じて数値化した。

図表III-39 総合評価の分類類型

パターン	以前との比較	現在の満足度
以前よりも良くなり満足している	+	+
以前より悪くなったが現状は満足している	-	+
以前よりは良くなったが満足できない	+	-
以前より悪くなり、満足できない	-	-

図表III-40 総合評価結果一覧

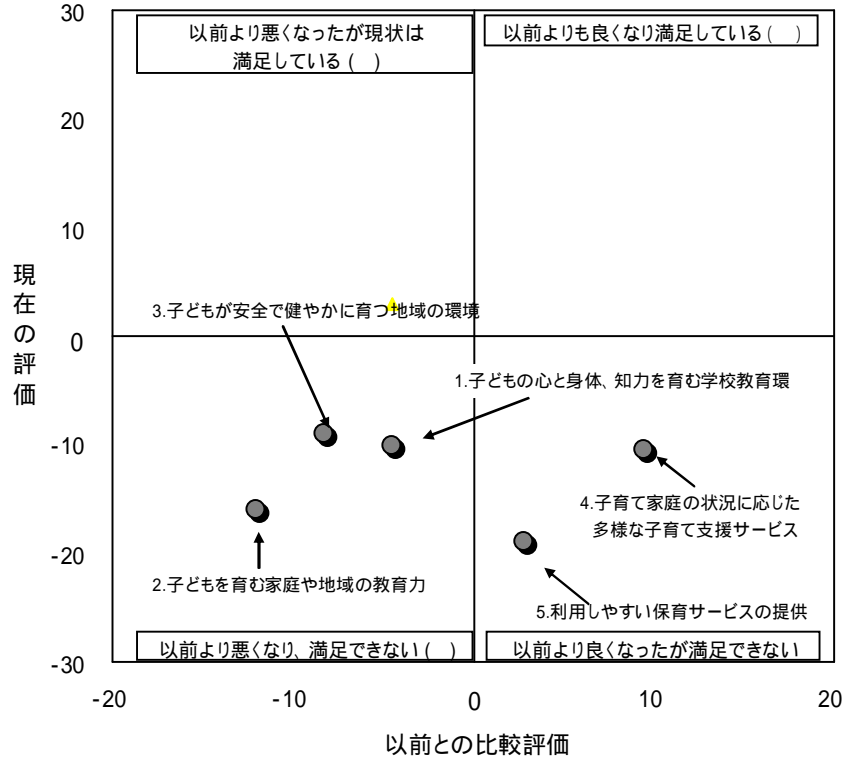
分野	番号	あなたの生活周辺環境	以前と比べて	現在の満足度	分類
教育・児童福祉	1	子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境	-4.4	-10.1	
	2	子どもを育む家庭や地域の教育力	-12.0	-16.1	
	3	子どもが安全で健やかに育つ地域の環境	-8.2	-9.1	
	4	子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス	9.4	-10.5	
	5	利用しやすい保育サービスの提供	2.9	-18.9	
産業・コミュニティ・文化	6	だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境	19.5	5.4	
	7	伝統文化の保護や活用の状況	7.5	5.4	
	8	地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会	10.3	-3.5	
	9	町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ	2.4	-8.3	
	10	国内外の多様な人々との交流の活発さ	1.0	-28.9	
	11	あらゆる分野に男女が平等に参画し、協働できる環境	3.7	-11.7	
	12	観光客が増え、観光が活発化している様子	16.5	-8.7	
	13	区内産業の活発さと中小企業への支援	-13.8	-24.3	
	14	魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	-35.5	-35.3	
	15	区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	-33.6	-40.9	
	16	消費者保護に関する啓発や相談体制の充実	-5.9	-20.7	
福祉・介護・健康	17	高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感	10.4	-8.5	
	18	高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供	7.9	-12.2	
	19	高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	-2.3	-23.1	
	20	保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制	7.8	-10.8	
	21	家族・地域による高齢者・障害者の支援体制	3.7	-15.4	
	22	すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	17.8	-27.6	
	23	すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境	3.7	-13.6	
	24	いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境	3.3	-17.3	

分野	番号	あなたの生活周辺環境	以前と比べて	現在の満足度	分類
都市づくり	25	商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	14.8	1.5	
	26	道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	29.3	13.6	
	27	交通事故の危険にあわないような取組	-0.7	-17.2	
	28	災害に強い安全なまちづくりへの取組	9.4	-9.3	
	29	災害時の救助・救援・支援体制の状況	5.8	-10.6	
	30	水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	33.4	23.6	
	31	臨海部の新しいまちの整備状況	43.7	28.1	
	32	生活スタイルに応じて住み続けられる住環境	7.4	0.0	
	33	犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	-14.9	-18.5	
	34	公害等環境汚染のない安全な生活環境	0.7	-17.6	
	35	ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着	18.9	0.4	
	36	環境配慮行動の浸透に向けた区民や事業者への支援体制	1.3	-9.1	
	37	海・川・緑地等の自然保護・保全の取組	17.4	4.9	
	38	清潔で調和ある都市景観の美しさ	11.9	-7.9	
行政運営	39	区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実	3.4	-11.7	
	40	区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ	7.2	-17.0	
	41	区政に意見を言える機会の充実	-1.6	-27.7	
	42	ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性	23.4	-2.1	
	43	行政窓口の対応や利用のしやすさ	10.5	-11.1	

教育・児童福祉

- ・ 「子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス」、「利用しやすい保育サービスの提供」が『以前よりは良くなったが満足できない ()』に、「子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境」、「子どもを育む家庭や地域の教育力」、「子どもが安全で健やかに育つ地域の環境」が『以前より悪くなり、満足できない ()』に位置づけられており、特に「子どもを育む家庭や地域の教育力」に対する満足度が低くなっている。

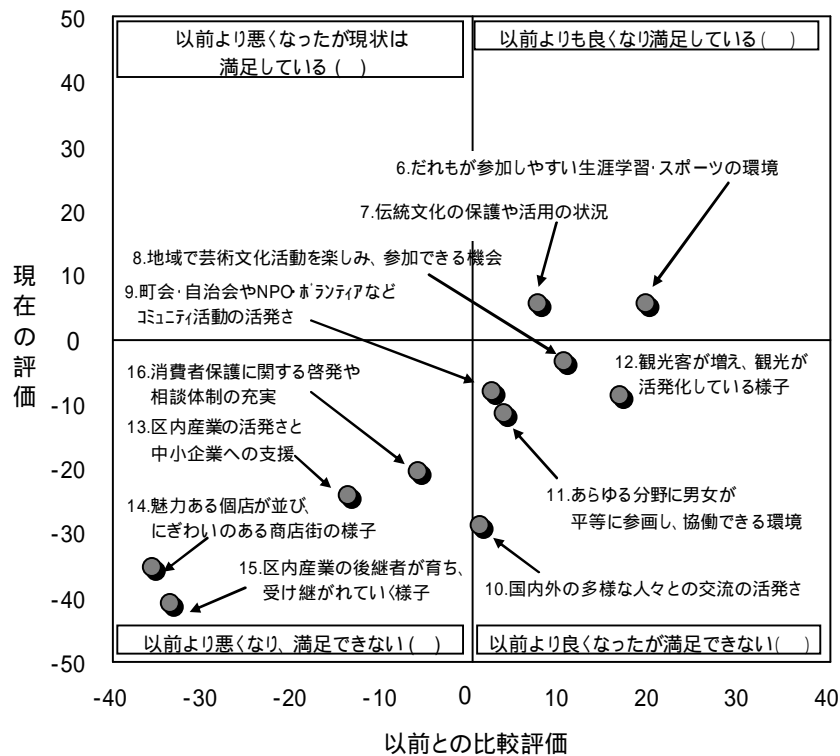
図表III-41 教育・児童福祉の総合評価



産業・コミュニティ・文化

- ・ 「だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境」、「伝統文化の保護や活用の状況」が『以前よりも良くなり満足している ()』に位置づけられている。
- ・ 「地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会」、「町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ」、「国内外の多様な人々との交流の活発さ」、「あらゆる分野に男女が平等に参画し、協働できる環境」、「観光客が増え、観光が活発化している様子」が『以前よりは良くなったが満足できない ()』に、「区内産業の活発さと中小企業への支援」、「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」、「区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子」、「消費者保護に関する啓発や相談体制の充実」が『以前より悪くなり、満足できない ()』に位置づけられており、特に「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」、「区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子」に対する満足度が低くなっている。

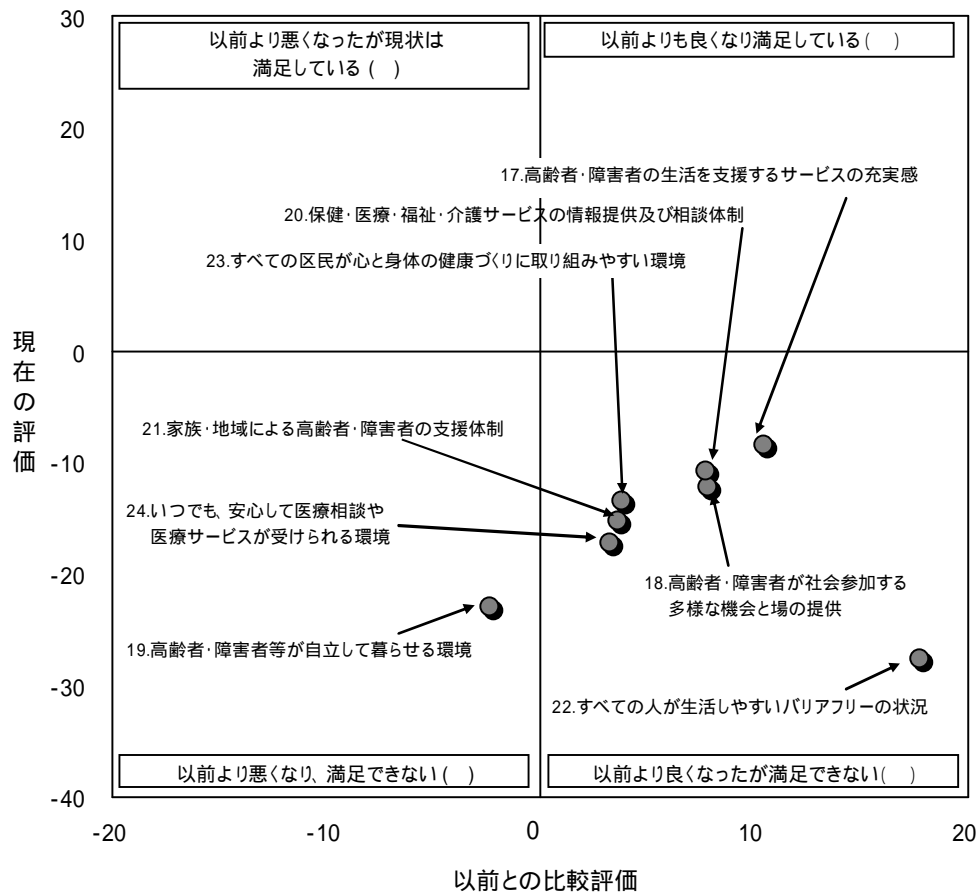
図表111-42 産業・コミュニティ・文化の総合評価



福祉・介護・健康

- ・ 「高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感」、「高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供」、「保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制」、「家族・地域による高齢者・障害者の支援体制」、「すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況」、「すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境」、「いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境」が『以前よりは良くなったが満足できない()』に、「高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境」が『以前より悪くなり、満足できない()』に位置づけられており、特に「高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境」に対する満足度が低くなっている。

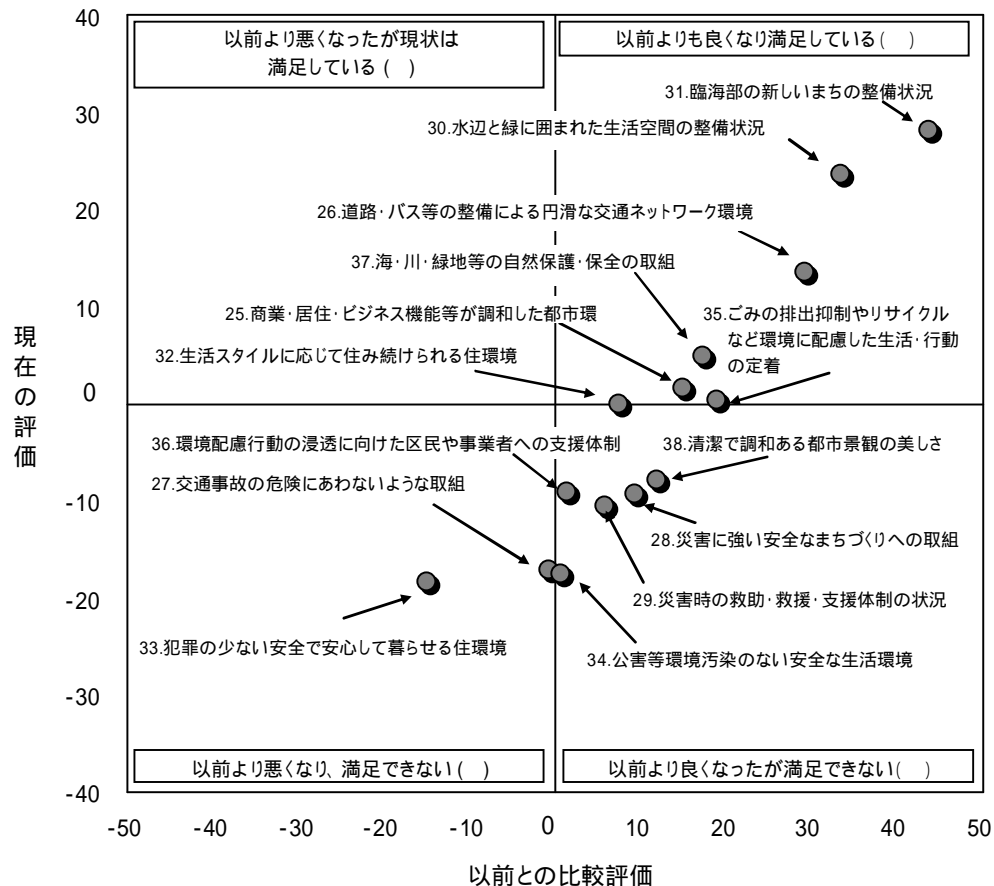
図表III-43 福祉・介護・健康の総合評価



都市づくり

- ・ 「商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境」、「道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境」、「水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況」、「臨海部の新しいまちの整備状況」、「海・川・緑地等の自然保護・保全の取組」が『以前よりも良くなり満足している ()』に位置づけられており、特に「臨海部の新しいまちの整備状況」に対する満足度が高くなっている。
- ・ 「災害に強い安全なまちづくりへの取組」、「災害時の救助・救援・支援体制の状況」、「生活スタイルに応じて住み続けられる住環境」、「公害等環境汚染のない安全な生活環境」、「ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着」、「環境配慮行動の浸透に向けた区民や事業者への支援体制」、「清潔で調和ある都市景観の美しさ」が『以前よりは良くなったが満足できない ()』に、「交通事故の危険にあわないような取組」、「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」が『以前より悪くなり、満足できない ()』に位置づけられており、特に「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」に対する満足度が低くなっている。

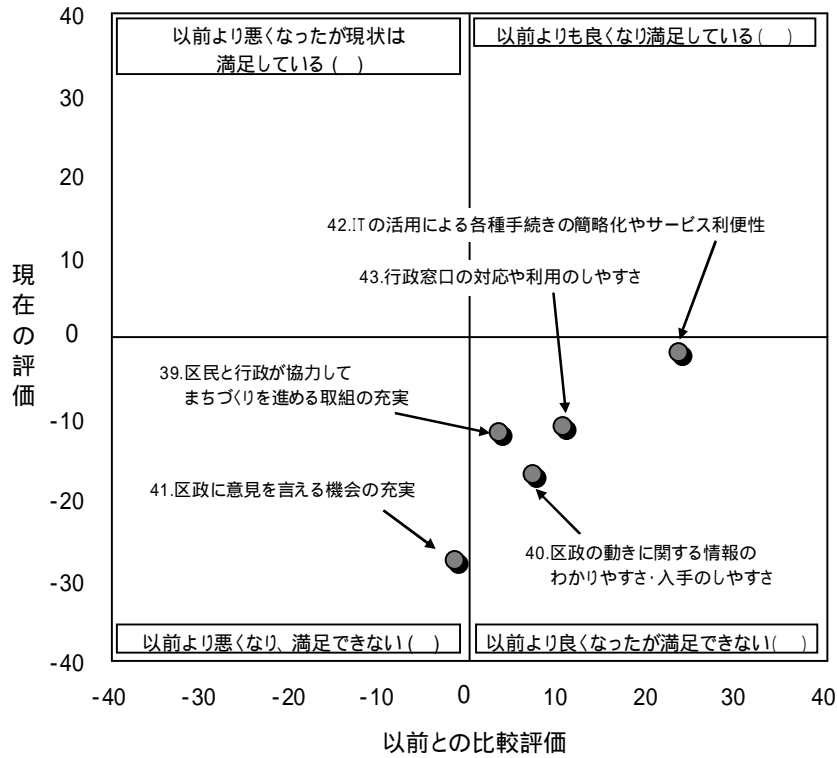
図表III-44 都市づくりの総合評価



行政運営

- ・ 「区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実」、「区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ」、「ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性」、「行政窓口の対応や利用のしやすさ」が『以前よりは良くなったが満足できない()』に、「区政に意見を言える機会の充実」が『以前より悪くなり、満足できない()』に位置づけられている。

図表III-45 行政運営の総合評価

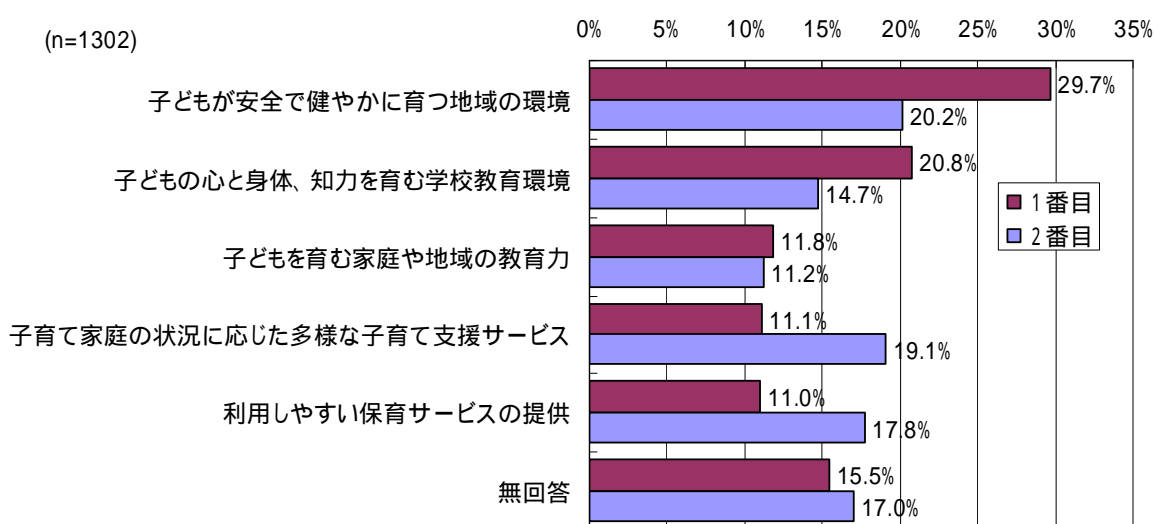


(5) 優先的に取り組むべき項目

教育・児童福祉

- ・ 優先度1番目にあげられた割合は「子どもが安全で健やかに育つ地域の環境」(29.7%)が最も高く、「子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境」(20.8%)、「子どもを育む家庭や地域の教育力」(11.8%)の順となっている。
- ・ 2番目に挙げられたものでは、「子育て過程の状況に応じた多様な子育て支援サービス」(19.1%)、「利用しやすい保育サービスの提供」(17.8%)の回答率が1番目での回答割合を大きく上回っている。

図表III-46 教育・児童福祉における各項目の優先度



a) 地区別

- ・ いずれの地区においても、回答者全体と同様に「子どもが安全で健やかに育つ地域の環境」が最も高くなっており、南砂地区では38.1%と他地区と比較して回答率が高くなっている。

図表III-47 地区別教育・児童福祉における優先度1番目の項目

	1. 子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境	2. 子どもを育む家庭や地域の教育力	3. 子どもが安全で健やかに育つ地域の環境	4. 子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス	5. 利用しやすい保育サービスの提供	無回答
全体 (n=1302)	20.8%	11.8%	29.7%	11.1%	11.0%	15.5%
白河・小松橋 (n=213)	21.6%	10.3%	32.4%	12.7%	11.7%	11.3%
富岡・東陽 (n=198)	19.2%	13.1%	30.8%	13.6%	9.6%	13.6%
豊洲 (n=227)	22.9%	12.3%	24.7%	11.9%	17.2%	11.0%
亀戸 (n=144)	22.2%	13.9%	28.5%	12.5%	7.6%	15.3%
大島 (n=174)	21.3%	10.9%	29.9%	6.3%	9.2%	22.4%
砂町 (n=213)	23.0%	12.2%	28.2%	11.3%	7.0%	18.3%
南砂 (n=126)	13.5%	8.7%	38.1%	8.7%	13.5%	17.5%

b) 性年齢別

- ・ 優先度1番目にあげられた割合は、大部分の性年齢別層では回答者全体と同様に「子どもが安全で健やかに育つ地域の環境」が最も高いが、男性の50～54歳、75歳以上、女性の20～24歳、40～49歳、65歳以上では「子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境」が最も高くなっている。

図表III-48 性年齢別教育・児童福祉における優先度1番目の項目

< 男性 >

	1.子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境	2.子どもを育む家庭や地域の教育力	3.子どもが安全で健やかに育つ地域の環境	4.子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス	5.利用しやすい保育サービスの提供	無回答
合計(n=510)	19.4%	12.2%	32.9%	10.2%	10.8%	14.5%
20～24歳(n=21)	19.0%	19.0%	42.9%	0.0%	9.5%	9.5%
25～29歳(n=22)	0.0%	18.2%	63.6%	4.5%	9.1%	4.5%
30～34歳(n=42)	16.7%	9.5%	28.6%	9.5%	23.8%	11.9%
35～39歳(n=42)	19.0%	19.0%	42.9%	2.4%	16.7%	0.0%
40～44歳(n=58)	24.1%	8.6%	32.8%	19.0%	8.6%	6.9%
45～49歳(n=47)	12.8%	25.5%	34.0%	6.4%	10.6%	10.6%
50～54歳(n=40)	30.0%	10.0%	25.0%	22.5%	5.0%	7.5%
55～59歳(n=65)	18.5%	10.8%	33.8%	7.7%	16.9%	12.3%
60～64歳(n=67)	14.9%	7.5%	32.8%	17.9%	7.5%	19.4%
65～69歳(n=40)	22.5%	7.5%	25.0%	10.0%	7.5%	27.5%
70～74歳(n=36)	22.2%	5.6%	27.8%	5.6%	8.3%	30.6%
75歳以上(n=28)	28.6%	10.7%	21.4%	0.0%	0.0%	39.3%

< 女性 >

	1.子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境	2.子どもを育む家庭や地域の教育力	3.子どもが安全で健やかに育つ地域の環境	4.子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス	5.利用しやすい保育サービスの提供	無回答
合計(n=701)	21.5%	12.0%	28.5%	12.7%	11.7%	13.6%
20～24歳(n=28)	32.1%	21.4%	21.4%	14.3%	7.1%	3.6%
25～29歳(n=42)	7.1%	7.1%	40.5%	19.0%	21.4%	4.8%
30～34歳(n=81)	13.6%	9.9%	27.2%	21.0%	22.2%	6.2%
35～39歳(n=82)	23.2%	6.1%	28.0%	17.1%	18.3%	7.3%
40～44歳(n=63)	31.7%	6.3%	30.2%	11.1%	15.9%	4.8%
45～49歳(n=40)	35.0%	7.5%	32.5%	7.5%	12.5%	5.0%
50～54歳(n=40)	20.0%	17.5%	25.0%	17.5%	10.0%	10.0%
55～59歳(n=84)	15.5%	13.1%	35.7%	16.7%	6.0%	13.1%
60～64歳(n=80)	20.0%	17.5%	31.3%	6.3%	6.3%	18.8%
65～69歳(n=59)	28.8%	13.6%	25.4%	0.0%	10.2%	22.0%
70～74歳(n=47)	23.4%	17.0%	23.4%	12.8%	0.0%	23.4%
75歳以上(n=54)	18.5%	13.0%	16.7%	7.4%	3.7%	40.7%

c) 家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者

- ・ 家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では、「子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境」が31.0%と最も高く、回答者全体に比べて大幅に高くなっている。

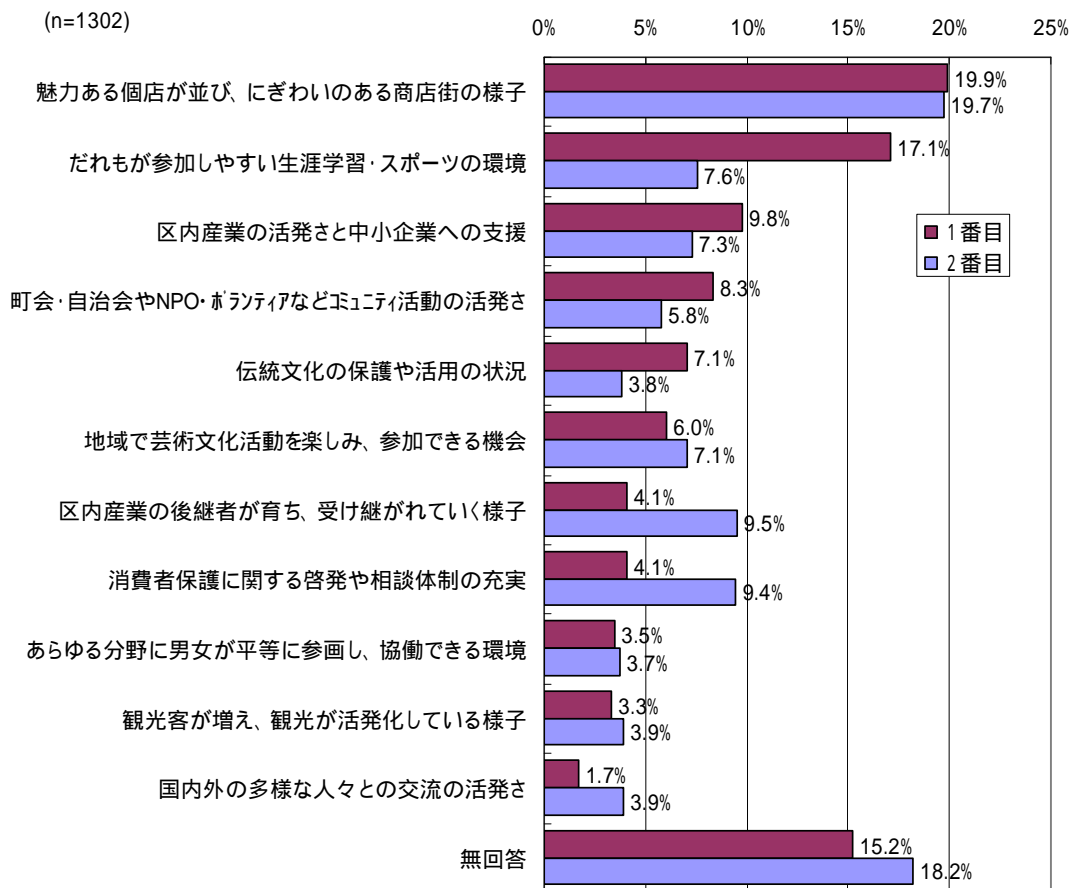
図表III-49 教育・児童福祉における優先度1番目の項目（家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者）

	1. 子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境	2. 子どもを育む家庭や地域の教育力	3. 子どもが安全で健やかに育つ地域の環境	4. 子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス	5. 利用しやすい保育サービスの提供	無回答
全体(n=1302)	20.8%	11.8%	29.7%	11.1%	11.0%	15.5%
家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者(n=229)	31.0%	6.1%	30.1%	13.1%	14.8%	4.8%

産業・コミュニティ・文化

- ・ 優先度1番目にあげられた割合は「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」（19.9%）が最も高く、「だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境」（17.1%）、「区内産業の活発さと中小企業への支援」（9.8%）の順となっている。2番目に挙げられたものの割合も概ね同様の傾向を示している。
- ・ 2番目に挙げられたものでは、「区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子」（9.5%）、「消費者保護に関する啓発や相談体制の充実」（9.4%）の回答率が1番目での回答割合を大きく上回っている。

図表III-50 産業・コミュニティ・文化における各項目の優先度



a) 地区別

- ・ 各地区で優先度1番目にあげられた割合は、回答者全体と異なり、豊洲地区（18.9%）、砂町地区（21.1%）では「だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境」が最も高くなっている。
- ・ その他の地区では、回答者全体と同様に「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」が最も高くなっている。

図表III-51 地区別産業・コミュニティ・文化における優先度1番目の項目

	6.だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境	7.伝統文化の保護や活用の状況	8.地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会	9.町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ	10.国内外の多様な人々との交流の活発さ	11.あらゆる分野に男女が平等に参画し、協働できる環境
合計(n=1302)	17.1%	7.1%	6.0%	8.3%	1.7%	3.5%
白河・小松橋(n=213)	17.8%	8.0%	6.6%	7.0%	1.9%	2.8%
富岡・東陽(n=198)	13.1%	10.1%	2.5%	9.1%	2.5%	4.5%
豊洲(n=227)	18.9%	9.7%	8.8%	10.1%	0.9%	2.6%
亀戸(n=144)	12.5%	6.3%	6.9%	6.9%	3.5%	3.5%
大島(n=174)	16.7%	5.2%	6.3%	6.9%	1.7%	3.4%
砂町(n=213)	21.1%	3.3%	6.6%	7.0%	0.9%	4.7%
南砂(n=126)	17.5%	6.3%	3.2%	11.1%	0.8%	3.2%

	12.観光客が増え、観光が活発化している様子	13.区内産業の活発さと中小企業への支援	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	16.消費者保護に関する啓発や相談体制の充実	無回答
合計(n=1302)	3.3%	9.8%	19.9%	4.1%	4.1%	15.2%
白河・小松橋(n=213)	4.7%	9.9%	24.9%	2.3%	3.8%	10.3%
富岡・東陽(n=198)	2.5%	10.6%	22.7%	3.5%	4.5%	14.1%
豊洲(n=227)	4.4%	9.3%	14.5%	4.8%	4.8%	11.0%
亀戸(n=144)	2.8%	11.8%	18.8%	6.9%	4.9%	15.3%
大島(n=174)	1.7%	9.2%	21.3%	3.4%	2.3%	21.8%
砂町(n=213)	3.3%	7.5%	16.0%	5.2%	5.6%	18.8%
南砂(n=126)	3.2%	11.1%	23.8%	2.4%	2.4%	15.1%

b) 性年齢別

- ・ 優先度1番目にあげられた割合は、男性では、回答者全体と異なり、20～24歳、35～39歳、60～69歳で「だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境」、25～29歳で「観光客が増え、観光が活発化している様子」、75歳以上で「地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会」が最も高くなっている。
- ・ 女性では、回答者全体と異なり、40～44歳、60～74歳で「だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境」、75歳以上で「町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ」が最も高くなっている。

図表III-52 性年齢別産業・コミュニティ・文化における優先度1番目の項目

< 男性 >

	6.だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境	7.伝統文化の保護や活用の状況	8.地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会	9.町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ	10.国内外の多様な人々との交流の活発さ	11.あらゆる分野に男女が平等に参加し、協働できる環境
合計(n=510)	17.6%	6.5%	5.7%	7.3%	1.6%	3.1%
20～24歳(n=21)	33.3%	4.8%	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%
25～29歳(n=22)	18.2%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	9.1%
30～34歳(n=42)	16.7%	7.1%	9.5%	2.4%	2.4%	0.0%
35～39歳(n=42)	33.3%	9.5%	2.4%	7.1%	2.4%	0.0%
40～44歳(n=58)	13.8%	6.9%	3.4%	6.9%	0.0%	1.7%
45～49歳(n=47)	8.5%	6.4%	2.1%	10.6%	2.1%	2.1%
50～54歳(n=40)	22.5%	0.0%	7.5%	10.0%	2.5%	2.5%
55～59歳(n=65)	16.9%	7.7%	6.2%	9.2%	3.1%	6.2%
60～64歳(n=67)	17.9%	6.0%	4.5%	9.0%	3.0%	4.5%
65～69歳(n=40)	17.5%	5.0%	7.5%	5.0%	0.0%	5.0%
70～74歳(n=36)	13.9%	11.1%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%
75歳以上(n=28)	7.1%	10.7%	17.9%	14.3%	0.0%	3.6%

	12.観光客が増え、観光が活発化している様子	13.区内産業の活発さと中小企業への支援	14.魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	15.区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	16.消費者保護に関する啓発や相談体制の充実	無回答
合計(n=510)	4.3%	12.9%	20.2%	3.3%	3.3%	14.1%
20～24歳(n=21)	9.5%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	9.5%
25～29歳(n=22)	27.3%	18.2%	13.6%	0.0%	4.5%	4.5%
30～34歳(n=42)	2.4%	11.9%	35.7%	0.0%	0.0%	11.9%
35～39歳(n=42)	11.9%	4.8%	19.0%	0.0%	4.8%	4.8%
40～44歳(n=58)	1.7%	13.8%	31.0%	6.9%	3.4%	10.3%
45～49歳(n=47)	4.3%	21.3%	31.9%	4.3%	0.0%	6.4%
50～54歳(n=40)	2.5%	12.5%	22.5%	5.0%	5.0%	7.5%
55～59歳(n=65)	0.0%	12.3%	18.5%	1.5%	6.2%	12.3%
60～64歳(n=67)	1.5%	14.9%	10.4%	4.5%	4.5%	19.4%
65～69歳(n=40)	7.5%	7.5%	7.5%	5.0%	5.0%	27.5%
70～74歳(n=36)	0.0%	13.9%	25.0%	8.3%	2.8%	22.2%
75歳以上(n=28)	0.0%	10.7%	3.6%	0.0%	0.0%	32.1%

< 女性 >

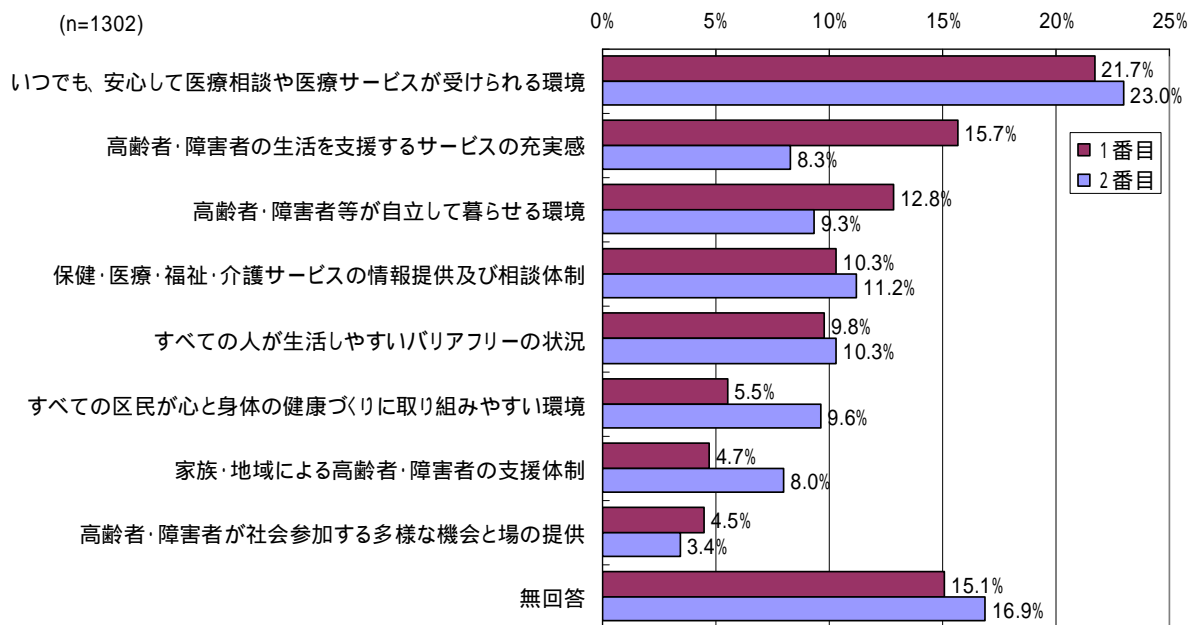
	6. だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境	7. 伝統文化の保護や活用の状況	8. 地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会	9. 町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ	10. 国内外の多様な人々との交流の活発さ	11. あらゆる分野に男女が平等に参加し、協働できる環境
合計(n=701)	17.4%	8.0%	6.7%	8.8%	1.9%	4.0%
20～24歳(n=28)	3.6%	17.9%	14.3%	0.0%	0.0%	10.7%
25～29歳(n=42)	14.3%	4.8%	4.8%	11.9%	4.8%	9.5%
30～34歳(n=81)	6.2%	16.0%	8.6%	4.9%	3.7%	2.5%
35～39歳(n=82)	25.6%	9.8%	4.9%	4.9%	1.2%	7.3%
40～44歳(n=63)	27.0%	6.3%	3.2%	7.9%	1.6%	1.6%
45～49歳(n=40)	20.0%	7.5%	5.0%	10.0%	0.0%	0.0%
50～54歳(n=40)	12.5%	12.5%	10.0%	7.5%	0.0%	2.5%
55～59歳(n=84)	16.7%	6.0%	4.8%	10.7%	0.0%	4.8%
60～64歳(n=80)	22.5%	5.0%	8.8%	11.3%	3.8%	1.3%
65～69歳(n=59)	16.9%	8.5%	5.1%	6.8%	1.7%	5.1%
70～74歳(n=47)	25.5%	4.3%	4.3%	12.8%	0.0%	2.1%
75歳以上(n=54)	9.3%	0.0%	11.1%	16.7%	3.7%	1.9%

	12. 観光客が増え、観光が活発化している様子	13. 区内産業の活発さと中小企業への支援	14. 魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	15. 区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	16. 消費者保護に関する啓発や相談体制の充実	無回答
合計(n=701)	2.4%	7.3%	20.8%	4.7%	5.0%	13.0%
20～24歳(n=28)	3.6%	3.6%	32.1%	7.1%	3.6%	3.6%
25～29歳(n=42)	4.8%	2.4%	31.0%	4.8%	2.4%	4.8%
30～34歳(n=81)	4.9%	6.2%	30.9%	4.9%	3.7%	7.4%
35～39歳(n=82)	2.4%	3.7%	30.5%	2.4%	1.2%	6.1%
40～44歳(n=63)	3.2%	7.9%	15.9%	4.8%	15.9%	4.8%
45～49歳(n=40)	2.5%	7.5%	32.5%	2.5%	7.5%	5.0%
50～54歳(n=40)	0.0%	15.0%	20.0%	7.5%	2.5%	10.0%
55～59歳(n=84)	1.2%	11.9%	20.2%	4.8%	3.6%	15.5%
60～64歳(n=80)	2.5%	10.0%	8.8%	5.0%	2.5%	18.8%
65～69歳(n=59)	1.7%	5.1%	10.2%	8.5%	11.9%	18.6%
70～74歳(n=47)	0.0%	6.4%	19.1%	2.1%	2.1%	21.3%
75歳以上(n=54)	1.9%	5.6%	7.4%	3.7%	3.7%	35.2%

福祉・介護・健康

- ・ 優先度1番目にあげられた割合は「いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境」(21.7%)が最も高く、「高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感」(15.7%)、「高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境」(12.8%)の順となっている。
- ・ 2番目に挙げられたものでは、「すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境」(9.6%)、「家族・地域による高齢者・障害者の支援体制」(8.0%)の回答率が1番目での回答割合を大きく上回っている。

図表III-53 福祉・介護・健康における各項目の優先度



a) 地区別

- ・ 各地区で優先度1番目にあげられた割合は、いずれの地区も回答者全体と同様に「いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境」が最も高くなっているが、富岡・東陽地区では「高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感」（19.2%）が「いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境」と同率で最も高くなっている。

図表III-54 地区別福祉・介護・健康における優先度1番目の項目

	17. 高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感	18. 高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供	19. 高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	20. 保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制	21. 家族・地域による高齢者・障害者の支援体制	22. すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況
合計(n=1302)	15.7%	4.5%	12.8%	10.3%	4.7%	9.8%
白河・小松橋(n=213)	15.5%	8.0%	10.8%	9.9%	5.6%	8.0%
富岡・東陽(n=198)	19.2%	2.5%	9.6%	11.1%	6.1%	11.6%
豊洲(n=227)	14.1%	4.0%	14.1%	9.3%	3.5%	15.9%
亀戸(n=144)	17.4%	2.8%	14.6%	11.1%	4.2%	8.3%
大島(n=174)	14.9%	3.4%	15.5%	9.2%	2.9%	8.6%
砂町(n=213)	12.7%	5.6%	10.8%	12.2%	7.0%	6.6%
南砂(n=126)	19.0%	4.0%	16.7%	8.7%	2.4%	7.9%

	23. すべて の区民が心 と身体の健 康づくりに 取り組みや すい環境	24. いつで も、安心し て医療相談 や医療サー ビスが受け られる環境	無回答
合計(n=1302)	5.5%	21.7%	15.1%
白河・小松橋(n=213)	6.6%	23.5%	12.2%
富岡・東陽(n=198)	5.6%	19.2%	15.2%
豊洲(n=227)	4.8%	24.2%	10.1%
亀戸(n=144)	6.9%	21.5%	13.2%
大島(n=174)	4.6%	20.7%	20.1%
砂町(n=213)	6.1%	20.7%	18.3%
南砂(n=126)	2.4%	22.2%	16.7%

b) 性年齢別

- ・ 優先度1番目にあげられた割合は、男性では、回答者全体と異なり、25～29歳、45～49歳、60～69歳、75歳以上で「高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感」、20～24歳で「高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境」、70～74歳で「保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制」が最も高くなっている。
- ・ 女性では、回答者全体と異なり、60～64歳、70～74歳で「高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境」、30～34歳で「すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況」、50～54歳で「高齢者・障害者等の生活を支援するサービスの充実感」、60～64歳で「保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制」が最も高くなっている。

図表III-55 性年齢別福祉・介護・健康における優先度1番目の項目

< 男性 >

	17. 高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感	18. 高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供	19. 高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	20. 保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制	21. 家族・地域による高齢者・障害者の支援体制	22. すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況
合計(n=510)	17.6%	4.9%	12.2%	10.2%	4.1%	8.8%
20～24歳(n=21)	9.5%	0.0%	33.3%	9.5%	4.8%	19.0%
25～29歳(n=22)	18.2%	4.5%	13.6%	13.6%	4.5%	13.6%
30～34歳(n=42)	11.9%	7.1%	11.9%	4.8%	4.8%	16.7%
35～39歳(n=42)	23.8%	4.8%	2.4%	9.5%	4.8%	7.1%
40～44歳(n=58)	10.3%	3.4%	12.1%	5.2%	6.9%	12.1%
45～49歳(n=47)	21.3%	4.3%	14.9%	14.9%	2.1%	10.6%
50～54歳(n=40)	12.5%	5.0%	15.0%	7.5%	2.5%	12.5%
55～59歳(n=65)	23.1%	7.7%	9.2%	10.8%	0.0%	3.1%
60～64歳(n=67)	19.4%	4.5%	10.4%	13.4%	7.5%	3.0%
65～69歳(n=40)	27.5%	2.5%	15.0%	7.5%	7.5%	5.0%
70～74歳(n=36)	11.1%	2.8%	11.1%	16.7%	2.8%	11.1%
75歳以上(n=28)	14.3%	10.7%	10.7%	10.7%	0.0%	3.6%

	23. すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境	24. いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境	無回答
合計(n=510)	6.1%	21.4%	14.7%
20～24歳(n=21)	0.0%	14.3%	9.5%
25～29歳(n=22)	4.5%	18.2%	9.1%
30～34歳(n=42)	2.4%	28.6%	11.9%
35～39歳(n=42)	7.1%	33.3%	7.1%
40～44歳(n=58)	12.1%	27.6%	10.3%
45～49歳(n=47)	4.3%	19.1%	8.5%
50～54歳(n=40)	10.0%	22.5%	12.5%
55～59歳(n=65)	6.2%	27.7%	12.3%
60～64歳(n=67)	4.5%	19.4%	17.9%
65～69歳(n=40)	0.0%	7.5%	27.5%
70～74歳(n=36)	8.3%	13.9%	22.2%
75歳以上(n=28)	10.7%	7.1%	32.1%

< 女性 >

	17. 高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感	18. 高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供	19. 高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	20. 保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制	21. 家族・地域による高齢者・障害者の支援体制	22. すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況
合計(n=701)	14.1%	4.6%	12.8%	10.4%	5.3%	11.4%
20～24歳(n=28)	21.4%	3.6%	3.6%	7.1%	7.1%	14.3%
25～29歳(n=42)	4.8%	0.0%	9.5%	7.1%	2.4%	28.6%
30～34歳(n=81)	4.9%	3.7%	12.3%	11.1%	4.9%	21.0%
35～39歳(n=82)	14.6%	1.2%	7.3%	7.3%	7.3%	17.1%
40～44歳(n=63)	15.9%	3.2%	4.8%	12.7%	9.5%	12.7%
45～49歳(n=40)	10.0%	7.5%	10.0%	10.0%	7.5%	10.0%
50～54歳(n=40)	22.5%	7.5%	17.5%	10.0%	5.0%	12.5%
55～59歳(n=84)	13.1%	3.6%	19.0%	7.1%	7.1%	7.1%
60～64歳(n=80)	16.3%	10.0%	17.5%	17.5%	3.8%	3.8%
65～69歳(n=59)	18.6%	10.2%	11.9%	11.9%	1.7%	3.4%
70～74歳(n=47)	19.1%	2.1%	21.3%	12.8%	2.1%	8.5%
75歳以上(n=54)	14.8%	1.9%	14.8%	7.4%	3.7%	1.9%

	23. すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境	24. いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境	無回答
合計(n=701)	4.9%	23.3%	13.3%
20～24歳(n=28)	10.7%	28.6%	3.6%
25～29歳(n=42)	0.0%	35.7%	11.9%
30～34歳(n=81)	12.3%	19.8%	9.9%
35～39歳(n=82)	1.2%	36.6%	7.3%
40～44歳(n=63)	4.8%	30.2%	6.3%
45～49歳(n=40)	5.0%	35.0%	5.0%
50～54歳(n=40)	2.5%	12.5%	10.0%
55～59歳(n=84)	6.0%	20.2%	16.7%
60～64歳(n=80)	3.8%	10.0%	17.5%
65～69歳(n=59)	1.7%	27.1%	13.6%
70～74歳(n=47)	4.3%	12.8%	17.0%
75歳以上(n=54)	3.7%	16.7%	35.2%

c) 家族に 65 歳以上の高齢者がいる回答者

- ・ 家族に高齢者のいる回答者では、「高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感」が最も高くなっている。

図表III-56 福祉・介護・健康における優先度 1 番目の項目（家族に65歳以上の高齢者がいる回答者）

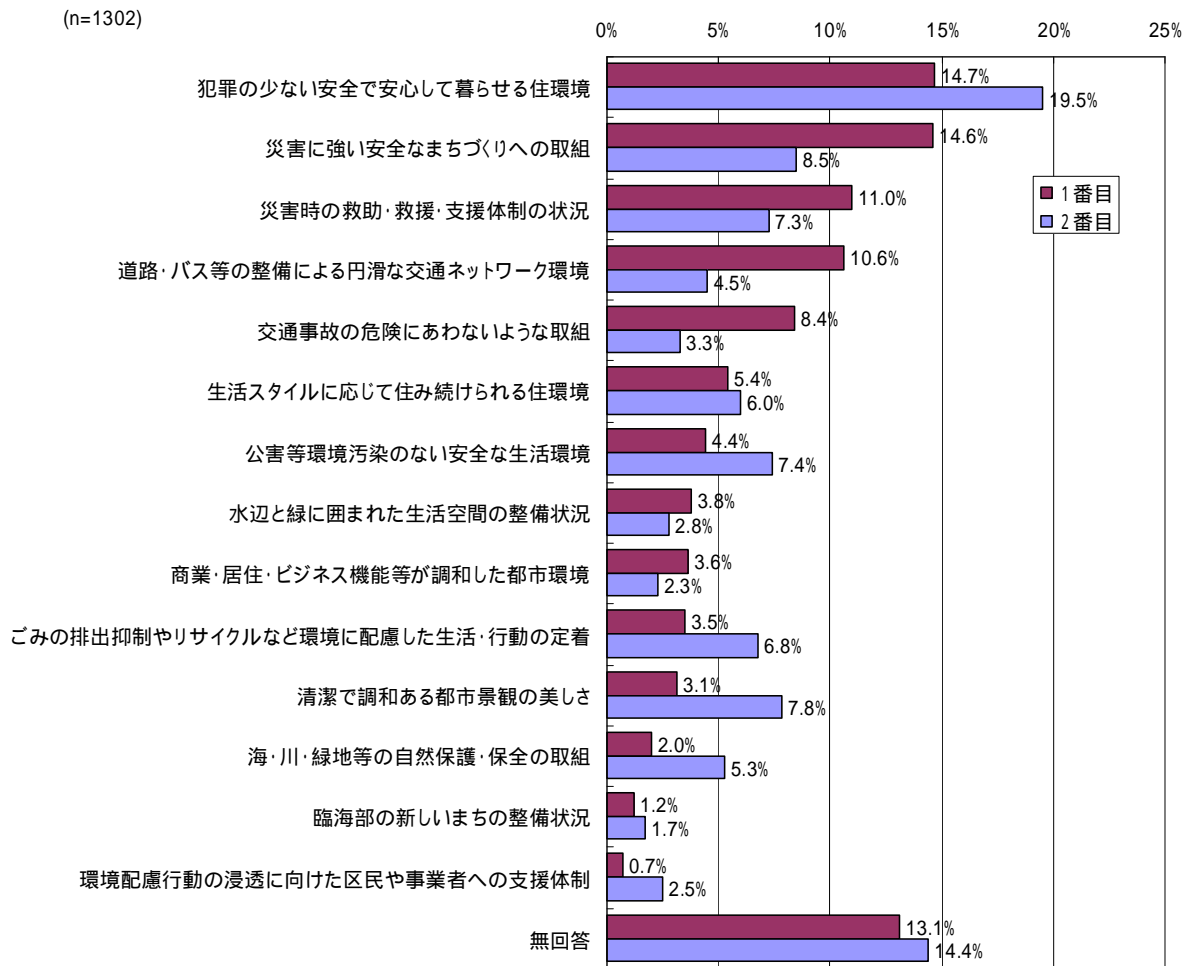
	17. 高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感	18. 高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供	19. 高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	20. 保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制	21. 家族・地域による高齢者・障害者の支援体制	22. すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況
合計(n=1302)	15.7%	4.5%	12.8%	10.3%	4.7%	9.8%
家族に65歳以上の高齢者がいる(n=275)	21.1%	4.4%	14.9%	7.6%	5.8%	6.5%

	23. すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境	24. いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境	無回答
合計(n=1302)	5.5%	21.7%	15.1%
家族に65歳以上の高齢者がいる(n=275)	4.7%	18.5%	16.4%

都市づくり

- ・ 優先度 1 番目にあげられた割合は「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」(14.7%) が最も高く、「災害に強い安全なまちづくりへの取組」(14.6%)、「災害時の救助・救援・支援体制の状況」(11.0%) の順となっている。
- ・ 2 番目に挙げられたものでは、「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」(19.5%)、「清潔で調和ある都市景観の美しさ」(7.8%)、「公害等環境汚染のない安全な生活環境」(7.4%)、「ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着」(6.8%)、「海・川・緑地等の自然保護・保全の取組み」(5.3%) の回答率が 1 番目での回答割合を大きく上回っている。

図表III-57 都市づくりにおける各項目の優先度



a) 地区別

- ・ 各地区で優先度1番目にあげられた割合は、白河・小松橋地区、南砂地区では回答者全体と同様に「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」が最も高くなっているが、富岡・東陽地区（19.7%）、大島地区（14.9%）、砂町地区（15.5%）では「災害に強い安全なまちづくりへの取組」、豊洲地区（14.5%）、亀戸地区（14.6%）では「道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境」が最も高くなっている。

図表III-58 地区別都市づくりにおける優先度1番目の項目

	25. 商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	27. 交通事故の危険にあわないような取組	28. 災害に強い安全なまちづくりへの取組	29. 災害時の救助・救援・支援体制の状況	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	32. 生活スタイルに応じて住み続けられる住環境
合計(n=1302)	3.6%	10.6%	8.4%	14.6%	11.0%	3.8%	1.2%	5.4%
白河・小松橋(n=213)	5.6%	8.5%	7.0%	14.6%	9.4%	3.3%	0.9%	1.9%
富岡・東陽(n=198)	3.0%	3.5%	8.6%	19.7%	12.6%	5.1%	1.0%	8.6%
豊洲(n=227)	4.0%	14.5%	7.5%	12.8%	7.5%	5.3%	3.5%	7.0%
亀戸(n=144)	2.8%	14.6%	8.3%	11.8%	12.5%	4.9%	0.0%	4.2%
大島(n=174)	2.3%	11.5%	11.5%	14.9%	13.2%	1.7%	0.6%	4.6%
砂町(n=213)	1.9%	13.6%	8.0%	15.5%	12.2%	3.8%	0.5%	4.7%
南砂(n=126)	6.3%	7.1%	8.7%	11.9%	10.3%	1.6%	0.8%	7.1%

	33. 犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	34. 公害等環境汚染のない安全な生活環境	35. ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着	36. 環境配慮行動の浸透に向けた区民や事業者への支援体制	37. 海・川・緑地等の自然保護・保全の取組	38. 清潔で調和ある都市景観の美しさ	無回答
合計(n=1302)	14.7%	4.4%	3.5%	0.7%	2.0%	3.1%	13.1%
白河・小松橋(n=213)	20.7%	4.7%	3.3%	0.9%	3.8%	4.2%	11.3%
富岡・東陽(n=198)	12.6%	3.5%	4.0%	1.0%	2.0%	2.5%	12.1%
豊洲(n=227)	12.3%	8.8%	3.1%	0.9%	1.3%	2.6%	8.8%
亀戸(n=144)	13.9%	4.2%	5.6%	0.0%	1.4%	3.5%	12.5%
大島(n=174)	12.6%	2.3%	4.0%	0.0%	2.9%	1.1%	16.7%
砂町(n=213)	14.6%	2.3%	2.3%	1.4%	0.9%	2.8%	15.5%
南砂(n=126)	17.5%	4.0%	3.2%	0.0%	1.6%	5.6%	14.3%

b) 性年齢別

- ・ 優先度1番目にあげられた割合は、男性では、回答者全体と異なり、50～64歳、70～74歳で「災害に強い安全なまちづくりへの取組」、55～59歳、70歳以上で「災害時の救助・救援・支援体制の状況」、25～29歳、75歳以上で「道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境」、65～74歳で「交通事故の危険にあわないような取組」、70～74歳で「商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境」、20～24歳で「公害等環境汚染のない安全な生活環境」が最も高くなっている。
- ・ 女性では、回答者全体と異なり、35～39歳、45～49歳、60歳以上で「災害に強い安全な

まちづくりへの取組」、50～54歳、75歳以上で「災害時の救助・救援・支援体制の状況」、25～34歳で「道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境」が最も高くなっている。

図表III-59 性年齢別都市づくりにおける優先度1番目の項目

< 男性 >

	25. 商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	27. 交通事故の危険にあわないような取組	28. 災害に強い安全なまちづくりへの取組	29. 災害時の救助・救援・支援体制の状況	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	32. 生活スタイルに応じて住み続けられる住環境
合計(n=510)	5.1%	9.4%	7.1%	13.1%	10.2%	4.7%	2.2%	5.3%
20～24歳(n=21)	0.0%	14.3%	0.0%	9.5%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%
25～29歳(n=22)	13.6%	31.8%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	9.1%
30～34歳(n=42)	2.4%	9.5%	7.1%	9.5%	9.5%	7.1%	0.0%	4.8%
35～39歳(n=42)	2.4%	7.1%	4.8%	11.9%	7.1%	4.8%	4.8%	0.0%
40～44歳(n=58)	6.9%	8.6%	5.2%	8.6%	12.1%	3.4%	0.0%	0.0%
45～49歳(n=47)	2.1%	8.5%	4.3%	14.9%	10.6%	2.1%	4.3%	2.1%
50～54歳(n=40)	0.0%	15.0%	10.0%	22.5%	10.0%	2.5%	5.0%	7.5%
55～59歳(n=65)	3.1%	6.2%	3.1%	15.4%	15.4%	6.2%	3.1%	9.2%
60～64歳(n=67)	7.5%	7.5%	11.9%	17.9%	7.5%	9.0%	0.0%	9.0%
65～69歳(n=40)	5.0%	5.0%	12.5%	10.0%	10.0%	0.0%	2.5%	7.5%
70～74歳(n=36)	11.1%	2.8%	11.1%	11.1%	11.1%	5.6%	2.8%	5.6%
75歳以上(n=28)	10.7%	14.3%	7.1%	10.7%	14.3%	0.0%	0.0%	3.6%

	33. 犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	34. 公害等環境汚染のない安全な生活環境	35. ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着	36. 環境配慮行動の浸透に向けた区民や事業者への支援体制	37. 海・川・緑地等の自然保護・保全の取組	38. 清潔で調和ある都市景観の美しさ	無回答
合計(n=510)	16.3%	3.7%	3.3%	0.6%	2.4%	3.9%	12.7%
20～24歳(n=21)	14.3%	19.0%	4.8%	0.0%	4.8%	4.8%	9.5%
25～29歳(n=22)	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	4.5%
30～34歳(n=42)	23.8%	2.4%	2.4%	2.4%	4.8%	2.4%	11.9%
35～39歳(n=42)	31.0%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	4.8%
40～44歳(n=58)	31.0%	6.9%	3.4%	1.7%	3.4%	3.4%	5.2%
45～49歳(n=47)	25.5%	0.0%	6.4%	2.1%	2.1%	8.5%	6.4%
50～54歳(n=40)	7.5%	2.5%	2.5%	0.0%	7.5%	2.5%	5.0%
55～59歳(n=65)	15.4%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%	13.8%
60～64歳(n=67)	6.0%	3.0%	3.0%	0.0%	3.0%	1.5%	13.4%
65～69歳(n=40)	10.0%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	32.5%
70～74歳(n=36)	11.1%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	22.2%
75歳以上(n=28)	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%	28.6%

< 女性 >

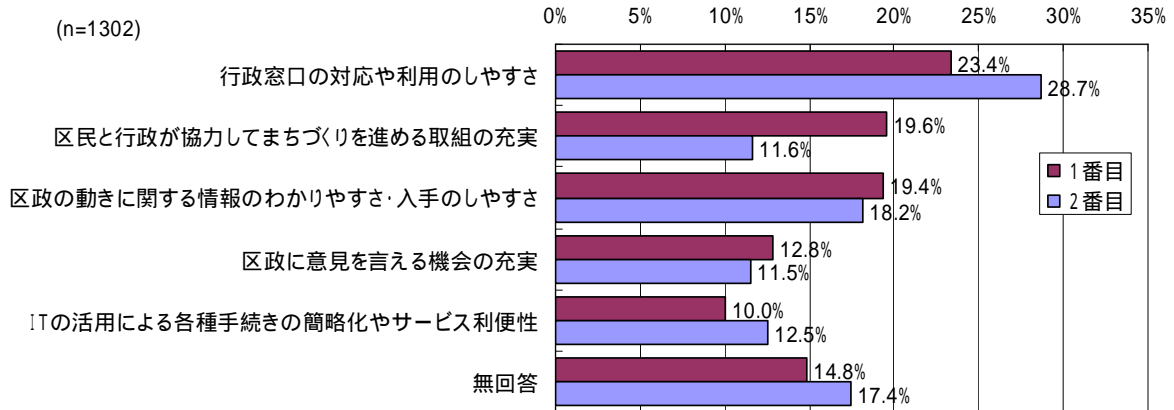
	25. 商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	26. 道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	27. 交通事故の危険にあわないような取組	28. 災害に強い安全なまちづくりへの取組	29. 災害時の救助・救援・支援体制の状況	30. 水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	31. 臨海部の新しいまちの整備状況	32. 生活スタイルに応じて住み続けられる住環境
合計(n=701)	2.6%	11.1%	9.1%	16.0%	12.1%	3.1%	0.6%	5.1%
20～24歳(n=28)	7.1%	10.7%	0.0%	7.1%	10.7%	14.3%	0.0%	7.1%
25～29歳(n=42)	0.0%	23.8%	7.1%	11.9%	11.9%	2.4%	2.4%	0.0%
30～34歳(n=81)	1.2%	14.8%	7.4%	11.1%	7.4%	2.5%	0.0%	7.4%
35～39歳(n=82)	2.4%	11.0%	6.1%	19.5%	9.8%	6.1%	2.4%	4.9%
40～44歳(n=63)	1.6%	7.9%	9.5%	11.1%	12.7%	3.2%	0.0%	7.9%
45～49歳(n=40)	2.5%	10.0%	7.5%	25.0%	7.5%	0.0%	0.0%	7.5%
50～54歳(n=40)	2.5%	17.5%	2.5%	12.5%	27.5%	5.0%	0.0%	2.5%
55～59歳(n=84)	1.2%	7.1%	13.1%	14.3%	14.3%	1.2%	1.2%	7.1%
60～64歳(n=80)	5.0%	12.5%	10.0%	20.0%	12.5%	1.3%	0.0%	5.0%
65～69歳(n=59)	5.1%	6.8%	15.3%	27.1%	13.6%	1.7%	0.0%	1.7%
70～74歳(n=47)	2.1%	6.4%	12.8%	14.9%	8.5%	2.1%	0.0%	4.3%
75歳以上(n=54)	1.9%	9.3%	11.1%	13.0%	13.0%	3.7%	0.0%	3.7%

	33. 犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	34. 公害等環境汚染のない安全な生活環境	35. ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着	36. 環境配慮行動の浸透に向けた区民や事業者への支援体制	37. 海・川・緑地等の自然保護・保全の取組	38. 清潔で調和ある都市景観の美しさ	無回答
合計(n=701)	14.6%	5.3%	4.0%	0.9%	1.9%	2.6%	11.1%
20～24歳(n=28)	17.9%	7.1%	7.1%	3.6%	0.0%	3.6%	3.6%
25～29歳(n=42)	9.5%	11.9%	7.1%	0.0%	4.8%	0.0%	7.1%
30～34歳(n=81)	12.3%	9.9%	9.9%	2.5%	2.5%	4.9%	6.2%
35～39歳(n=82)	18.3%	4.9%	4.9%	0.0%	1.2%	2.4%	6.1%
40～44歳(n=63)	30.2%	6.3%	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%	3.2%
45～49歳(n=40)	22.5%	2.5%	0.0%	0.0%	2.5%	5.0%	7.5%
50～54歳(n=40)	7.5%	10.0%	2.5%	2.5%	2.5%	0.0%	5.0%
55～59歳(n=84)	17.9%	3.6%	2.4%	0.0%	3.6%	1.2%	11.9%
60～64歳(n=80)	12.5%	1.3%	2.5%	0.0%	0.0%	1.3%	16.3%
65～69歳(n=59)	1.7%	1.7%	6.8%	0.0%	0.0%	1.7%	16.9%
70～74歳(n=47)	10.6%	4.3%	2.1%	2.1%	2.1%	8.5%	19.1%
75歳以上(n=54)	9.3%	3.7%	0.0%	0.0%	1.9%	1.9%	27.8%

行政運営

- ・ 優先度 1 番目にあげられた割合は「行政窓口の対応や利用のしやすさ」(23.4%)が最も高く、「区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実」(19.6%)、「区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ」(19.4%)の順となっている。
- ・ 2 番目に挙げられたものでは、「行政窓口の対応や利用のしやすさ」(28.7%)の回答率が 1 番目での回答割合を大きく上回っている。

図表III-60 行政運営における各項目の優先度



a) 地区別

- ・ 各地区で優先度 1 番目にあげられた割合は、回答者全体と異なり、砂町地区では「区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実」(23.0%)が最も高くなっている。
- ・ その他の地区では回答者全体と同様に「行政窓口の対応や利用のしやすさ」が最も高くなっている。

図表III-61 地区別行政運営における優先度 1 番目の項目

	39. 区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実	40. 区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ	41. 区政に意見を言える機会の充実	42. ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性	43. 行政窓口の対応や利用のしやすさ	無回答
合計(n=1302)	19.6%	19.4%	12.8%	10.0%	23.4%	14.8%
白河・小松橋(n=213)	17.4%	18.8%	13.6%	12.7%	24.9%	12.7%
富岡・東陽(n=198)	16.2%	20.2%	14.6%	9.1%	24.7%	15.2%
豊洲(n=227)	19.4%	19.8%	15.4%	11.0%	25.1%	9.3%
亀戸(n=144)	22.2%	20.8%	11.8%	9.7%	22.9%	12.5%
大島(n=174)	18.4%	16.1%	13.2%	9.8%	20.7%	21.8%
砂町(n=213)	23.0%	22.5%	8.9%	8.5%	20.7%	16.4%
南砂(n=126)	22.2%	15.9%	11.1%	8.7%	26.2%	15.9%

b) 性年齢別

- ・ 優先度1番目にあげられた割合は、男性では、回答者全体と異なり、65歳以上で「区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実」、20～29歳、35～39歳で「区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ」、30～34歳で「ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性」、45～49歳で「区政に意見を言える機会の充実」が最も高くなっている。
- ・ 女性では、20～24歳、60～74歳で「区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実」、75歳以上で「区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ」、25～29歳で「ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性」が最も高くなっている。

図表III-62 性年齢別行政運営における優先度1番目の項目

< 男性 >

	39.区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実	40.区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ	41.区政に意見を言える機会の充実	42.ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性	43.行政窓口の対応や利用のしやすさ	無回答
合計(n=510)	20.4%	19.6%	13.5%	11.2%	21.2%	14.1%
20～24歳(n=21)	4.8%	38.1%	14.3%	14.3%	19.0%	9.5%
25～29歳(n=22)	9.1%	45.5%	0.0%	9.1%	31.8%	4.5%
30～34歳(n=42)	14.3%	16.7%	9.5%	23.8%	21.4%	14.3%
35～39歳(n=42)	21.4%	23.8%	19.0%	16.7%	11.9%	7.1%
40～44歳(n=58)	25.9%	17.2%	12.1%	13.8%	27.6%	3.4%
45～49歳(n=47)	6.4%	23.4%	27.7%	8.5%	25.5%	8.5%
50～54歳(n=40)	20.0%	15.0%	22.5%	10.0%	25.0%	7.5%
55～59歳(n=65)	20.0%	7.7%	12.3%	18.5%	26.2%	15.4%
60～64歳(n=67)	22.4%	17.9%	13.4%	3.0%	25.4%	17.9%
65～69歳(n=40)	27.5%	12.5%	7.5%	5.0%	15.0%	32.5%
70～74歳(n=36)	36.1%	22.2%	8.3%	5.6%	5.6%	22.2%
75歳以上(n=28)	28.6%	25.0%	3.6%	3.6%	10.7%	28.6%

< 女性 >

	39.区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実	40.区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ	41.区政に意見を言える機会の充実	42.ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性	43.行政窓口の対応や利用のしやすさ	無回答
合計(n=701)	19.4%	19.4%	12.3%	9.7%	26.0%	13.3%
20～24歳(n=28)	25.0%	17.9%	7.1%	17.9%	25.0%	7.1%
25～29歳(n=42)	4.8%	21.4%	9.5%	28.6%	28.6%	7.1%
30～34歳(n=81)	13.6%	22.2%	12.3%	19.8%	25.9%	6.2%
35～39歳(n=82)	14.6%	23.2%	15.9%	6.1%	32.9%	7.3%
40～44歳(n=63)	17.5%	20.6%	6.3%	15.9%	36.5%	3.2%
45～49歳(n=40)	22.5%	17.5%	10.0%	10.0%	32.5%	7.5%
50～54歳(n=40)	27.5%	10.0%	20.0%	5.0%	32.5%	5.0%
55～59歳(n=84)	16.7%	23.8%	10.7%	3.6%	28.6%	16.7%
60～64歳(n=80)	21.3%	18.8%	16.3%	2.5%	20.0%	21.3%
65～69歳(n=59)	32.2%	16.9%	13.6%	6.8%	15.3%	15.3%
70～74歳(n=47)	31.9%	14.9%	8.5%	4.3%	14.9%	25.5%
75歳以上(n=54)	14.8%	16.7%	13.0%	5.6%	16.7%	33.3%

(6) 満足度と優先度の関係

- ・ 周辺生活環境の項目について、満足度(現在の状況について)と施策の優先度の関係の評価した。
- ・ 各項目は、以下の通り、数値化して評価を試みた。

<数値化の方法>
 * 満足度
 満足度は、「良い」1点、「どちらともいえない」0点、「悪い」-1点とし、各回答数を乗じた数値を合計し、総回答数で除した数値に100を乗じて数値化した。

* 優先度
 1番目に優先すべきとした回答割合(%)に100を乗じて数値化した。
 各分野に含まれる項目の優先度を平均で算出した数値を「平均優先度」として優先度の高低の基準としている。

- ・ 評価にあたっては、現在の状況の満足度のプラス・マイナス(+・-)、優先度と平均優先度との大小関係により、「現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い()」「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い()」「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い()」「現在の満足度は低いが、他の項目と比べた優先度も低い()」に分類して行った。

図表III-63 満足度と優先度の関係の分類

パターン		現在の満足度	優先度
	現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い()	+	平均より高い
	現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い()	+	平均より低い
	現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い()	-	平均より高い
	現在の満足度は低いが、他の項目と比べた優先度も低い()	-	平均より低い

注) 優先度の数値は、設問の中で優先度が高いものを選択する方式のため、全てプラスの数値である。

図表III-64 現在の満足度と優先度の関係の分類結果一覧

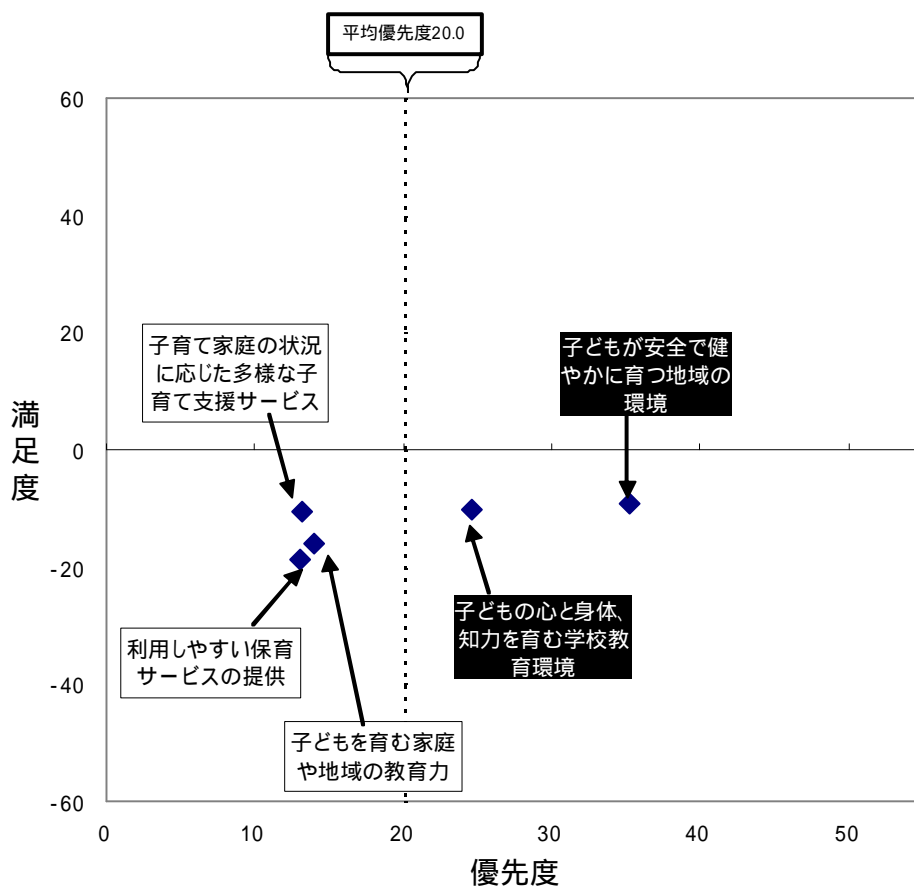
分野	番号	あなたの生活周辺環境	現在の満足度	優先度	分類
教育・児童福祉	1	子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境	-10.1	24.6%	
	2	子どもを育む家庭や地域の教育力	-16.1	14.0%	
	3	子どもが安全で健やかに育つ地域の環境	-9.1	35.2%	
	4	子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス	-10.5	13.2%	
	5	利用しやすい保育サービスの提供	-18.9	13.0%	
		分野平均（優先度）			20.0%
産業・コミュニティ・文化	6	だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境	5.4	20.1%	
	7	伝統文化の保護や活用の状況	5.4	8.3%	
	8	地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会	-3.5	7.1%	
	9	町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ	-8.3	9.8%	
	10	国内外の多様な人々との交流の活発さ	-28.9	2.0%	
	11	あらゆる分野に男女が平等に参画し、協働できる環境	-11.7	4.2%	
	12	観光客が増え、観光が活発化している様子	-8.7	3.9%	
	13	区内産業の活発さと中小企業への支援	-24.3	11.5%	
	14	魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子	-35.3	23.5%	
	15	区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子	-40.9	4.8%	
	16	消費者保護に関する啓発や相談体制の充実	-20.7	4.9%	
		分野平均（優先度）			9.1%
福祉・介護・健康	17	高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感	-8.5	18.5%	
	18	高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供	-12.2	5.2%	
	19	高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境	-23.1	15.1%	
	20	保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制	-10.8	12.1%	
	21	家族・地域による高齢者・障害者の支援体制	-15.4	5.5%	
	22	すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	-27.6	11.6%	
	23	すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境	-13.6	6.4%	
	24	いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境	-17.3	25.5%	
	分野平均（優先度）			12.5%	

分野	番号	あなたの生活周辺環境	現在の満足度	優先度	分類
都市づくり	25	商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境	1.5	4.2%	
	26	道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境	13.6	12.2%	
	27	交通事故の危険にあわないような取組	-17.2	9.6%	
	28	災害に強い安全なまちづくりへの取組	-9.3	16.8%	
	29	災害時の救助・救援・支援体制の状況	-10.6	12.6%	
	30	水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況	23.6	4.3%	
	31	臨海部の新しいまちの整備状況	28.1	1.3%	
	32	生活スタイルに応じて住み続けられる住環境	0.0	6.2%	
	33	犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境	-18.5	17.0%	
	34	公害等環境汚染のない安全な生活環境	-17.6	5.0%	
	35	ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着	0.4	4.1%	
	36	環境配慮行動の浸透に向けた区民や事業者への支援体制	-9.1	0.8%	
	37	海・川・緑地等の自然保護・保全の取組	4.9	2.3%	
	38	清潔で調和ある都市景観の美しさ	-7.9	3.6%	
		分野平均（優先度）		7.1%	
行政運営	39	区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実	-11.7	23.0%	
	40	区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ	-17.0	22.7%	
	41	区政に意見を言える機会の充実	-27.7	15.1%	
	42	ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性	-2.1	11.7%	
	43	行政窓口の対応や利用のしやすさ	-11.1	27.5%	
			分野平均（優先度）		20.0%

教育・児童福祉

- ・ 「子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境」、「子どもが安全で健やかに育つ地域の環境」が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い ()」に位置づけられており、特に「子どもが安全で健やかに育つ地域の環境」は優先度と満足度の乖離が大きくなっている。
- ・ 「子どもを育む家庭や地域の教育力」、「子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス」、「利用しやすい保育サービスの提供」が「現在の満足度は低い、他の項目と比べた優先度も低い ()」に位置づけられている。

図表III-65 教育・児童福祉の満足度と優先度の散布図

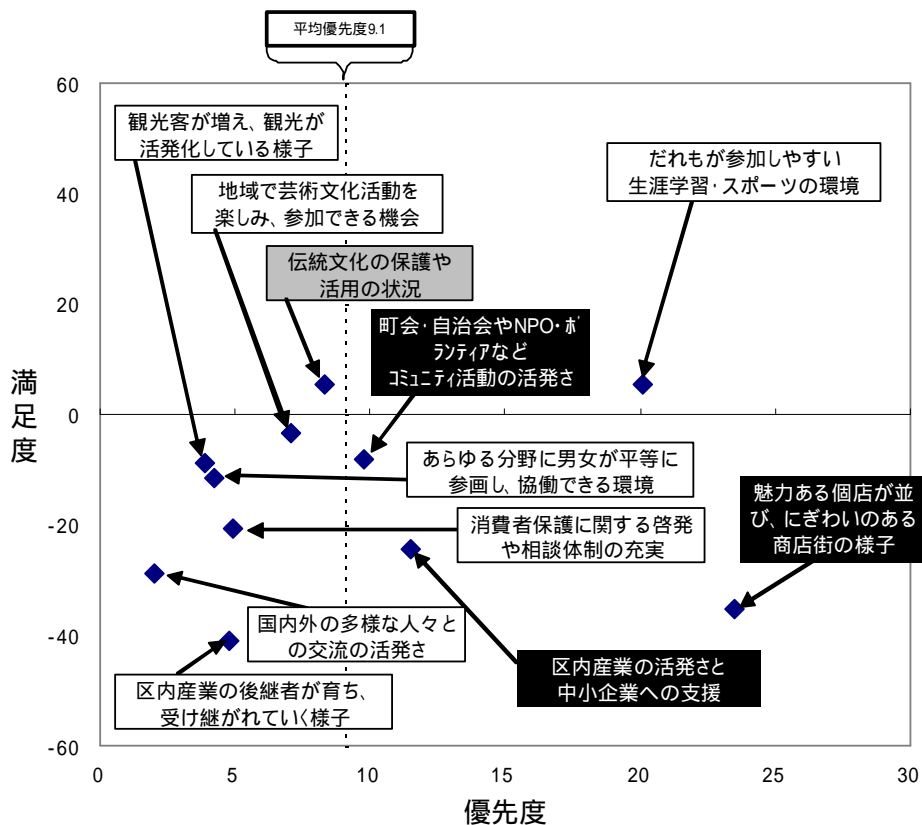


薄い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、濃い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

産業・コミュニティ・文化

- ・ 「だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境」が「現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い ()」に位置づけられており、区民のニーズにあった環境整備がなされている。
- ・ 「町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ」、「区内産業の活発さと中小企業への支援」、「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い ()」に位置づけられており、特に「魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子」は優先度と満足度の乖離が大きくなっている。
- ・ 「伝統文化の保護や活用の状況」が「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い ()」に位置づけられている。
- ・ 「地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会」、「国内外の多様な人々との交流の活発さ」、「あらゆる分野に男女が平等に参画し、協働できる環境」、「観光客が増え、観光が活発化している様子」、「区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子」、「消費者保護に関する啓発や相談体制の充実」が「現在の満足度は低い、他の項目と比べた優先度も低い ()」に位置づけられている。

図表III-66 産業・コミュニティ・文化の満足度と優先度の散布図

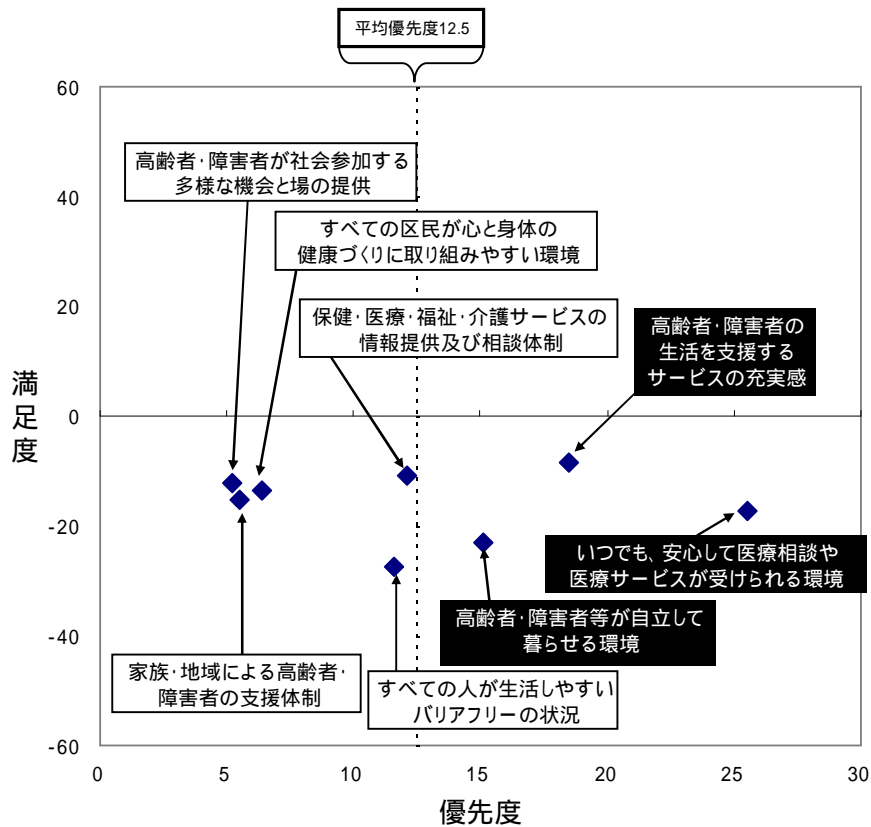


薄塗りつぶしは分類 「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、濃い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

福祉・介護・健康

- ・ 「高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感」、「高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境」、「いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境」が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い()」に位置づけられており、特に「いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境」は優先度と満足度の乖離が大きくなっている。
- ・ 「高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供」、「保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制」、「家族・地域による高齢者・障害者の支援体制」、「すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況」、「すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境」が「現在の満足度は低い、他の項目と比べた優先度も低い()」に位置づけられている。

図表III-67 福祉・介護・健康の満足度と優先度の散布図

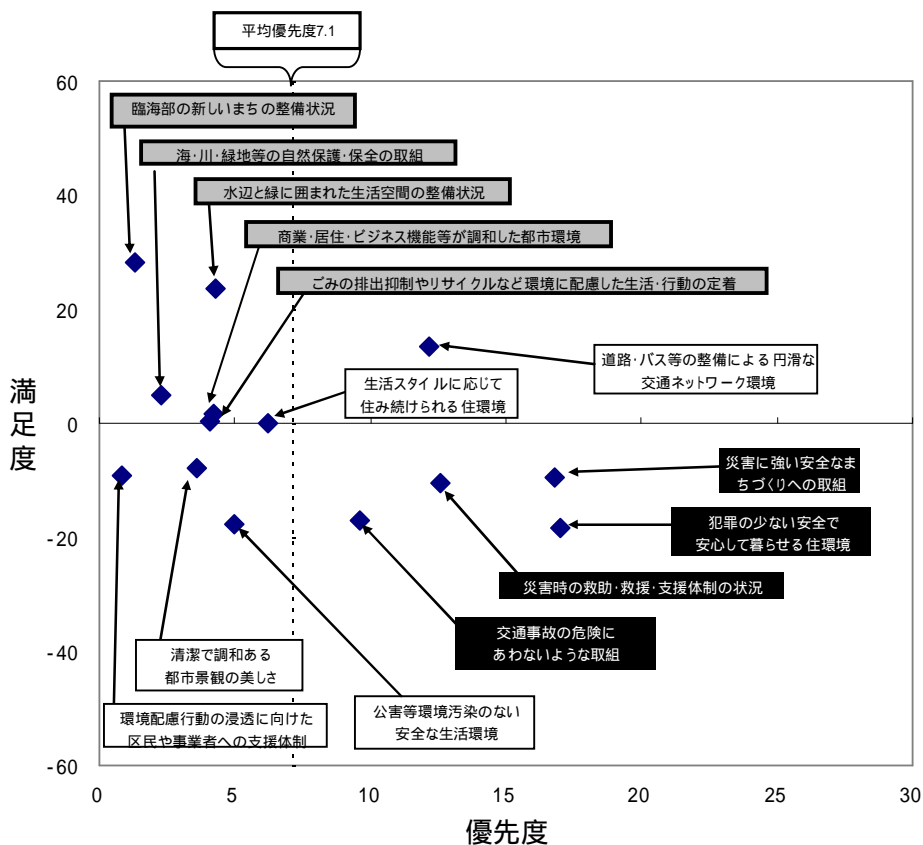


薄い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、濃い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

都市づくり

- ・ 「道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境」が「現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い ()」に位置づけられており、区民のニーズにあった環境整備がなされている。
- ・ 「交通事故の危険にあわないような取組」、「災害に強い安全なまちづくりへの取組」、「災害時の救助・救援・支援体制の状況」、「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い ()」に位置づけられており、特に「犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境」は優先度と満足度の乖離が大きくなっている。
- ・ 「商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境」、「水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況」、「臨海部の新しいまちの整備状況」、「ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着」、「海・川・緑地等の自然保護・保全の取組」が「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い ()」に位置づけられている。
- ・ 「生活スタイルに応じて住み続けられる住環境」、「公害等環境汚染のない安全な生活環境」、「環境配慮行動の浸透に向けた区民や事業者への支援体制」、「清潔で調和ある都市景観の美しさ」が「現在の満足度は低いが、他の項目と比べた優先度も低い ()」に位置づけられている。

図表III-68 都市づくりの満足度と優先度の散布図

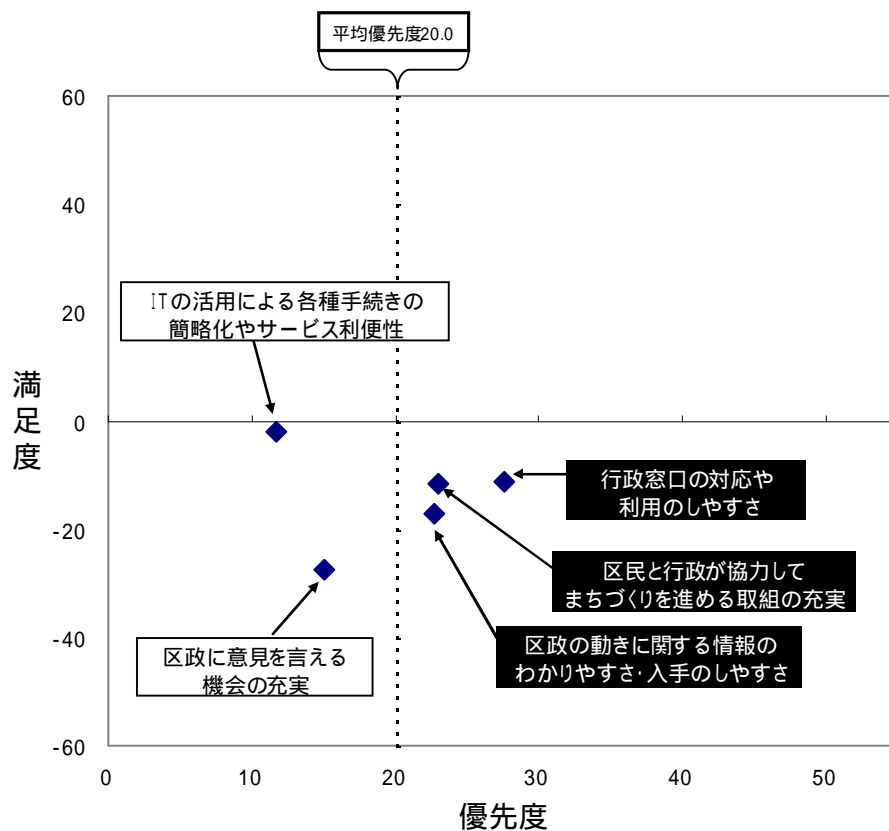


薄い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、濃い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

行政運営

- ・ 「区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実」、「区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ」、「行政窓口の対応や利用のしやすさ」が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い ()」に位置づけられており、特に「区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ」は優先度と満足度の乖離が大きくなっている。
- ・ 「区政に意見を言える機会の充実」、「IT の活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性」が「現在の満足度は低い、他の項目と比べた優先度も低い ()」に位置づけられている。

図表III-69 行政運営の満足度と優先度の散布図



薄い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、濃い塗りつぶしは分類 「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

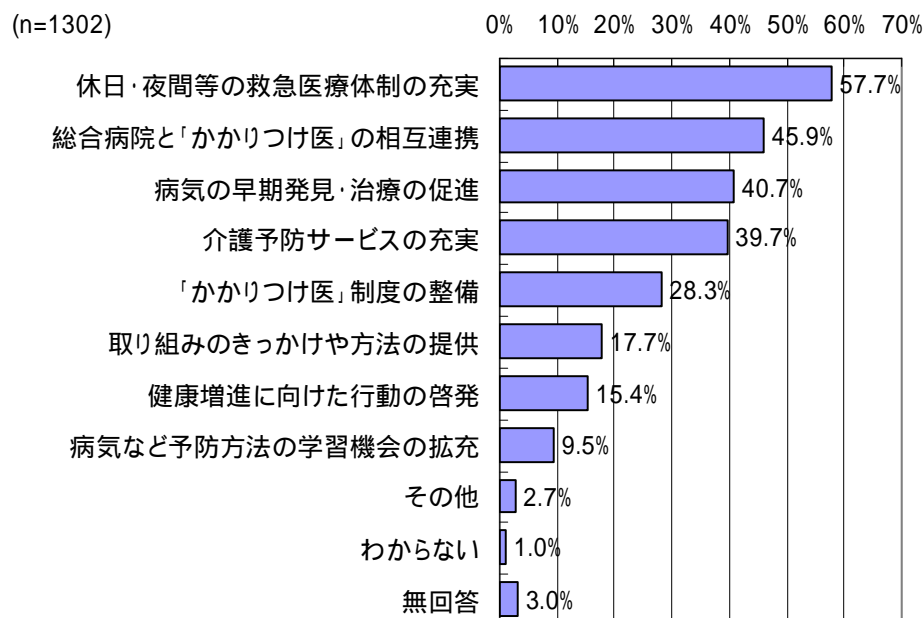
4. 江東区の将来に向けて重点的に取り組むべき政策・施策

(1) 健康維持・医療体制の充実

問7 【健康維持・医療体制の充実】

区民が健康で元気に暮らし続けられるよう、健康維持・医療体制の充実に向け、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内に をおつけください。

図表III-70 健康維持・医療体制の充実に係る政策・施策



- ・ 「休日・夜間等の救急医療体制の充実」(57.7%)が最も高く、「総合病院と「かかりつけ医」の相互連携」(45.9%)、「病気の早期発見・治療の促進」(40.7%)の順となっている。

地区別

- ・ 回答者全体と異なり、大島地区では「介護予防サービスの充実」（47.7%）が最も高くなっている。
- ・ その他の地区ではいずれも回答者全体と同様に「休日・夜間等の救急医療体制の充実」が最も高くなっている。

図表III-71 地区別健康維持・医療体制の充実に係る政策・施策

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋(n=213)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実	病気の早期発見・治療の促進	「かかりつけ医」制度の整備
	59.6%	50.2%	42.3%	38.5%	26.8%
富岡・東陽(n=198)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	病気の早期発見・治療の促進	介護予防サービスの充実	「かかりつけ医」制度の整備
	59.1%	44.4%	37.9%	33.3%	29.3%
豊洲(n=227)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	病気の早期発見・治療の促進	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実	「かかりつけ医」制度の整備
	60.4%	41.4%	41.0%	36.1%	26.4%
亀戸(n=144)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	病気の早期発見・治療の促進	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実	「かかりつけ医」制度の整備
	56.3%	50.7%	43.1%	41.0%	25.0%
大島(n=174)	介護予防サービスの充実	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	病気の早期発見・治療の促進	「かかりつけ医」制度の整備
	47.7%	47.1%	42.5%	37.9%	32.8%
砂町(n=213)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実 病気の早期発見・治療の促進		「かかりつけ医」制度の整備
	57.7%	52.1%	40.8%		29.6%
南砂(n=126)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	病気の早期発見・治療の促進	介護予防サービスの充実	「かかりつけ医」制度の整備
	63.5%	48.4%	40.5%	38.1%	29.4%

年齢別

- ・ 男性では、回答者全体と異なり、20～24歳で「病気の早期発見・治療の促進」、70～74歳で「介護予防サービスの充実」が最も高くなっている。
- ・ 女性では、回答者全体と異なり、30～34歳で「病気の早期発見・治療の促進」、45～54歳、65～74歳で「総合病院と「かかりつけ医」の相互連携」がそれぞれ最も高くなっている。

図表III-72 性年齢別健康維持・医療体制の充実に係る政策・施策

<男性>

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	病気の早期発見・治療の促進		介護予防サービスの充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	健康増進に向けた行動の啓発
	休日・夜間等の救急医療体制の充実				病気など予防方法の学習機会の拡充
	47.6%		42.9%	33.3%	19.0%
25～29歳(n=22)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	病気の早期発見・治療の促進	健康増進に向けた行動の啓発		
	81.8%	36.4%	病気など予防方法の学習機会の拡充 総合病院と「かかりつけ医」の相互連携		
30～34歳(n=42)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	病気の早期発見・治療の促進	「かかりつけ医」制度の整備	介護予防サービスの充実
	64.3%	45.2%	42.9%	28.6%	21.4%
35～39歳(n=42)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	「かかりつけ医」制度の整備	病気の早期発見・治療の促進	介護予防サービスの充実
	64.3%	57.1%	35.7%	31.0%	28.6%
40～44歳(n=58)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	病気の早期発見・治療の促進	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	「かかりつけ医」制度の整備	介護予防サービスの充実
	63.8%	51.7%	39.7%	34.5%	24.1%
45～49歳(n=47)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実	病気の早期発見・治療の促進	「かかりつけ医」制度の整備
	70.2%	55.3%	44.7%	42.6%	17.0%
50～54歳(n=40)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	病気の早期発見・治療の促進	介護予防サービスの充実	「かかりつけ医」制度の整備	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携
	55.0%	42.5%	37.5%	27.5%	27.5%
55～59歳(n=65)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	介護予防サービスの充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	「かかりつけ医」制度の整備	病気の早期発見・治療の促進
	64.6%	47.7%	46.2%	36.9%	29.2%
60～64歳(n=67)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	病気の早期発見・治療の促進	介護予防サービスの充実	「かかりつけ医」制度の整備
	52.2%	40.3%	37.3%	31.3%	29.9%
65～69歳(n=40)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	介護予防サービスの充実		「かかりつけ医」制度の整備	
	57.5%	病気の早期発見・治療の促進		総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	
70～74歳(n=36)	介護予防サービスの充実	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	取り組みのきっかけや方法の提供	病気の早期発見・治療の促進
	61.1%	55.6%	44.4%	25.0%	25.0%
75歳以上(n=28)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	介護予防サービスの充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	「かかりつけ医」制度の整備	病気の早期発見・治療の促進
	60.7%	57.1%	50.0%	32.1%	21.4%
男性計(n=510)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実	病気の早期発見・治療の促進	「かかりつけ医」制度の整備
	61.4%	42.5%	38.6%	38.2%	28.8%

図表III-73 性年齢別健康維持・医療体制の充実に係る政策・施策

<女性>

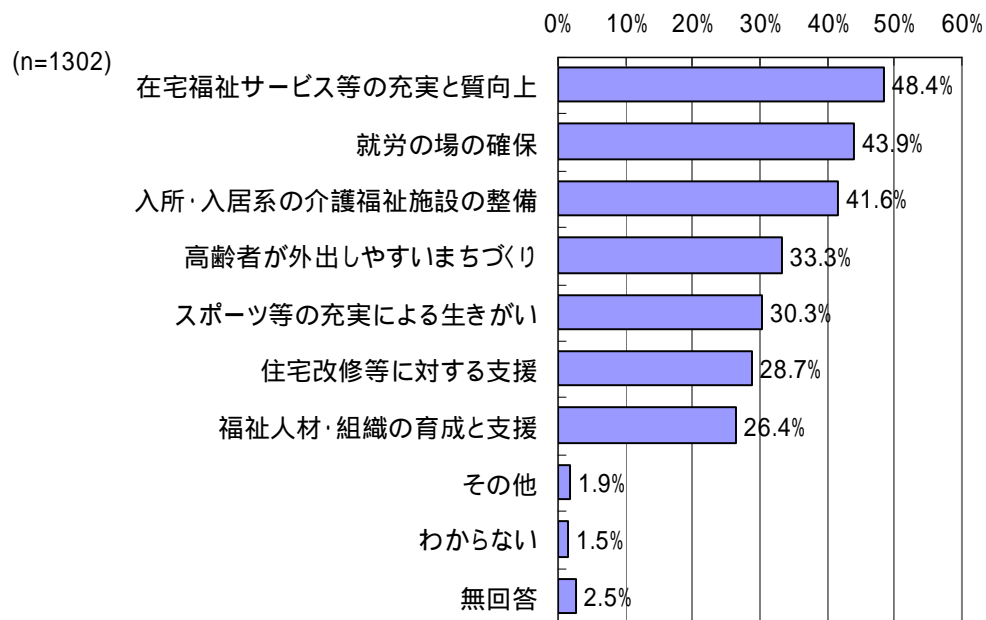
	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	病気の早期発見・治療の促進 総合病院と「かかりつけ医」の相互連携		介護予防サービスの充実	健康増進に向けた行動の啓発
	67.9%	46.4%		35.7%	17.9%
25～29歳(n=42)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	病気の早期発見・治療の促進	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実	取り組みのきっかけや方法の提供
	73.8%	69.0%	38.1%	23.8%	19.0%
30～34歳(n=81)	病気の早期発見・治療の促進	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実	取り組みのきっかけや方法の提供
	63.0%	56.8%	48.1%	28.4%	23.5%
35～39歳(n=82)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	病気の早期発見・治療の促進	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実	「かかりつけ医」制度の整備
	67.1%	47.6%	43.9%	36.6%	25.6%
40～44歳(n=63)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	病気の早期発見・治療の促進	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実	「かかりつけ医」制度の整備
	57.1%	55.6%	46.0%	42.9%	20.6%
45～49歳(n=40)	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	休日・夜間等の救急医療体制の充実	「かかりつけ医」制度の整備	介護予防サービスの充実	
	65.0%	57.5%	42.5%	40.0%	
50～54歳(n=40)	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	病気の早期発見・治療の促進	介護予防サービスの充実	休日・夜間等の救急医療体制の充実	健康増進に向けた行動の啓発
	67.5%	55.0%	42.5%	40.0%	25.0%
55～59歳(n=84)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実	病気の早期発見・治療の促進	
	58.3%	50.0%	47.6%	35.7%	
60～64歳(n=80)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実	「かかりつけ医」制度の整備	病気の早期発見・治療の促進
	51.3%	47.5%	40.0%	36.3%	33.8%
65～69歳(n=59)	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	介護予防サービスの充実		「かかりつけ医」制度の整備	病気の早期発見・治療の促進
	52.5%	50.8%		39.0%	30.5%
70～74歳(n=47)	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	休日・夜間等の救急医療体制の充実	介護予防サービスの充実	病気の早期発見・治療の促進	「かかりつけ医」制度の整備
	48.9%	42.6%	40.4%	31.9%	19.1%
75歳以上(n=54)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	介護予防サービスの充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	病気の早期発見・治療の促進	「かかりつけ医」制度の整備
	53.7%	44.4%	40.7%	31.5%	29.6%
女性計(n=701)	休日・夜間等の救急医療体制の充実	総合病院と「かかりつけ医」の相互連携	病気の早期発見・治療の促進	介護予防サービスの充実	「かかりつけ医」制度の整備
	56.5%	48.9%	44.5%	39.8%	28.2%

(2) 高齢者の生活支援

問8 【高齢者の生活支援】

高齢者の地域での暮らしを支援するために、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内に おつけください。

図表III-74 高齢者の生活支援に係る政策・施策

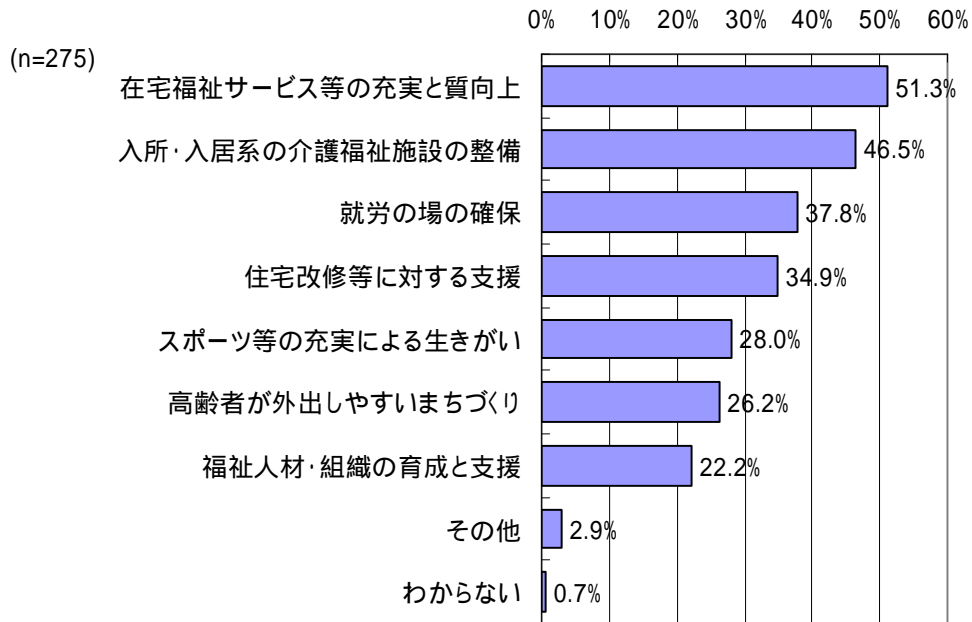


- ・ 「在宅福祉サービス等の充実と質向上」(48.4%)が最も高く、「就労の場の確保」(43.9%)、「入所・入居系の介護福祉施設の整備」(41.6%)の順となっている。

家族に 65 歳以上の高齢者がいる回答者

- ・ 家族に 65 歳以上の高齢者がいる回答者では「在宅福祉サービス等の充実と質向上」(51.3%) が最も高く、「入所・入居系の介護福祉施設の整備」(46.5%)、「就労の場の確保」(37.8%) の順となっている。

図表III-75 高齢者の生活支援に係る政策・施策（家族に65歳以上の高齢者がいる回答者）



地区別

- ・ 回答者全体と異なり、南砂地区（50.0%）、豊洲地区（48.0%）では「就労の場の確保」が最も高くなっている。
- ・ その他の地区では回答者全体と同様に「在宅福祉サービス等の充実と質向上」が最も高くなっている。

図表III-76 地区別高齢者の生活支援に係る政策・施策

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋(n=213)	在宅福祉サービス等の充実と質向上	就労の場の確保		スポーツ等の充実による生きがい	
		入所・入居系の介護福祉施設の整備		福祉人材・組織の育成と支援	
	44.6%	42.3%		32.9%	
富岡・東陽(n=198)	在宅福祉サービス等の充実と質向上	入所・入居系の介護福祉施設の整備	高齢者が外出しやすいまちづくり	就労の場の確保	スポーツ等の充実による生きがい
		52.5%	37.9%	37.4%	35.4%
豊洲(n=227)	就労の場の確保 在宅福祉サービス等の充実と質向上	入所・入居系の介護福祉施設の整備		高齢者が外出しやすいまちづくり	スポーツ等の充実による生きがい
		48.0%		40.1%	34.8%
亀戸(n=144)	在宅福祉サービス等の充実と質向上	入所・入居系の介護福祉施設の整備	就労の場の確保	住宅改修等に対する支援	高齢者が外出しやすいまちづくり
		52.1%	43.1%	41.7%	35.4%
大島(n=174)	在宅福祉サービス等の充実と質向上	入所・入居系の介護福祉施設の整備	就労の場の確保	住宅改修等に対する支援	スポーツ等の充実による生きがい
		47.7%	43.7%	42.0%	31.0%
砂町(n=213)	在宅福祉サービス等の充実と質向上	就労の場の確保	入所・入居系の介護福祉施設の整備	高齢者が外出しやすいまちづくり	福祉人材・組織の育成と支援
		51.2%	48.4%	45.1%	32.9%
南砂(n=126)	就労の場の確保	在宅福祉サービス等の充実と質向上	入所・入居系の介護福祉施設の整備	高齢者が外出しやすいまちづくり	スポーツ等の充実による生きがい
		50.0%	41.3%	38.9%	35.7%

性年齢別

- ・ 男性では、回答者全体と異なり、20～29歳で「高齢者が外出しやすいまちづくり」、30～44歳、55～64歳で「就労の場の確保」が最も高くなっている。
- ・ 女性では、回答者全体と異なり、20～24歳で「スポーツ等の充実による生きがい」、30～34歳で「就労の場の確保」、40～49歳、55～59歳、65～69歳で「入所・入居系の介護福祉施設の整備」、70～74歳で「高齢者が外出しやすいまちづくり」がそれぞれ最も高くなっている。

図表111-77 性年齢別高齢者の生活支援に係る政策・施策

<男性>

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	高齢者が外出しやすいまちづくり	スポーツ等の充実による生きがい	就労の場の確保	入所・入居系の介護福祉施設の整備	
	52.4%	47.6%	42.9%	福祉人材・組織の育成と支援 28.6%	
25～29歳(n=22)	高齢者が外出しやすいまちづくり	在宅福祉サービス等の充実と質向上	スポーツ等の充実による生きがい	就労の場の確保	入所・入居系の介護福祉施設の整備
	63.6%	50.0%	40.9%	31.8%	27.3%
30～34歳(n=42)	就労の場の確保	高齢者が外出しやすいまちづくり	在宅福祉サービス等の充実と質向上	入所・入居系の介護福祉施設の整備	
	57.1%	40.5%	住宅改修等に対する支援 35.7%	28.6%	
35～39歳(n=42)	就労の場の確保	入所・入居系の介護福祉施設の整備	在宅福祉サービス等の充実と質向上	高齢者が外出しやすいまちづくり	スポーツ等の充実による生きがい
	69.0%	42.9%	40.5%	28.6%	21.4%
40～44歳(n=58)	就労の場の確保	在宅福祉サービス等の充実と質向上	スポーツ等の充実による生きがい	入所・入居系の介護福祉施設の整備	
	44.8%	43.1%	37.9%	高齢者が外出しやすいまちづくり 34.5%	
45～49歳(n=47)	在宅福祉サービス等の充実と質向上	就労の場の確保	入所・入居系の介護福祉施設の整備	高齢者が外出しやすいまちづくり	福祉人材・組織の育成と支援
	59.6%	51.1%	38.3%	38.3%	31.9%
50～54歳(n=40)	在宅福祉サービス等の充実と質向上	就労の場の確保	入所・入居系の介護福祉施設の整備	高齢者が外出しやすいまちづくり	スポーツ等の充実による生きがい
	57.5%	45.0%	42.5%	37.5%	30.0%
55～59歳(n=65)	就労の場の確保	在宅福祉サービス等の充実と質向上	入所・入居系の介護福祉施設の整備	スポーツ等の充実による生きがい	
	55.4%	50.8%	40.0%	福祉人材・組織の育成と支援 38.5%	
60～64歳(n=67)	就労の場の確保	入所・入居系の介護福祉施設の整備	スポーツ等の充実による生きがい	在宅福祉サービス等の充実と質向上	
	55.2%	38.8%	32.8%	福祉人材・組織の育成と支援 31.3%	
65～69歳(n=40)	在宅福祉サービス等の充実と質向上	就労の場の確保		スポーツ等の充実による生きがい	住宅改修等に対する支援
	57.5%	入所・入居系の介護福祉施設の整備 42.5%		35.0%	25.0%
70～74歳(n=36)	在宅福祉サービス等の充実と質向上	入所・入居系の介護福祉施設の整備	就労の場の確保		
	55.6%	36.1%	高齢者が外出しやすいまちづくり 住宅改修等に対する支援 33.3%		
75歳以上(n=28)	在宅福祉サービス等の充実と質向上	入所・入居系の介護福祉施設の整備		スポーツ等の充実による生きがい	高齢者が外出しやすいまちづくり
	53.6%	住宅改修等に対する支援 42.9%		32.1%	28.6%
男性計(n=510)	就労の場の確保	在宅福祉サービス等の充実と質向上	入所・入居系の介護福祉施設の整備	高齢者が外出しやすいまちづくり	スポーツ等の充実による生きがい
	47.5%	46.3%	37.6%	34.3%	32.5%

図表111-78 性年齢別高齢者の生活支援に係る政策・施策

<女性>

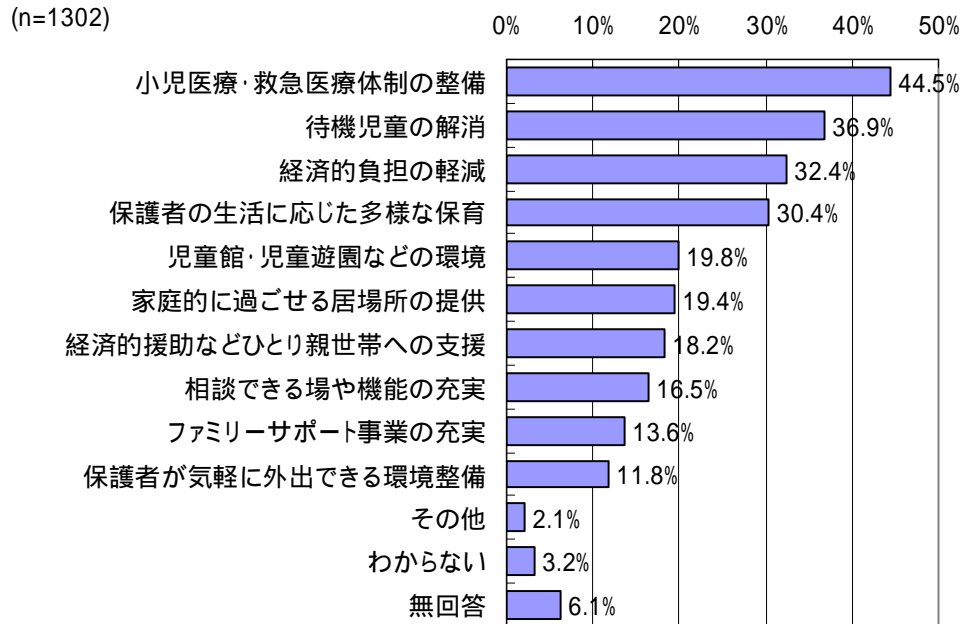
	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	スポーツ等の充実による生きがい 46.4%	高齢者が外出しやすいまちづくり 42.9%	就労の場の確保 39.3%	在宅福祉サービス等の充実と質向上 35.7%	住宅改修等に対する支援 35.7%
25～29歳(n=42)	在宅福祉サービス等の充実と質向上 54.8%	高齢者が外出しやすいまちづくり 50.0%	就労の場の確保 47.6%	スポーツ等の充実による生きがい 40.5%	住宅改修等に対する支援 23.8%
30～34歳(n=81)	就労の場の確保 46.9%	スポーツ等の充実による生きがい 在宅福祉サービス等の充実と質向上 45.7%	高齢者が外出しやすいまちづくり 43.2%	入所・入居系の介護福祉施設の整備 33.3%	
35～39歳(n=82)	在宅福祉サービス等の充実と質向上 51.2%	就労の場の確保 50.0%	高齢者が外出しやすいまちづくり 45.1%	入所・入居系の介護福祉施設の整備 35.4%	スポーツ等の充実による生きがい 30.5%
40～44歳(n=63)	入所・入居系の介護福祉施設の整備 57.1%	在宅福祉サービス等の充実と質向上 49.2%	就労の場の確保 47.6%	高齢者が外出しやすいまちづくり 33.3%	住宅改修等に対する支援 31.7%
45～49歳(n=40)	在宅福祉サービス等の充実と質向上 入所・入居系の介護福祉施設の整備 62.5%	高齢者が外出しやすいまちづくり 35.0%	就労の場の確保 32.5%	住宅改修等に対する支援 30.0%	
50～54歳(n=40)	在宅福祉サービス等の充実と質向上 65.0%	就労の場の確保 55.0%	入所・入居系の介護福祉施設の整備 50.0%	福祉人材・組織の育成と支援 32.5%	高齢者が外出しやすいまちづくり 25.0%
55～59歳(n=84)	入所・入居系の介護福祉施設の整備 60.7%	就労の場の確保 54.8%	在宅福祉サービス等の充実と質向上 46.4%	福祉人材・組織の育成と支援 44.0%	住宅改修等に対する支援 27.4%
60～64歳(n=80)	在宅福祉サービス等の充実と質向上 51.3%	入所・入居系の介護福祉施設の整備 45.0%	就労の場の確保 35.0%	住宅改修等に対する支援 33.8%	福祉人材・組織の育成と支援 28.8%
65～69歳(n=59)	入所・入居系の介護福祉施設の整備 59.3%	在宅福祉サービス等の充実と質向上 55.9%	就労の場の確保 住宅改修等に対する支援 33.9%	福祉人材・組織の育成と支援 27.1%	
70～74歳(n=47)	高齢者が外出しやすいまちづくり 38.3%	在宅福祉サービス等の充実と質向上 36.2%	就労の場の確保 34.0%	入所・入居系の介護福祉施設の整備 27.7%	住宅改修等に対する支援 27.7%
75歳以上(n=54)	在宅福祉サービス等の充実と質向上 50.0%	入所・入居系の介護福祉施設の整備 40.7%	住宅改修等に対する支援 37.0%	高齢者が外出しやすいまちづくり 27.8%	スポーツ等の充実による生きがい 24.1%
女性計(n=701)	在宅福祉サービス等の充実と質向上 50.2%	入所・入居系の介護福祉施設の整備 44.5%	就労の場の確保 42.2%	高齢者が外出しやすいまちづくり 33.1%	住宅改修等に対する支援 29.7%

(3) 子育て環境の充実

問9 【子育て環境の充実】

子どもたちを取り巻く環境の向上や、子育てをしている家族を支援するために、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内に をおつけください。

図表III-79 子育て環境の充実に係る政策・施策

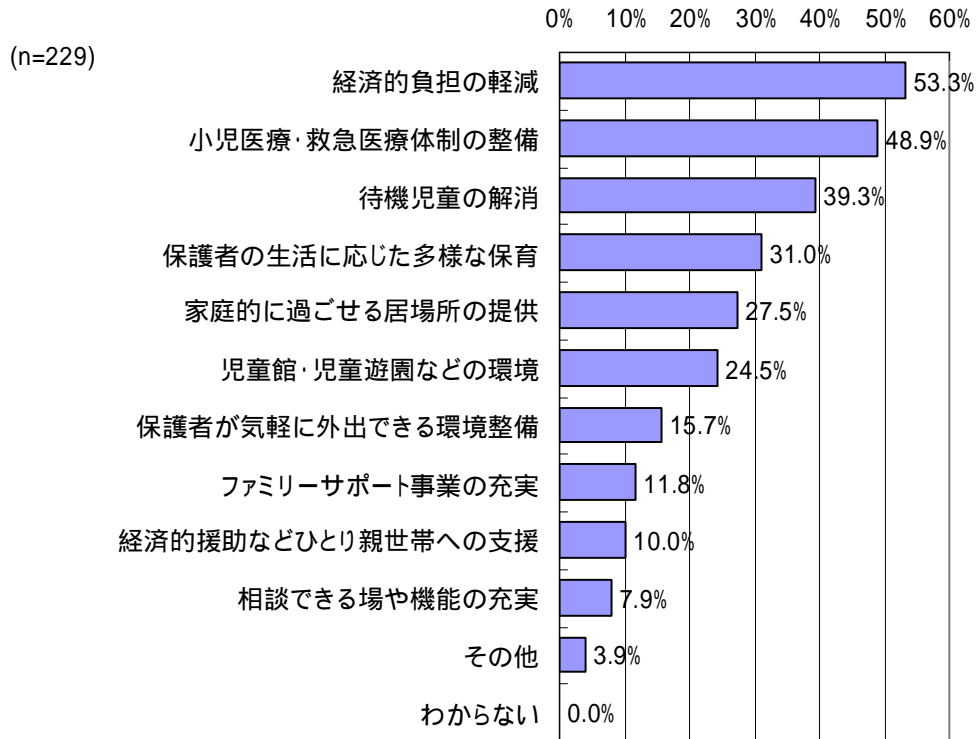


- ・ 「小児医療・救急医療体制の整備」(44.5%)が最も高く、「待機児童の解消」(36.9%)、「経済的負担の軽減」(32.4%)の順となっている。

家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者

- ・ 家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「経済的負担の軽減」(53.3%)が最も高く、「小児医療・救急医療体制の整備」(48.9%)、「待機児童の解消」(39.3%)の順となっている。

図表III-80 子育て環境の充実に係る政策・施策(家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者)



地区別

- ・ 回答者全体と異なり、富岡・東陽地区では「待機児童の解消」（41.9%）が最も高くなっている。
- ・ その他の地区では、回答者全体と同様に「小児医療・救急医療体制の整備」が最も高くなっている。

図表III-81 地区別子育て環境の充実に係る政策・施策

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋(n=213)	小児医療・救急医療体制の整備	待機児童の解消	経済的負担の軽減	保護者の生活に応じた多様な保育	家庭的に過ごせる居場所の提供
	45.5%	36.2%	32.4%	28.6%	20.7%
富岡・東陽(n=198)	待機児童の解消	小児医療・救急医療体制の整備	経済的負担の軽減	保護者の生活に応じた多様な保育	児童館・児童遊園などの環境
	41.9%	40.9%	29.8%	27.3%	24.7%
豊洲(n=227)	小児医療・救急医療体制の整備	待機児童の解消	保護者の生活に応じた多様な保育	経済的負担の軽減	経済的援助などひとり親世帯への支援
	45.8%	40.1%	36.1%	35.2%	20.7%
亀戸(n=144)	小児医療・救急医療体制の整備	待機児童の解消	経済的負担の軽減	保護者の生活に応じた多様な保育	相談できる場や機能の充実
	43.8%	41.7%	37.5%	31.9%	22.2%
大島(n=174)	小児医療・救急医療体制の整備	待機児童の解消	保護者の生活に応じた多様な保育	経済的負担の軽減	経済的援助などひとり親世帯への支援
	44.8%	31.0%			29.3%
砂町(n=213)	小児医療・救急医療体制の整備	待機児童の解消	経済的負担の軽減	保護者の生活に応じた多様な保育	家庭的に過ごせる居場所の提供
	47.4%	35.2%	30.5%	29.6%	23.0%
南砂(n=126)	小児医療・救急医療体制の整備	経済的負担の軽減	待機児童の解消	保護者の生活に応じた多様な保育	経済的援助などひとり親世帯への支援
	43.7%	34.1%	31.7%	27.0%	22.2%

性年齢別

- ・ 男性では、回答者全体と異なり、30～34歳、40～49歳で「待機児童の解消」、20～24歳で「家庭的に過ごせる居場所の提供」、75歳以上で「児童館・児童遊園等の環境」が最も高くなっている。
- ・ 女性では、20～29歳で「経済的負担の軽減」、30～39歳、55～59歳で「待機児童の解消」が最も高くなっている。

図表III-82 性年齢別子育て環境の充実に係る政策・施策

<男性>

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	小児医療・救急医療体制の整備	経済的負担の軽減	児童館・児童遊園などの環境	待機児童の解消	23.8%
	家庭的に過ごせる居場所の提供				
25～29歳(n=22)	小児医療・救急医療体制の整備	経済的負担の軽減	保護者の生活に応じた多様な保育	相談できる場や機能の充実	待機児童の解消
	63.6%	40.9%	36.4%	31.8%	31.8%
30～34歳(n=42)	待機児童の解消	経済的負担の軽減	保護者の生活に応じた多様な保育	相談できる場や機能の充実	経済的援助などひとり親世帯への支援
	52.4%	50.0%			
35～39歳(n=42)	小児医療・救急医療体制の整備	待機児童の解消	保護者の生活に応じた多様な保育	経済的負担の軽減	児童館・児童遊園などの環境
	59.5%	45.2%	38.1%	33.3%	28.6%
40～44歳(n=58)	待機児童の解消	経済的負担の軽減	小児医療・救急医療体制の整備	保護者の生活に応じた多様な保育	ファミリーサポート事業の充実
	44.8%	39.7%	36.2%	24.1%	22.4%
45～49歳(n=47)	待機児童の解消	経済的負担の軽減	保護者の生活に応じた多様な保育	小児医療・救急医療体制の整備	家庭的に過ごせる居場所の提供
	46.8%	44.7%	40.4%	31.9%	25.5%
50～54歳(n=40)	小児医療・救急医療体制の整備	経済的負担の軽減	待機児童の解消	保護者の生活に応じた多様な保育	家庭的に過ごせる居場所の提供
	50.0%	40.0%	37.5%	32.5%	22.5%
55～59歳(n=65)	小児医療・救急医療体制の整備	待機児童の解消	保護者の生活に応じた多様な保育	経済的援助などひとり親世帯への支援	家庭的に過ごせる居場所の提供
	43.1%	41.5%			
60～64歳(n=67)	小児医療・救急医療体制の整備	待機児童の解消	保護者の生活に応じた多様な保育	家庭的に過ごせる居場所の提供	20.9%
	38.8%	37.3%	31.3%		
65～69歳(n=40)	小児医療・救急医療体制の整備	保護者の生活に応じた多様な保育	待機児童の解消	経済的負担の軽減	児童館・児童遊園などの環境
	45.0%	42.5%	37.5%	22.5%	20.0%
70～74歳(n=36)	小児医療・救急医療体制の整備	待機児童の解消	家庭的に過ごせる居場所の提供	経済的負担の軽減	経済的援助などひとり親世帯への支援
	44.4%	27.8%	25.0%	22.2%	16.7%
75歳以上(n=28)	児童館・児童遊園などの環境	小児医療・救急医療体制の整備	相談できる場や機能の充実	待機児童の解消	21.4%
	35.7%	28.6%			
男性計(n=510)	小児医療・救急医療体制の整備	待機児童の解消	経済的負担の軽減	保護者の生活に応じた多様な保育	家庭的に過ごせる居場所の提供
	43.7%	39.0%	35.5%	30.4%	21.6%

< 女性 >

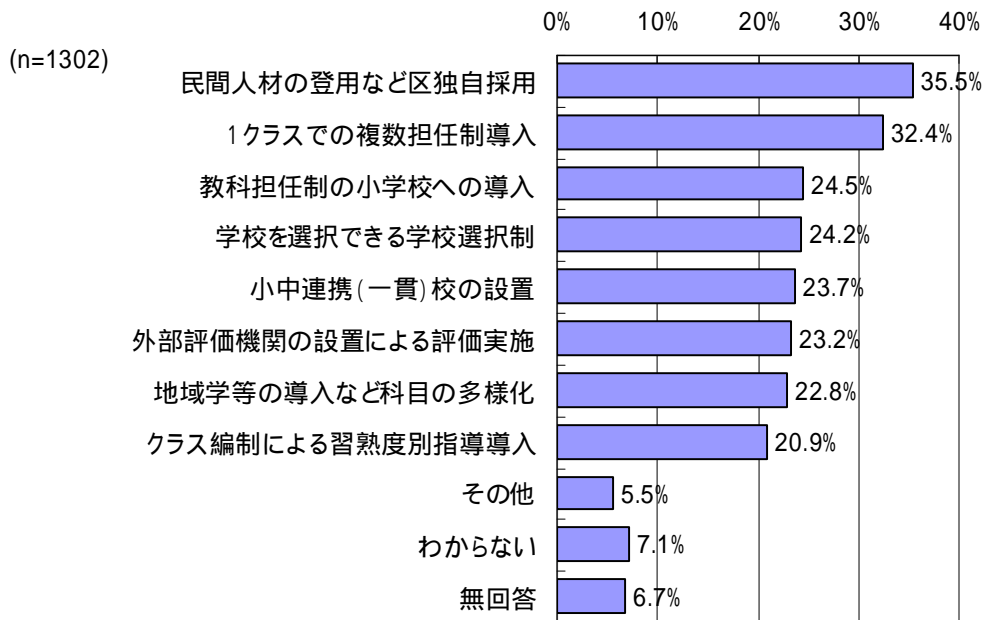
	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	経済的負担の軽減 60.7%	小児医療・救急医療体制の整備 50.0%	経済的援助などひとり親世帯への支援 28.6%	保護者の生活に応じた多様な保育 25.0%	相談できる場や機能の充実 21.4%
25～29歳(n=42)	経済的負担の軽減 59.5%	保護者の生活に応じた多様な保育 57.1%	小児医療・救急医療体制の整備 50.0%	待機児童の解消 40.5%	児童館・児童遊園などの環境 19.0%
30～34歳(n=81)	待機児童の解消 63.0%	保護者の生活に応じた多様な保育 50.6%	小児医療・救急医療体制の整備 43.2%	経済的負担の軽減 35.8%	相談できる場や機能の充実 17.3%
35～39歳(n=82)	待機児童の解消 45.1%	小児医療・救急医療体制の整備 43.9%	保護者の生活に応じた多様な保育 41.5%	経済的負担の軽減 40.2%	家庭的に過ごせる居場所の提供 24.4%
40～44歳(n=63)	小児医療・救急医療体制の整備 55.6%	経済的負担の軽減 47.6%	待機児童の解消 39.7%	保護者の生活に応じた多様な保育 28.6%	家庭的に過ごせる居場所の提供 22.2%
45～49歳(n=40)	小児医療・救急医療体制の整備 47.5%	待機児童の解消 37.5%	相談できる場や機能の充実 保護者の生活に応じた多様な保育 32.5%	児童館・児童遊園などの環境 27.5%	
50～54歳(n=40)	小児医療・救急医療体制の整備 52.5%	待機児童の解消 37.5%	保護者の生活に応じた多様な保育 32.5%	経済的負担の軽減 30.0%	相談できる場や機能の充実 25.0%
55～59歳(n=84)	待機児童の解消 41.7%	小児医療・救急医療体制の整備 40.5%	保護者の生活に応じた多様な保育 29.8%	相談できる場や機能の充実 28.6%	ファミリーサポート事業の充実 22.6%
60～64歳(n=80)	小児医療・救急医療体制の整備 47.5%	待機児童の解消 経済的援助などひとり親世帯への支援 27.5%	保護者の生活に応じた多様な保育 26.3%	児童館・児童遊園などの環境 26.3%	
65～69歳(n=59)	小児医療・救急医療体制の整備 42.4%	待機児童の解消 32.2%	経済的援助などひとり親世帯への支援 30.5%	児童館・児童遊園などの環境 23.7%	保護者の生活に応じた多様な保育 22.0%
70～74歳(n=47)	小児医療・救急医療体制の整備 40.4%	待機児童の解消 23.4%	相談できる場や機能の充実 21.3%	経済的援助などひとり親世帯への支援 児童館・児童遊園などの環境 19.1%	
75歳以上(n=54)	小児医療・救急医療体制の整備 42.6%	家庭的に過ごせる居場所の提供 22.2%	待機児童の解消 20.4%	経済的負担の軽減 16.7%	経済的援助などひとり親世帯への支援 14.8%
女性計(n=701)	小児医療・救急医療体制の整備 45.8%	待機児童の解消 37.5%	保護者の生活に応じた多様な保育 31.2%	経済的負担の軽減 31.1%	児童館・児童遊園などの環境 19.7%

(4) 学校の教育力向上

問10 【学校の教育力向上】

区内小中学校の教育力を向上していくために、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内に おつけください。

図表III-83 学校の教育力向上に係る政策・施策

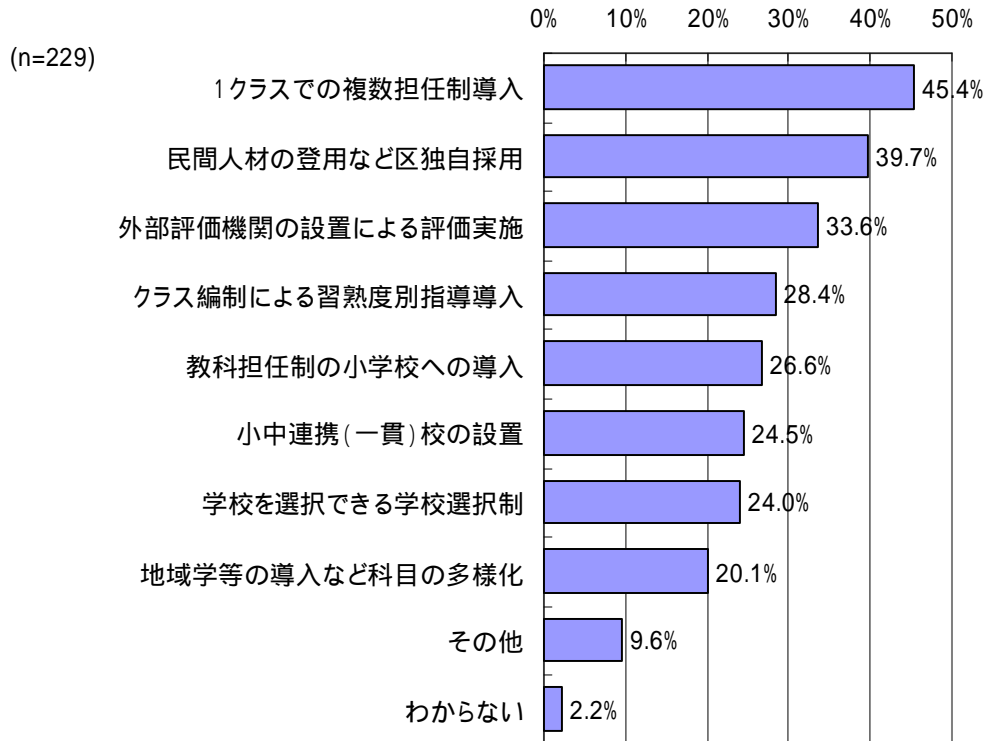


- ・ 「民間人材の登用など区独自採用」(35.5%)が最も高く、「1クラスでの複数担任制導入」(32.4%)、「教科担任制の小学校への導入」(24.5%)の順となっている。

家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者

- ・ 家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者では「1クラスでの複数担任制導入」(45.4%)が最も高く、「民間人材の登用など区独自採用」(39.7%)、「外部評価機関の設置による評価実施」(33.6%)の順となっている。

図表III-84 学校の教育力向上に係る政策・施策(家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者)



地区別

- ・ 回答者全体と異なり、大島地区（33.3%）、砂町地区（34.7%）では「1クラスでの複数担任制導入」が最も高くなっている。
- ・ その他の地区では、回答者全体と同様「民間人材の登用など区独自採用」が最も高くなっている。

図表III-85 地区別学校の教育力向上に係る政策・施策

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋(n=213)	民間人材の登用 など区独自採用	1クラスでの複数 担任制導入	教科担任制の小 学校への導入	外部評価機関の 設置による評価 実施	学校を選択でき る学校選択制
	39.4%	35.2%	25.8%	25.4%	23.9%
富岡・東陽(n=198)	民間人材の登用 など区独自採用	1クラスでの複数 担任制導入	外部評価機関の 設置による評価 実施	教科担任制の小 学校への導入	地域学等の導入 など科目の多様 化
	37.4%	31.3%	23.7%	23.2%	22.2%
豊洲(n=227)	民間人材の登用 など区独自採用	1クラスでの複数担任制導入 学校を選択できる学校選択制		地域学等の導入 など科目の多様 化	小中連携（一貫） 校の設置
	35.7%	30.4%		27.8%	26.0%
亀戸(n=144)	民間人材の登用 など区独自採用	小中連携（一貫）校の設置 学校を選択できる学校選択制		1クラスでの複数 担任制導入	外部評価機関の 設置による評価 実施
	34.7%	25.7%		25.0%	23.6%
大島(n=174)	1クラスでの複数担任制導入 民間人材の登用など区独自採用		教科担任制の小 学校への導入	小中連携（一貫） 校の設置	外部評価機関の 設置による評価 実施
	33.3%		27.6%	22.4%	20.1%
砂町(n=213)	1クラスでの複数 担任制導入	民間人材の登用 など区独自採用	小中連携（一貫） 校の設置	地域学等の導入 など科目の多様 化	教科担任制の小 学校への導入
	34.7%	30.5%	28.6%	26.8%	25.8%
南砂(n=126)	民間人材の登用 など区独自採用	1クラスでの複数 担任制導入	教科担任制の小 学校への導入	学校を選択でき る学校選択制	外部評価機関の 設置による評価 実施
	37.3%	36.5%	27.8%	27.0%	23.8%

性年齢別

- ・ 男性では、回答者全体と異なり、20～24歳、40～44歳で「学校を選択できる学校選択制」、40～44歳、50～54歳、75歳以上で「1クラスでの複数担任制導入」、60～64歳、70～74歳で「小中連携（一貫）校の設置」が最も高くなっている。
- ・ 女性では、回答者全体と異なり、20～24歳、70～74歳で「教科担任制の小学校への導入」、25～29歳で「外部評価機関の設置による評価実施」、35～54歳、65～69歳で「1クラスでの複数担任制導入」、75歳以上で「小中連携（一貫）校の設置」が最も高くなっている。

図表III-86 性年齢学校の教育力向上に係る政策・施策

< 男性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	学校を選択できる 学校選択制 52.4%	1クラスでの複数担任制導入 民間人材の登用など区独自採用 38.1%	教科担任制の小学校への導入 外部評価機関の設置による評価実施 33.3%		
25～29歳(n=22)	民間人材の登用など区独自採用 40.9%	1クラスでの複数担任制導入 36.4%	教科担任制の小学校への導入 地域学等の導入など科目の多様化 外部評価機関の設置による評価実施 27.3%		
30～34歳(n=42)	民間人材の登用など区独自採用 42.9%	外部評価機関の設置による評価実施 38.1%	1クラスでの複数担任制導入 33.3%	小中連携(一貫)校の設置 31.0%	学校を選択できる学校選択制 26.2%
35～39歳(n=42)	民間人材の登用など区独自採用 47.6%	1クラスでの複数担任制導入 40.5%	外部評価機関の設置による評価実施 35.7%	地域学等の導入など科目の多様化 31.0%	小中連携(一貫)校の設置 23.8%
40～44歳(n=58)	1クラスでの複数担任制導入 学校を選択できる学校選択制 32.8%		外部評価機関の設置による評価実施 31.0%	民間人材の登用など区独自採用 29.3%	クラス編制による習熟度別指導導入 27.6%
45～49歳(n=47)	民間人材の登用など区独自採用 42.6%	1クラスでの複数担任制導入 地域学等の導入など科目の多様化 34.0%	教科担任制の小学校への導入 29.8%		小中連携(一貫)校の設置 25.5%
50～54歳(n=40)	1クラスでの複数担任制導入 45.0%	民間人材の登用など区独自採用 37.5%	クラス編制による習熟度別指導導入 教科担任制の小学校への導入 35.0%		学校を選択できる学校選択制 27.5%
55～59歳(n=65)	民間人材の登用など区独自採用 49.2%	小中連携(一貫)校の設置 30.8%	教科担任制の小学校への導入 29.2%	学校を選択できる学校選択制 27.7%	クラス編制による習熟度別指導導入 24.6%
60～64歳(n=67)	小中連携(一貫)校の設置 37.3%	民間人材の登用など区独自採用 34.3%	地域学等の導入など科目の多様化 32.8%	学校を選択できる学校選択制 26.9%	外部評価機関の設置による評価実施 25.4%
65～69歳(n=40)	民間人材の登用など区独自採用 40.0%	教科担任制の小学校への導入 35.0%	小中連携(一貫)校の設置 35.0%	クラス編制による習熟度別指導導入 30.0%	地域学等の導入など科目の多様化 25.0%
70～74歳(n=36)	小中連携(一貫)校の設置 25.0%	クラス編制による習熟度別指導導入 教科担任制の小学校への導入 学校を選択できる学校選択制 地域学等の導入など科目の多様化 19.4%			
75歳以上(n=54)	1クラスでの複数担任制導入 民間人材の登用など区独自採用 42.9%		学校を選択できる学校選択制 28.6%	教科担任制の小学校への導入 25.0%	小中連携(一貫)校の設置 21.4%
男性計(n=510)	民間人材の登用など区独自採用 38.6%	1クラスでの複数担任制導入 30.0%	小中連携(一貫)校の設置 26.7%	外部評価機関の設置による評価実施 25.9%	教科担任制の小学校への導入 25.7%

< 女性 >

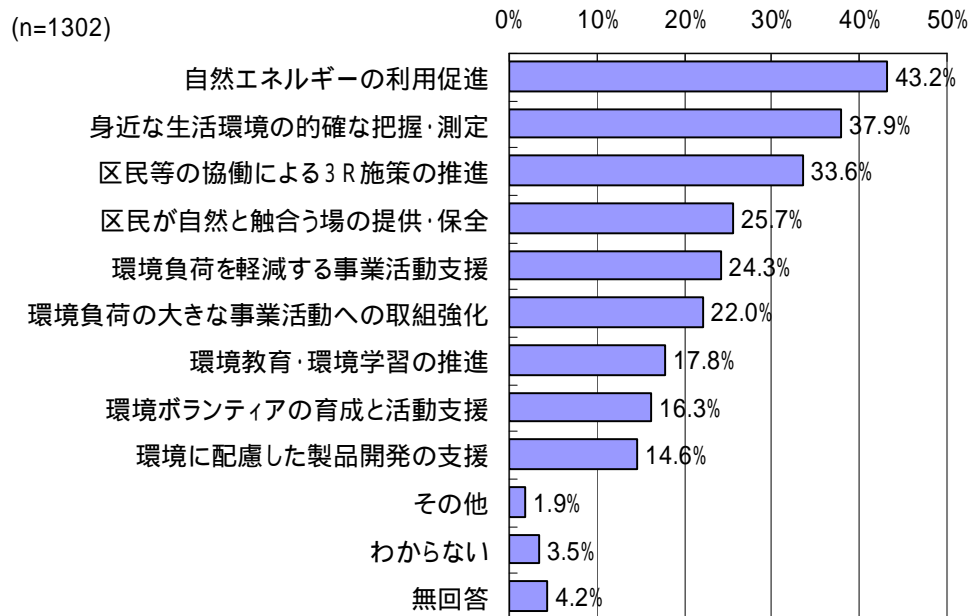
	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	教科担任制の小学校への導入	学校を選択できる学校選択制	1クラスでの複数担任制導入		
			民間人材の登用など区独自採用		
			外部評価機関の設置による評価実施		
	32.1%	28.6%	25.0%		
25～29歳(n=42)	外部評価機関の設置による評価実施	地域学等の導入など科目の多様化	民間人材の登用など区独自採用	学校を選択できる	1クラスでの複数担任制導入
				学校選択制	
	40.5%	38.1%	35.7%	33.3%	31.0%
30～34歳(n=81)	民間人材の登用など区独自採用	地域学等の導入など科目の多様化	教科担任制の小学校への導入	外部評価機関の設置による評価実施	学校を選択できる学校選択制
	37.0%	33.3%	28.4%	27.2%	24.7%
35～39歳(n=82)	1クラスでの複数担任制導入	外部評価機関の設置による評価実施	民間人材の登用など区独自採用	クラス編制による習熟度別指導導入	学校を選択できる学校選択制
	46.3%	35.4%	31.7%	30.5%	30.5%
40～44歳(n=63)	1クラスでの複数担任制導入	民間人材の登用など区独自採用	クラス編制による習熟度別指導導入	外部評価機関の設置による評価実施	教科担任制の小学校への導入
	38.1%	34.9%	33.3%	31.7%	23.8%
45～49歳(n=40)	1クラスでの複数担任制導入	民間人材の登用など区独自採用	クラス編制による習熟度別指導導入	地域学等の導入など科目の多様化	教科担任制の小学校への導入
	57.5%	37.5%	32.5%	27.5%	22.5%
50～54歳(n=40)	1クラスでの複数担任制導入	民間人材の登用など区独自採用	外部評価機関の設置による評価実施	学校を選択できる学校選択制	教科担任制の小学校への導入
	47.5%	40.0%	32.5%	30.0%	22.5%
55～59歳(n=84)	民間人材の登用など区独自採用	1クラスでの複数担任制導入	小中連携(一貫)校の設置	学校を選択できる学校選択制	教科担任制の小学校への導入
	47.6%	35.7%	34.5%	29.8%	23.8%
60～64歳(n=80)	民間人材の登用など区独自採用	1クラスでの複数担任制導入	小中連携(一貫)校の設置	学校を選択できる学校選択制	クラス編制による習熟度別指導導入
	40.0%	38.8%	36.3%	21.3%	20.0%
65～69歳(n=59)	1クラスでの複数担任制導入	民間人材の登用など区独自採用	小中連携(一貫)校の設置	学校を選択できる学校選択制	教科担任制の小学校への導入
	37.3%	32.2%	30.5%	28.8%	27.1%
70～74歳(n=47)	教科担任制の小学校への導入	地域学等の導入など科目の多様化	民間人材の登用など区独自採用	1クラスでの複数担任制導入	小中連携(一貫)校の設置
	34.0%	27.7%	25.5%	23.4%	17.0%
75歳以上(n=54)	小中連携(一貫)校の設置	1クラスでの複数担任制導入			
		教科担任制の小学校への導入			
		民間人材の登用など区独自採用			
		わからない			
	24.1%	20.4%			
女性計(n=701)	1クラスでの複数担任制導入	民間人材の登用など区独自採用	学校を選択できる学校選択制	教科担任制の小学校への導入	地域学等の導入など科目の多様化
	35.4%	35.1%	24.8%	23.3%	23.1%

(5) 環境保全・資源の有効活用

問 11 【環境保全・資源の有効活用】

環境保全やごみの減量を進めていく上で、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内に をおつけください。

図表III-87 環境保全・資源の有効活用に係る政策・施策



- ・ 「自然エネルギーの利用促進」(43.2%)が最も高く、「身近な生活環境の的確な把握・測定」(37.9%)、「区民等の協働による3R施策の推進」(33.6%)の順となっている。

地区別

- ・ 回答者全体と異なり、豊洲地区では「身近な生活環境の的確な把握・測定」が最も高くなっている。
- ・ その他の地区では、回答者全体と同様に「自然エネルギーの利用促進」が最も高くなっている。

図表III-88 地区別環境保全・資源の有効活用に係る政策・施策

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋 (n=213)	自然エネルギーの利用促進	身近な生活環境の的確な把握・測定	区民等の協働による3R施策の推進	環境負荷の大きな事業活動への取組強化	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 環境負荷を軽減する事業活動支援
	41.3%	37.1%	34.7%	24.4%	23.9%
富岡・東陽 (n=198)	自然エネルギーの利用促進	身近な生活環境の的確な把握・測定	区民等の協働による3R施策の推進	区民が自然と触れ合う場の提供・保全	環境負荷を軽減する事業活動支援
	41.9%	35.9%	34.8%	26.8%	24.7%
豊洲(n=227)	身近な生活環境の的確な把握・測定	自然エネルギーの利用促進	区民等の協働による3R施策の推進	環境負荷を軽減する事業活動支援	環境負荷の大きな事業活動への取組強化
	40.5%	38.8%	37.9%	26.0%	24.7%
亀戸(n=144)	自然エネルギーの利用促進	身近な生活環境の的確な把握・測定	区民等の協働による3R施策の推進	環境負荷を軽減する事業活動支援	区民が自然と触れ合う場の提供・保全
	44.4%	38.9%	32.6%	26.4%	24.3%
大島(n=174)	自然エネルギーの利用促進	身近な生活環境の的確な把握・測定	区民等の協働による3R施策の推進	区民が自然と触れ合う場の提供・保全	環境負荷を軽減する事業活動支援
	48.9%	37.9%	29.9%	28.7%	21.3%
砂町(n=213)	自然エネルギーの利用促進	身近な生活環境の的確な把握・測定	区民等の協働による3R施策の推進	区民が自然と触れ合う場の提供・保全	環境負荷を軽減する事業活動支援
	43.2%	39.9%	29.6%	28.2%	23.5%
南砂(n=126)	自然エネルギーの利用促進	区民等の協働による3R施策の推進	身近な生活環境の的確な把握・測定	環境負荷を軽減する事業活動支援	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 環境負荷の大きな事業活動等の強化
	46.8%	34.9%	32.5%	23.8%	23.0%

性年齢別

- ・ 男性では、回答者全体と異なり、30～34歳で「区民等の協働による3R施策の推進」、75歳以上で「身近な生活環境の的確な把握・測定」が最も高くなっている。
- ・ 女性では、回答者全体と異なり、20～24歳、35～44歳では「区民等の協働による3R施策の推進」、25～29歳、50～54歳、70～74歳では「身近な生活環境の的確な把握・測定」がそれぞれ最も高くなっている。

図表III-89 性年齢別環境保全・資源の有効活用に係る政策・施策

< 男性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	自然エネルギーの利用促進 52.4%	身近な生活環境の的確な把握・測定 42.9%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 33.3%	区民等の協働による3R施策の推進 33.3%	環境教育・環境学習の推進 28.6%
25～29歳(n=22)	自然エネルギーの利用促進 45.5%	環境に配慮した製品開発の支援 36.4%	身近な生活環境の的確な把握・測定 区民が自然と触れ合う場の提供・保全 環境負荷を軽減する事業活動支援 31.8%		
30～34歳(n=42)	区民等の協働による3R施策の推進 47.6%	身近な生活環境の的確な把握・測定 45.2%	自然エネルギーの利用促進 42.9%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 23.8%	環境負荷を軽減する事業活動支援 21.4%
35～39歳(n=42)	自然エネルギーの利用促進 42.9%	身近な生活環境の的確な把握・測定 38.1%	区民等の協働による3R施策の推進 31.0%	環境教育・環境学習の推進 環境負荷の大きな事業活動への取組強化 28.6%	
40～44歳(n=58)	自然エネルギーの利用促進 43.1%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 34.5%	身近な生活環境の的確な把握・測定 31.0%	環境負荷を軽減する事業活動支援 区民等の協働による3R施策の推進 27.6%	
45～49歳(n=47)	自然エネルギーの利用促進 44.7%	身近な生活環境の的確な把握・測定 区民等の協働による3R施策の推進 40.4%	環境負荷の大きな事業活動への取組強化 31.9%		区民が自然と触れ合う場の提供・保全 環境教育・環境学習の推進 25.5%
50～54歳(n=40)	自然エネルギーの利用促進 52.5%	身近な生活環境の的確な把握・測定 40.0%	区民等の協働による3R施策の推進 35.0%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 30.0%	環境負荷を軽減する事業活動支援 27.5%
55～59歳(n=65)	自然エネルギーの利用促進 44.6%	環境負荷を軽減する事業活動支援 区民等の協働による3R施策の推進 32.3%		区民が自然と触れ合う場の提供・保全 30.8%	身近な生活環境の的確な把握・測定 29.2%
60～64歳(n=67)	自然エネルギーの利用促進 43.3%	身近な生活環境の的確な把握・測定 32.8%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 区民等の協働による3R施策の推進 28.4%		環境ボランティアの育成と活動支援 26.9%
65～69歳(n=40)	自然エネルギーの利用促進 37.5%	身近な生活環境の的確な把握・測定 区民が自然と触れ合う場の提供・保全 環境負荷を軽減する事業活動支援 35.0%			区民等の協働による3R施策の推進 32.5%
70～74歳(n=36)	自然エネルギーの利用促進 52.8%	身近な生活環境の的確な把握・測定 36.1%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 27.8%	環境負荷を軽減する事業活動支援 環境負荷の大きな事業活動への取組強化 22.2%	
75歳以上(n=54)	身近な生活環境の的確な把握・測定 46.4%	環境負荷を軽減する事業活動支援 自然エネルギーの利用促進 35.7%	環境負荷の大きな事業活動への取組強化 32.1%		区民が自然と触れ合う場の提供・保全 21.4%
男性計(n=510)	自然エネルギーの利用促進 44.5%	身近な生活環境の的確な把握・測定 36.5%	区民等の協働による3R施策の推進 31.2%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 29.2%	環境負荷を軽減する事業活動支援 27.3%

< 女性 >

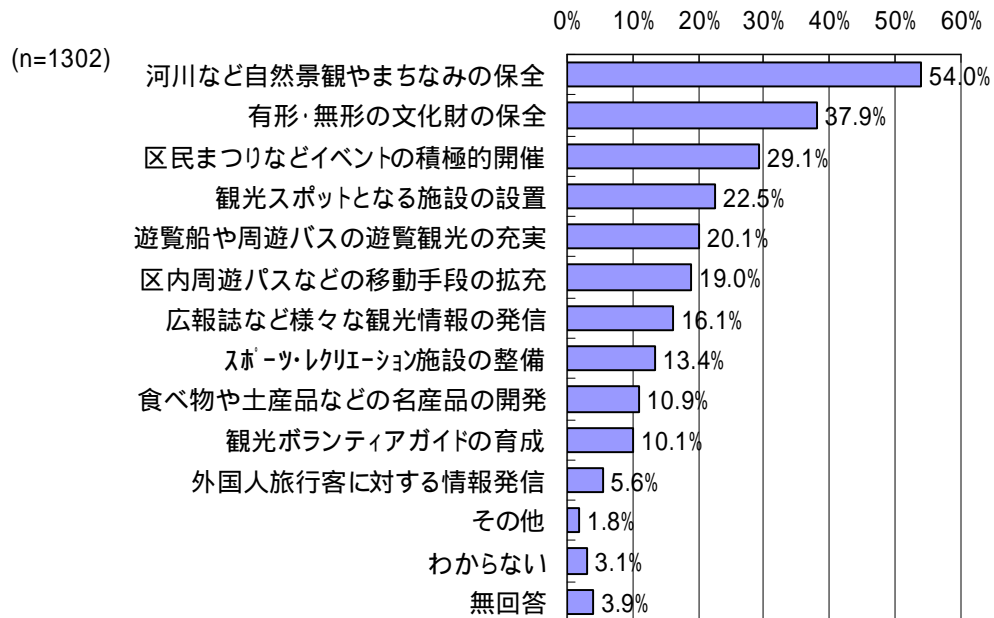
	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	区民等の協働による3R施策の推進 53.6%	身近な生活環境の的確な把握・測定 42.9%	自然エネルギーの利用促進 32.1%	環境ボランティアの育成と活動支援 25.0%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 21.4%
25～29歳(n=42)	身近な生活環境の的確な把握・測定 54.8%	区民等の協働による3R施策の推進 47.6%	自然エネルギーの利用促進 35.7%	環境負荷の大きな事業活動への取組強化 28.6%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 21.4%
30～34歳(n=81)	自然エネルギーの利用促進 49.4%	区民等の協働による3R施策の推進 40.7%	身近な生活環境の的確な把握・測定 34.6%	環境教育・環境学習の推進 27.2%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 23.5%
35～39歳(n=82)	区民等の協働による3R施策の推進 47.6%	身近な生活環境の的確な把握・測定 46.3%	自然エネルギーの利用促進 42.7%	環境負荷を軽減する事業活動支援 25.6%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 24.4%
40～44歳(n=63)	区民等の協働による3R施策の推進 46.0%	身近な生活環境の的確な把握・測定 42.9%	自然エネルギーの利用促進	環境負荷の大きな事業活動への取組強化 25.4%	環境教育・環境学習の推進 環境負荷を軽減する事業活動支援 20.6%
45～49歳(n=40)	自然エネルギーの利用促進 50.0%	身近な生活環境の的確な把握・測定 42.5%	区民等の協働による3R施策の推進 35.0%	環境教育・環境学習の推進 22.5%	環境ボランティアの育成と活動支援 20.0%
50～54歳(n=40)	身近な生活環境の的確な把握・測定 47.5%	自然エネルギーの利用促進 45.0%	区民等の協働による3R施策の推進 37.5%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 35.0%	環境負荷を軽減する事業活動支援 30.0%
55～59歳(n=84)	自然エネルギーの利用促進 47.6%	身近な生活環境の的確な把握・測定 38.1%	区民等の協働による3R施策の推進 33.3%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 29.8%	環境負荷の大きな事業活動への取組強化 25.0%
60～64歳(n=80)	自然エネルギーの利用促進 42.5%	区民等の協働による3R施策の推進 31.3%	身近な生活環境の的確な把握・測定 28.8%	環境負荷を軽減する事業活動支援 26.3%	環境負荷の大きな事業活動への取組強化 25.0%
65～69歳(n=59)	自然エネルギーの利用促進 45.8%	身近な生活環境の的確な把握・測定 39.0%	区民等の協働による3R施策の推進 35.6%	環境負荷を軽減する事業活動支援 32.2%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 25.4%
70～74歳(n=47)	身近な生活環境の的確な把握・測定 38.3%	自然エネルギーの利用促進	環境負荷の大きな事業活動への取組強化 25.5%	環境ボランティアの育成と活動支援 23.4%	環境に配慮した製品開発の支援 区民等の協働による3R施策の推進 19.1%
75歳以上(n=54)	自然エネルギーの利用促進 31.5%	身近な生活環境の的確な把握・測定 27.8%	環境ボランティアの育成と活動支援 24.1%	環境負荷を軽減する事業活動支援 22.2%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 20.4%
女性計(n=701)	自然エネルギーの利用促進 42.8%	身近な生活環境の的確な把握・測定 39.4%	区民等の協働による3R施策の推進 36.8%	区民が自然と触れ合う場の提供・保全 環境負荷を軽減する事業活動支援 23.0%	

(6) 観光

問12 【観光】

観光振興に関する取り組みの中で、あなたが重視すべきと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内に をおつけください。

図表III-90 観光に係る政策・施策



- ・ 「河川など自然景観やまちなみの保全」(54.0%)が最も高く、「有形・無形の文化財の保全」(37.9%)、「区民まつりなどイベントの積極的開催」(29.1%)の順となっている。

地区別

- ・ 全ての地区で回答者全体と同様に「河川など自然景観やまちなみの保全」が最も高くなっており、白河・小松橋地区（61.5%）で特に高い割合を示している。

図表III-91 地区別観光に係る政策・施策

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋(n=213)	河川など自然景観やまちなみの保全	有形・無形の文化財の保全	区民まつりなどイベントの積極的開催	区内周遊バスなどの移動手段の拡充	観光スポットとなる施設の設置
	61.5%	43.2%	27.2%	18.8%	18.3%
富岡・東陽(n=198)	河川など自然景観やまちなみの保全	有形・無形の文化財の保全	区民まつりなどイベントの積極的開催	観光スポットとなる施設の設置	遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実
	51.5%	41.9%	29.8%	23.7%	20.7%
豊洲(n=227)	河川など自然景観やまちなみの保全	有形・無形の文化財の保全	区民まつりなどイベントの積極的開催	観光スポットとなる施設の設置	遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実
	55.5%	41.9%	26.0%	21.6%	21.1%
亀戸(n=144)	河川など自然景観やまちなみの保全	有形・無形の文化財の保全	区民まつりなどイベントの積極的開催	広報誌など様々な観光情報の発信	遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実
	47.9%	37.5%	31.9%	22.2%	21.5%
大島(n=174)	河川など自然景観やまちなみの保全	有形・無形の文化財の保全	区民まつりなどイベントの積極的開催	観光スポットとなる施設の設置	遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実
	51.7%	31.6%	26.4%	22.4%	19.5%
砂町(n=213)	河川など自然景観やまちなみの保全	有形・無形の文化財の保全	区民まつりなどイベントの積極的開催	観光スポットとなる施設の設置	区内周遊バスなどの移動手段の拡充
	52.1%	34.7%	30.5%	26.8%	23.5%
南砂(n=126)	河川など自然景観やまちなみの保全	区民まつりなどイベントの積極的開催	有形・無形の文化財の保全	観光スポットとなる施設の設置	遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実
	55.6%	36.5%	31.0%	24.6%	19.8%

性年齢別

- ・ 男性では、回答者全体と異なり、20～24歳で「観光スポットとなる施設の設置」、30～34歳で「区民まつりなどイベントの積極的開催」が最も高くなっている。
- ・ 女性では、回答者全体と異なり、20～24歳、75歳以上で「区民まつりなどイベントの積極的開催」、75歳以上で「有形・無形の文化財の保全」が最も高くなっている。

図表III-92 性年齢別観光に係る政策・施策

< 男性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	観光スポットとなる施設の設置 42.9%	河川など自然景観やまちなみの保全 遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 38.1%		区民まつりなどイベントの積極的開催 28.6%	スポーツ・レクリエーション施設の整備 有形・無形の文化財の保全 区内周遊バスなどの移動手段の拡充 広報誌など様々な観光情報の発信 19.0%
25～29歳(n=22)	河川など自然景観やまちなみの保全 63.6%	スポーツ・レクリエーション施設の整備 有形・無形の文化財の保全 36.4%		区民まつりなどイベントの積極的開催 31.8%	広報誌など様々な観光情報の発信 22.7%
30～34歳(n=42)	区民まつりなどイベントの積極的開催 47.6%	河川など自然景観やまちなみの保全 45.2%	有形・無形の文化財の保全 38.1%	観光スポットとなる施設の設置 28.6%	区内周遊バスなどの移動手段の拡充 23.8%
35～39歳(n=42)	河川など自然景観やまちなみの保全 45.2%	区民まつりなどイベントの積極的開催 38.1%	有形・無形の文化財の保全 31.0%	観光スポットとなる施設の設置 スポーツ・レクリエーション施設の整備 広報誌など様々な観光情報の発信 23.8%	
40～44歳(n=58)	河川など自然景観やまちなみの保全 46.6%	区民まつりなどイベントの積極的開催 36.2%	有形・無形の文化財の保全 遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 31.0%		観光スポットとなる施設の設置 22.4%
45～49歳(n=47)	河川など自然景観やまちなみの保全 63.8%	有形・無形の文化財の保全 42.6%	区民まつりなどイベントの積極的開催 25.5%	観光スポットとなる施設の設置 23.4%	スポーツ・レクリエーション施設の整備 21.3%
50～54歳(n=40)	河川など自然景観やまちなみの保全 67.5%	有形・無形の文化財の保全 42.5%	区内周遊バスなどの移動手段の拡充 27.5%	観光スポットとなる施設の設置 スポーツ・レクリエーション施設の整備 遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 25.0%	
55～59歳(n=65)	河川など自然景観やまちなみの保全 58.5%	有形・無形の文化財の保全 52.3%	区民まつりなどイベントの積極的開催 23.1%	遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 23.1%	観光ボランティアガイドの育成 18.5%
60～64歳(n=67)	河川など自然景観やまちなみの保全 44.8%	有形・無形の文化財の保全 37.3%	区民まつりなどイベントの積極的開催 29.9%	観光スポットとなる施設の設置 28.4%	区内周遊バスなどの移動手段の拡充 16.4%
65～69歳(n=40)	河川など自然景観やまちなみの保全 42.5%	有形・無形の文化財の保全 37.5%	区民まつりなどイベントの積極的開催 27.5%	観光スポットとなる施設の設置 遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 25.0%	
70～74歳(n=36)	河川など自然景観やまちなみの保全 50.0%	区民まつりなどイベントの積極的開催 33.3%	有形・無形の文化財の保全 30.6%	観光スポットとなる施設の設置 遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 区内周遊バスなどの移動手段の拡充 22.2%	
75歳以上(n=54)	河川など自然景観やまちなみの保全 57.1%	有形・無形の文化財の保全 28.6%	区民まつりなどイベントの積極的開催 28.6%	観光スポットとなる施設の設置 遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 25.0%	
男性計(n=510)	河川など自然景観やまちなみの保全 51.8%	有形・無形の文化財の保全 37.3%	区民まつりなどイベントの積極的開催 30.2%	観光スポットとなる施設の設置 23.9%	遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 22.4%

< 女性 >

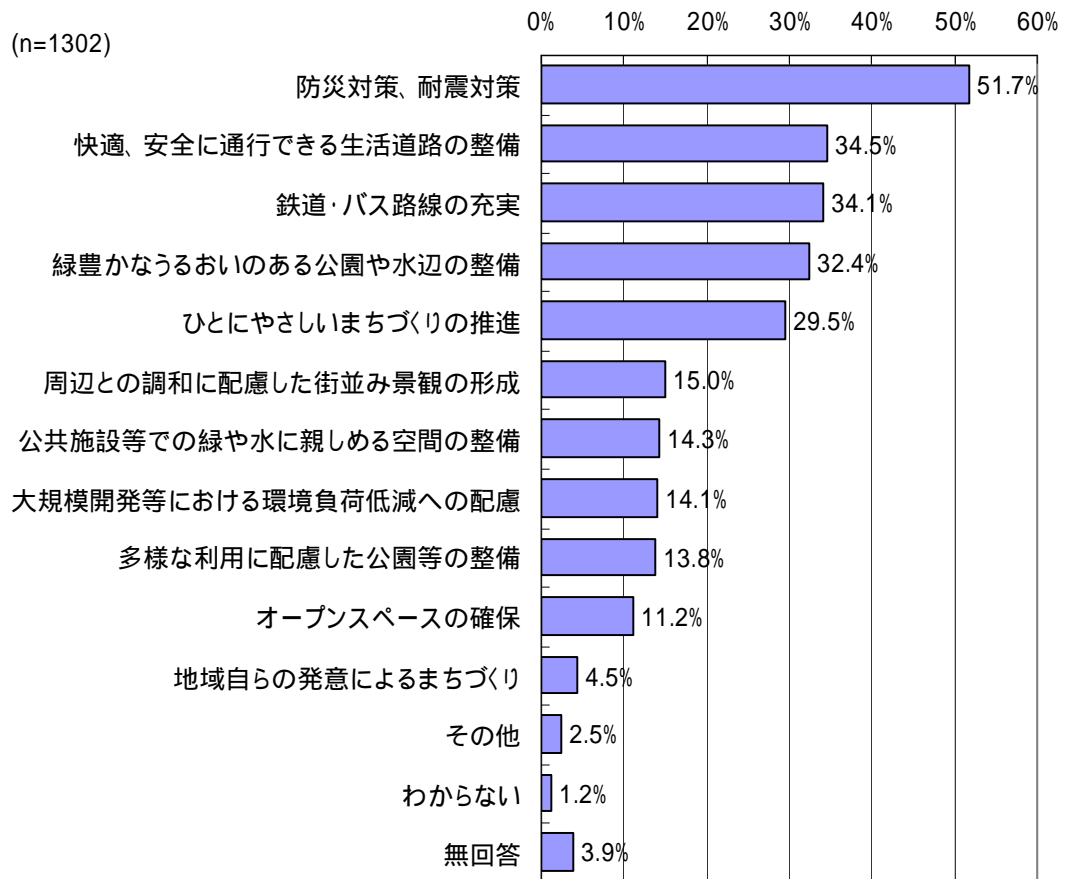
	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	区民まつりなどイベントの積極的開催 46.4%	区内周遊バスなどの移動手段の拡充 35.7%	河川など自然景観やまちなみの保全 観光スポットとなる施設の設置 28.6%		スポーツ・レクリエーション施設の整備 25.0%
25～29歳(n=42)	河川など自然景観やまちなみの保全 57.1%	観光スポットとなる施設の設置 33.3%	スポーツ・レクリエーション施設の整備 区民まつりなどイベントの積極的開催 31.0%		有形・無形の文化財の保全 28.6%
30～34歳(n=81)	河川など自然景観やまちなみの保全 56.8%	有形・無形の文化財の保全 48.1%	区民まつりなどイベントの積極的開催 35.8%	区内周遊バスなどの移動手段の拡充 22.2%	観光スポットとなる施設の設置 19.8%
35～39歳(n=82)	河川など自然景観やまちなみの保全 67.1%	有形・無形の文化財の保全 37.8%	区民まつりなどイベントの積極的開催 32.9%	広報誌など様々な観光情報の発信 22.0%	スポーツ・レクリエーション施設の整備 19.5%
40～44歳(n=63)	河川など自然景観やまちなみの保全 57.1%	区民まつりなどイベントの積極的開催 42.9%	有形・無形の文化財の保全 38.1%	区内周遊バスなどの移動手段の拡充 25.4%	遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 22.2%
45～49歳(n=40)	河川など自然景観やまちなみの保全 65.0%	有形・無形の文化財の保全 45.0%	観光スポットとなる施設の設置 32.5%	区内周遊バスなどの移動手段の拡充 25.0%	区民まつりなどイベントの積極的開催 17.5%
50～54歳(n=40)	河川など自然景観やまちなみの保全 62.5%	有形・無形の文化財の保全 47.5%	観光スポットとなる施設の設置 40.0%	遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 22.5%	観光ボランティアガイドの育成 20.0%
55～59歳(n=84)	河川など自然景観やまちなみの保全 59.5%	有形・無形の文化財の保全 40.5%	区内周遊バスなどの移動手段の拡充 28.6%	広報誌など様々な観光情報の発信 26.2%	区民まつりなどイベントの積極的開催 23.8%
60～64歳(n=80)	河川など自然景観やまちなみの保全 52.5%	有形・無形の文化財の保全 40.0%	遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 26.3%	区民まつりなどイベントの積極的開催 23.8%	観光スポットとなる施設の設置 22.5%
65～69歳(n=59)	河川など自然景観やまちなみの保全 64.4%	有形・無形の文化財の保全 40.7%	区民まつりなどイベントの積極的開催 遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 区内周遊バスなどの移動手段の拡充 観光ボランティアガイドの育成 20.3%		
70～74歳(n=47)	河川など自然景観やまちなみの保全 46.8%	有形・無形の文化財の保全 31.9%	区民まつりなどイベントの積極的開催 27.7%	観光スポットとなる施設の設置 23.4%	食べ物や土産品などの名産品の開発 21.3%
75歳以上(n=54)	有形・無形の文化財の保全 区民まつりなどイベントの積極的開催 35.2%		河川など自然景観やまちなみの保全 33.3%	観光スポットとなる施設の設置 遊覧船や周遊バスの遊覧観光の充実 33.3%	
女性計(n=701)	河川など自然景観やまちなみの保全 55.6%	有形・無形の文化財の保全 38.9%	区民まつりなどイベントの積極的開催 29.4%	観光スポットとなる施設の設置 22.4%	区内周遊バスなどの移動手段の拡充 22.1%

(7) 新たなまちづくり

問 13 【新たなまちづくり】

今後区が進める新たなまちづくりについて、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内に おつけください。

図表111-93 新たなまちづくりに係る政策・施策



- ・ 「防災対策、耐震対策」(51.7%)が最も高く、「快適、安全に通行できる生活道路の整備」(34.5%)、「鉄道・バス路線の充実」(34.1%)の順となっている。

地区別

- すべての地区で、回答者全体と同様に「防災対策、耐震対策」が最も高くなっており、いずれも5割前後の高い割合を示している。

図表III-94 地区別新たなまちづくりに係る政策・施策

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋(n=213)	防災対策、耐震対策	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 快適、安全に通行できる生活道路の整備	ひとにやさしいまちづくりの推進	ひとにやさしいまちづくりの推進	鉄道・バス路線の充実
	54.0%	32.4%		31.9%	30.5%
富岡・東陽(n=198)	防災対策、耐震対策	快適、安全に通行できる生活道路の整備	ひとにやさしいまちづくりの推進	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備	周辺との調和に配慮した街並み景観の形成
	55.1%	34.8%	32.3%	31.8%	21.2%
豊洲(n=227)	防災対策、耐震対策	鉄道・バス路線の充実	ひとにやさしいまちづくりの推進	快適、安全に通行できる生活道路の整備	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備
	48.9%	36.1%	32.2%	31.7%	31.3%
亀戸(n=144)	防災対策、耐震対策	快適、安全に通行できる生活道路の整備	鉄道・バス路線の充実	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備	ひとにやさしいまちづくりの推進
	52.8%	36.8%	34.7%	34.0%	25.7%
大島(n=174)	防災対策、耐震対策	快適、安全に通行できる生活道路の整備	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 鉄道・バス路線の充実		ひとにやさしいまちづくりの推進
	48.9%	36.2%	35.1%		25.9%
砂町(n=213)	防災対策、耐震対策	鉄道・バス路線の充実	快適、安全に通行できる生活道路の整備	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備	ひとにやさしいまちづくりの推進
	54.5%	43.7%	35.2%	32.4%	30.0%
南砂(n=126)	防災対策、耐震対策	鉄道・バス路線の充実	快適、安全に通行できる生活道路の整備	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備	ひとにやさしいまちづくりの推進
	45.2%	42.1%	36.5%	30.2%	25.4%

性年齢別

- 男性では、25～29歳以上のすべての層で回答者全体と同様に「防災対策・耐震対策」が最も高くなっているが、20～24歳は回答者全体と異なり「緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備」が最も高くなっている。
- 女性では、回答者全体と異なり、20～24歳で「緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備」、25～29歳、60～64歳で「快適、安全に通行できる生活道路の整備」、25～29歳、75歳以上で「鉄道・バス路線の充実」が最も高くなっている。

図表111-95 性年齢別新たなまちづくりに係る政策・施策

< 男性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 47.6%	防災対策、耐震対策 鉄道・バス路線の充実 38.1%		ひとにやさしいまちづくりの推進 33.3%	快適、安全に通行できる生活道路の整備 周辺との調和に配慮した街並み景観の形成 23.8%
25～29歳(n=22)	防災対策、耐震対策 54.5%	鉄道・バス路線の充実 45.5%	ひとにやさしいまちづくりの推進 36.4%	多様な利用に配慮した公園等の整備 27.3%	公共施設等での緑や水に親しめる空間の整備 22.7%
30～34歳(n=42)	防災対策、耐震対策 57.1%	快適、安全に通行できる生活道路の整備 50.0%	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 40.5%	鉄道・バス路線の充実 38.1%	ひとにやさしいまちづくりの推進 33.3%
35～39歳(n=42)	防災対策、耐震対策 54.8%	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 38.1%	鉄道・バス路線の充実 35.7%	快適、安全に通行できる生活道路の整備 33.3%	ひとにやさしいまちづくりの推進 31.0%
40～44歳(n=58)	防災対策、耐震対策 43.1%	鉄道・バス路線の充実 39.7%	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 快適、安全に通行できる生活道路の整備 36.2%		多様な利用に配慮した公園等の整備 25.9%
45～49歳(n=47)	防災対策、耐震対策 57.4%	鉄道・バス路線の充実 44.7%	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 29.8%	快適、安全に通行できる生活道路の整備 多様な利用に配慮した公園等の整備 25.5%	
50～54歳(n=40)	防災対策、耐震対策 57.5%	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 42.5%	鉄道・バス路線の充実 37.5%	快適、安全に通行できる生活道路の整備 32.5%	ひとにやさしいまちづくりの推進 27.5%
55～59歳(n=65)	防災対策、耐震対策 53.8%	ひとにやさしいまちづくりの推進 快適、安全に通行できる生活道路の整備 30.8%		鉄道・バス路線の充実 27.7%	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 24.6%
60～64歳(n=67)	防災対策、耐震対策 44.8%	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 38.8%	快適、安全に通行できる生活道路の整備 28.4%	鉄道・バス路線の充実 25.4%	ひとにやさしいまちづくりの推進 23.9%
65～69歳(n=40)	防災対策、耐震対策 47.5%	ひとにやさしいまちづくりの推進 35.0%	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 32.5%	快適、安全に通行できる生活道路の整備 鉄道・バス路線の充実 30.0%	
70～74歳(n=36)	防災対策、耐震対策 52.8%	快適、安全に通行できる生活道路の整備 44.4%	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 41.7%	鉄道・バス路線の充実 36.1%	ひとにやさしいまちづくりの推進 33.3%
75歳以上(n=28)	防災対策、耐震対策 67.9%	鉄道・バス路線の充実 42.9%	快適、安全に通行できる生活道路の整備 39.3%	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 32.1%	ひとにやさしいまちづくりの推進 21.4%
男性計(n=510)	防災対策、耐震対策 52.0%	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 鉄道・バス路線の充実 35.3%		快適、安全に通行できる生活道路の整備 33.1%	ひとにやさしいまちづくりの推進 27.8%

< 女性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備	防災対策、耐震対策	鉄道・バス路線の充実	快適、安全に通行できる生活道路の整備	大規模開発等における環境負荷低減への配慮
	42.9%	39.3%	32.1%	28.6%	17.9%
25～29歳(n=42)	快適、安全に通行できる生活道路の整備	鉄道・バス路線の充実	防災対策、耐震対策	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備	ひとにやさしいまちづくりの推進
	50.0%				
30～34歳(n=81)	防災対策、耐震対策	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備	ひとにやさしいまちづくりの推進		
			大規模開発等における環境負荷低減への配慮		
	56.8%	37.0%	27.2%		
35～39歳(n=82)	防災対策、耐震対策	ひとにやさしいまちづくりの推進		緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備	鉄道・バス路線の充実
		快適、安全に通行できる生活道路の整備			
	57.3%	34.1%		32.9%	25.6%
40～44歳(n=63)	防災対策、耐震対策	鉄道・バス路線の充実	快適、安全に通行できる生活道路の整備	ひとにやさしいまちづくりの推進	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備
45～49歳(n=40)	防災対策、耐震対策	ひとにやさしいまちづくりの推進	鉄道・バス路線の充実	快適、安全に通行できる生活道路の整備	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備
50～54歳(n=40)	防災対策、耐震対策	鉄道・バス路線の充実	ひとにやさしいまちづくりの推進	快適、安全に通行できる生活道路の整備	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備
55～59歳(n=84)	防災対策、耐震対策	ひとにやさしいまちづくりの推進	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備		
			快適、安全に通行できる生活道路の整備		
	57.1%	33.3%	32.1%		
60～64歳(n=80)	快適、安全に通行できる生活道路の整備	防災対策、耐震対策	鉄道・バス路線の充実	ひとにやさしいまちづくりの推進	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備
65～69歳(n=59)	防災対策、耐震対策	ひとにやさしいまちづくりの推進			鉄道・バス路線の充実
		緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備			
	66.1%	35.6%			30.5%
70～74歳(n=47)	防災対策、耐震対策	快適、安全に通行できる生活道路の整備	ひとにやさしいまちづくりの推進	鉄道・バス路線の充実	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備
					公共施設等での緑や水に親しめる空間の整備
	48.9%	46.8%	34.0%	27.7%	19.1%
75歳以上(n=54)	鉄道・バス路線の充実	防災対策、耐震対策	快適、安全に通行できる生活道路の整備	ひとにやさしいまちづくりの推進	
				緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備	
	44.4%	38.9%	37.0%	27.8%	
女性計(n=701)	防災対策、耐震対策	快適、安全に通行できる生活道路の整備	鉄道・バス路線の充実	ひとにやさしいまちづくりの推進	緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備

居住年数別

- すべての層で回答者全体と同様に「防災対策、耐震対策」が最も高い割合となっているが、中でも3～8年未満における割合が最も高く、一方3年未満における割合は居住年数別では最も低くなっている。

図表111-96 居住年数別新たなまちづくりに係る政策・施策

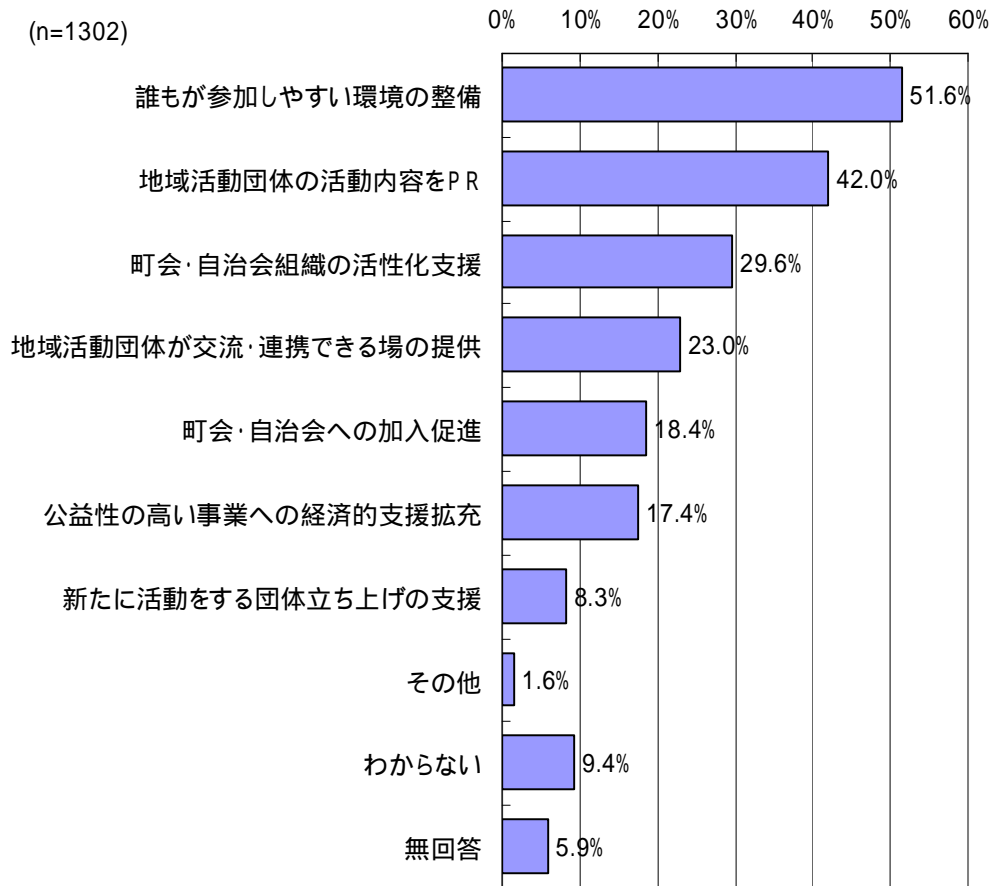
	1位	2位	3位	4位	5位
3年未満(n=184)	防災対策、耐震対策	快適、安全に通行できる生活道路の整備 鉄道・バス路線の充実		緑豊かなうらおいのある公園や水辺の整備	ひとにやさしいまちづくりの推進
	46.7%	34.2%		32.6%	30.4%
3～8年未満(n=207)	防災対策、耐震対策	緑豊かなうらおいのある公園や水辺の整備	快適、安全に通行できる生活道路の整備 鉄道・バス路線の充実		ひとにやさしいまちづくりの推進
	54.1%	43.0%	34.8%		30.0%
8～18年未満(n=145)	防災対策、耐震対策	鉄道・バス路線の充実	快適、安全に通行できる生活道路の整備	緑豊かなうらおいのある公園や水辺の整備	ひとにやさしいまちづくりの推進
	53.8%	38.6%	34.5%	31.7%	22.8%
18年以上(n=756)	防災対策、耐震対策	快適、安全に通行できる生活道路の整備	鉄道・バス路線の充実	ひとにやさしいまちづくりの推進	緑豊かなうらおいのある公園や水辺の整備
	52.0%	34.8%	32.7%	30.6%	29.6%

(8) 地域コミュニティの活性化

問 14 【地域コミュニティの活性化】

町会・自治会やNPO・ボランティアなどの地域活動を活性化するために、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内に をおつけください。

図表III-97 地域コミュニティの活性化に係る政策・施策



- ・ 「誰もが参加しやすい環境の整備」(51.6%)が最も高く、「地域活動団体の活動内容をPR」(42.0%)、「町会・自治会組織の活性化支援」(29.6%)の順となっている。

地区別

- すべての地区で回答者全体と同様に「誰もが参加しやすい環境の整備」が最も高くなっており、いずれも5割前後の高い割合を示している。

図表III-98 地区別地域コミュニティの活性化に係る政策・施策

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋(n=213)	誰もが参加しやすい環境の整備 52.1%	地域活動団体の活動内容をPR 41.3%	町会・自治会組織の活性化支援 34.7%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 24.9%	町会・自治会への加入促進 23.0%
富岡・東陽(n=198)	誰もが参加しやすい環境の整備 43.4%	地域活動団体の活動内容をPR 42.9%	町会・自治会組織の活性化支援 30.8%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 25.3%	公益性の高い事業への経済的支援拡充 19.2%
豊洲(n=227)	誰もが参加しやすい環境の整備 53.7%	地域活動団体の活動内容をPR 45.8%	町会・自治会組織の活性化支援 28.6%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 20.7%	公益性の高い事業への経済的支援拡充 15.4%
亀戸(n=144)	誰もが参加しやすい環境の整備 54.9%	地域活動団体の活動内容をPR 41.7%	町会・自治会組織の活性化支援 27.1%	町会・自治会への加入促進 22.2%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 21.5%
大島(n=174)	誰もが参加しやすい環境の整備 54.6%	地域活動団体の活動内容をPR 39.7%	町会・自治会組織の活性化支援 29.9%	公益性の高い事業への経済的支援拡充 20.7%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 17.2%
砂町(n=213)	誰もが参加しやすい環境の整備 52.6%	地域活動団体の活動内容をPR 41.3%	町会・自治会組織の活性化支援 28.2%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 27.2%	町会・自治会への加入促進 15.0%
南砂(n=126)	誰もが参加しやすい環境の整備 50.8%	地域活動団体の活動内容をPR 39.7%	町会・自治会組織の活性化支援 26.2%	町会・自治会への加入促進 24.6%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 23.0%

性年齢別

- 男性では、多くの年齢層が回答者全体と同様に「誰もが参加しやすい環境の整備」が最も高くなっているが、25～29歳、65～69歳では「地域活動団体の活動内容をPR」、70～74歳では「町会・自治会組織の活性化支援」が最も高くなっている。
- 女性では、ほとんどの年齢層が回答者全体と同様に「誰もが参加しやすい環境の整備」が最も多くなっている。

図表III-99 性年齢別地域コミュニティの活性化に係る政策・施策

< 男性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	誰もが参加しやすい環境の整備 61.9%	地域活動団体の活動内容をPR 42.9%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 28.6%	町会・自治会への加入促進 19.0%	わからない 14.3%
25～29歳(n=22)	地域活動団体の活動内容をPR 45.5%	誰もが参加しやすい環境の整備 45.5%	町会・自治会組織の活性化支援 36.4%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 31.8%	公益性の高い事業への経済的支援拡充 18.2%
30～34歳(n=42)	誰もが参加しやすい環境の整備 52.4%	地域活動団体の活動内容をPR 45.2%	町会・自治会組織の活性化支援 23.8%	公益性の高い事業への経済的支援拡充 21.4%	町会・自治会への加入促進 19.0%
35～39歳(n=42)	誰もが参加しやすい環境の整備 47.6%	町会・自治会組織の活性化支援 38.1%	地域活動団体の活動内容をPR 33.3%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 23.8%	町会・自治会への加入促進 16.7%
40～44歳(n=58)	誰もが参加しやすい環境の整備 50.0%	地域活動団体の活動内容をPR 37.9%	町会・自治会組織の活性化支援 27.6%	公益性の高い事業への経済的支援拡充 25.9%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 25.9%
45～49歳(n=47)	誰もが参加しやすい環境の整備 48.9%	地域活動団体の活動内容をPR 44.7%	町会・自治会組織の活性化支援 36.2%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 31.9%	公益性の高い事業への経済的支援拡充 23.4%
50～54歳(n=40)	誰もが参加しやすい環境の整備 55.0%	地域活動団体の活動内容をPR 37.5%	町会・自治会組織の活性化支援 37.5%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 30.0%	公益性の高い事業への経済的支援拡充 25.0%
55～59歳(n=65)	誰もが参加しやすい環境の整備 63.1%	地域活動団体の活動内容をPR 52.3%	町会・自治会組織の活性化支援 41.5%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 26.2%	公益性の高い事業への経済的支援拡充 18.5%
60～64歳(n=67)	誰もが参加しやすい環境の整備 41.8%	地域活動団体の活動内容をPR 40.3%	町会・自治会組織の活性化支援 35.8%	町会・自治会への加入促進 29.9%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 22.4%
65～69歳(n=40)	地域活動団体の活動内容をPR 52.5%	誰もが参加しやすい環境の整備 50.0%	町会・自治会への加入促進 32.5%	町会・自治会組織の活性化支援 27.5%	公益性の高い事業への経済的支援拡充 20.0%
70～74歳(n=36)	町会・自治会組織の活性化支援 41.7%	地域活動団体の活動内容をPR 38.9%	誰もが参加しやすい環境の整備 36.1%	町会・自治会への加入促進 27.8%	公益性の高い事業への経済的支援拡充 25.0%
75歳以上(n=28)	誰もが参加しやすい環境の整備 42.9%	地域活動団体の活動内容をPR 39.3%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 21.4%	町会・自治会組織の活性化支援 21.4%	町会・自治会への加入促進 21.4%
男性計(n=510)	誰もが参加しやすい環境の整備 49.8%	地域活動団体の活動内容をPR 42.9%	町会・自治会組織の活性化支援 32.7%	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 24.7%	町会・自治会への加入促進 19.6%

< 女性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	地域活動団体が交流・連携できる場の提供	公益性の高い事業への経済的支援拡充	町会・自治会組織の活性化支援 わからない
	53.6%	42.9%	28.6%	25.0%	14.3%
25～29歳(n=42)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	町会・自治会組織の活性化支援	わからない	地域活動団体が交流・連携できる場の提供 新たに活動をする団体立上げの支援
	38.1%	33.3%	21.4%	19.0%	16.7%
30～34歳(n=81)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	地域活動団体が交流・連携できる場の提供	町会・自治会組織の活性化支援	公益性の高い事業への経済的支援拡充
	53.1%	45.7%	27.2%	21.0%	17.3%
35～39歳(n=82)	地域活動団体の活動内容をPR		町会・自治会組織の活性化支援	地域活動団体が交流・連携できる場の提供	町会・自治会への加入促進
	誰もが参加しやすい環境の整備		42.7%	24.4%	14.6%
40～44歳(n=63)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	町会・自治会組織の活性化支援	公益性の高い事業への経済的支援拡充	地域活動団体が交流・連携できる場の提供
	52.4%	41.3%	28.6%	20.6%	19.0%
45～49歳(n=40)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	町会・自治会組織の活性化支援	地域活動団体が交流・連携できる場の提供	公益性の高い事業への経済的支援拡充
	50.0%	47.5%	35.0%	25.0%	20.0%
50～54歳(n=40)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	地域活動団体が交流・連携できる場の提供	町会・自治会組織の活性化支援	公益性の高い事業への経済的支援拡充
	65.0%	50.0%	35.0%	30.0%	17.5%
55～59歳(n=84)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	地域活動団体が交流・連携できる場の提供	町会・自治会組織の活性化支援	町会・自治会への加入促進
	70.2%	51.2%	26.2%		25.0%
60～64歳(n=80)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	町会・自治会組織の活性化支援	町会・自治会への加入促進	公益性の高い事業への経済的支援拡充
	60.0%	40.0%	31.3%	25.0%	21.3%
65～69歳(n=59)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	地域活動団体が交流・連携できる場の提供	町会・自治会組織の活性化支援	町会・自治会への加入促進
	54.2%	35.6%	28.8%	23.7%	22.0%
70～74歳(n=47)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	町会・自治会組織の活性化支援	町会・自治会への加入促進	わからない
	46.8%	31.9%	25.5%	23.4%	21.3%
75歳以上(n=54)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	町会・自治会への加入促進	公益性の高い事業への経済的支援拡充	町会・自治会組織の活性化支援 わからない
	40.7%	31.5%	24.1%	20.4%	16.7%
女性計(n=701)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	町会・自治会組織の活性化支援	地域活動団体が交流・連携できる場の提供	町会・自治会への加入促進
	53.8%	42.2%	27.4%	22.5%	17.4%

居住年数別

- ・ すべての層で回答者全体と同様に「誰もが参加しやすい環境の整備」が最も高くなっており、第2位以下の序列も含めて、居住年数による大きな意識の差はみられない。

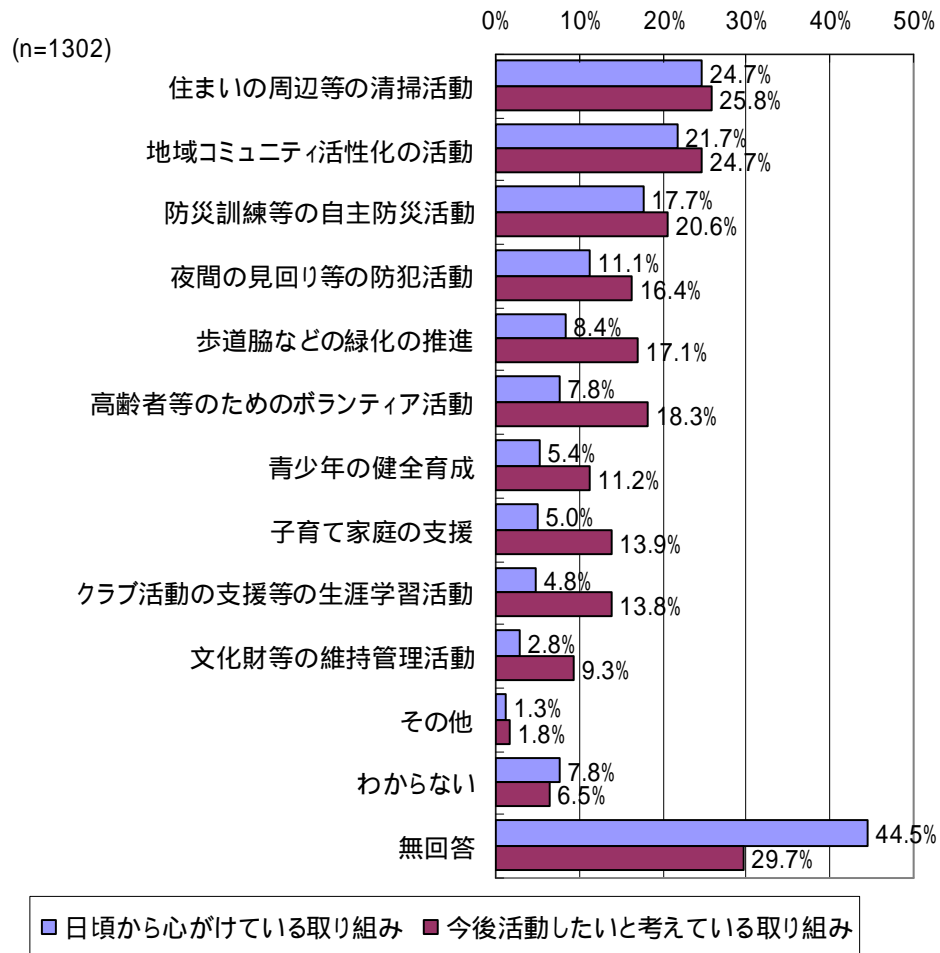
図表III-100 居住年数別地域コミュニティの活性化に係る政策・施策

	1位	2位	3位	4位	5位
3年未満(n=184)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	町会・自治会組織の活性化支援	地域活動団体が交流・連携できる場の提供	公益性の高い事業への経済的支援拡充
	47.3%	44.6%	23.9%	18.5%	17.4%
3～8年未満(n=207)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	町会・自治会組織の活性化支援	地域活動団体が交流・連携できる場の提供	町会・自治会への加入促進
	57.0%	44.9%	32.9%	24.6%	16.4%
8～18年未満(n=145)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	町会・自治会組織の活性化支援	公益性の高い事業への経済的支援拡充	地域活動団体が交流・連携できる場の提供
	50.3%	40.7%	29.7%	22.8%	17.9%
18年以上(n=756)	誰もが参加しやすい環境の整備	地域活動団体の活動内容をPR	町会・自治会組織の活性化支援	地域活動団体が交流・連携できる場の提供	町会・自治会への加入促進
	51.6%	41.0%	30.2%	24.6%	22.1%

(9) 区民参画・協働の現状と今後の意向

問 15-1 あなたご自身が日頃から心がけている取り組みについて、あてはまるものをすべて選び、下記の回答欄 に をおつけください。また、今後活動したいと考えている取り組みについてあてはまるものをすべて選び、回答欄 に をおつけください

図表III-101 区民参画・協働（現在及び今後の希望）



- ・ 現在心がけている取り組み、今後活動したい取り組みともに「住まいの周辺等の清掃活動」（現在 24.7%、今後 25.8%）が最も高く、「地域コミュニティの活性化の活動」（現在 21.7%、今後 24.7%）、「防災訓練等の自主防災活動」（現在 17.7%、今後 20.6%）の順となっている。

地区別

- ・ 現在心がけている取り組みにおいては、砂町地区、南砂地区では回答者全体と異なり、「地域コミュニティの活性化の活動」が最も高くなっている。その他の地区では、回答者全体と同様に「住まいの周辺等の清掃活動」が最も高くなっている。
- ・ 今後活動したい取り組みにおいては、富岡・東陽地区、豊洲地区、亀戸地区では「住まいの周辺等の清掃活動」、南砂地区では「地域コミュニティの活性化の活動」が現在心がけている取り組みと同じように最も高くなっている。一方、白河・小松橋地区、大島地区では「地域コミュニティの活性化の活動」が最も高く、砂町地区では「住まいの周辺等の清掃活動」が最も高くなっており、現在心がけている取り組みとの違いがみられる。

図表III-102 地区別区民参画・協働（現在）

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋(n=213)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	夜間の見回り等の防犯活動	歩道脇などの緑化の推進
	30.5%	26.3%	14.1%	12.7%	11.3%
富岡・東陽(n=198)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	高齢者等のためのボランティア活動	わからない
	23.2%	22.2%	17.7%	9.1%	8.6%
豊洲(n=227)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	夜間の見回り等の防犯活動	歩道脇などの緑化の推進
	24.2%	16.3%	15.9%	10.1%	7.9%
亀戸(n=144)	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	地域コミュニティ活性化の活動	夜間の見回り等の防犯活動	わからない
	24.3%	17.4%		11.1%	8.3%
大島(n=174)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	夜間の見回り等の防犯活動	歩道脇などの緑化の推進
	25.3%	19.0%	16.7%	9.2%	8.0%
砂町(n=213)	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	住まいの周辺等の清掃活動	夜間の見回り等の防犯活動	高齢者等のためのボランティア活動
	26.3%	23.0%	22.5%	14.1%	9.9%
南砂(n=126)	地域コミュニティ活性化の活動	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	夜間の見回り等の防犯活動	高齢者等のためのボランティア活動
	23.8%	21.4%		13.5%	8.7%

図表III-103 地区別区民参画・協働（今後の希望）

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋(n=213)	地域コミュニティ活性化の活動	住まいの周辺等の清掃活動	高齢者等のためのボランティア活動	歩道脇などの緑化の推進	防災訓練等の自主防災活動 夜間の見回り等の防犯活動
	29.1%	27.7%	19.2%	16.4%	16.0%
富岡・東陽(n=198)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	歩道脇などの緑化の推進	防災訓練等の自主防災活動	クラブ活動の支援等の生涯学習活動 文化財等の維持管理活動
	26.8%	23.7%	15.2%	14.6%	13.6%
豊洲(n=227)	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	高齢者等のためのボランティア活動	地域コミュニティ活性化の活動	子育て家庭の支援
	28.2%	22.9%	20.7%	19.8%	18.5%
亀戸(n=144)	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	歩道脇などの緑化の推進	夜間の見回り等の防犯活動 地域コミュニティ活性化の活動	
	24.3%	21.5%	20.8%	18.8%	
大島(n=174)	地域コミュニティ活性化の活動	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	高齢者等のためのボランティア活動	夜間の見回り等の防犯活動
	27.6%	22.4%	21.8%	19.0%	15.5%
砂町(n=213)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	高齢者等のためのボランティア活動	歩道脇などの緑化の推進
	27.2%	26.8%	26.3%	23.5%	20.7%
南砂(n=126)	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	住まいの周辺等の清掃活動	夜間の見回り等の防犯活動	高齢者等のためのボランティア活動 歩道脇などの緑化の推進
	27.8%	22.2%	20.6%	16.7%	13.5%

性年齢別

- ・ 男性では、現在心がけている取り組みでは、25～34歳、55～64歳、75歳以上では回答者全体と同様に「住まいの周辺等の清掃活動」が最も高くなっているが、35～44歳では「防災訓練等の自主防災活動」、45～54歳、65～74歳では「地域コミュニティ活性化の活動」が最も高くなっており、世代間で主として心がけている取り組みに差異がみられる。
- ・ 一方、今後活動したい取り組みでは、現在心がけている取り組みで高くなっている「住まいの周辺等の清掃活動」、「地域コミュニティ活性化の活動」が第1位にあげられる年齢層が大部分であるが、25～59歳では「子育て家庭の支援」、60～64歳では「歩道脇などの緑化の推進」、70～74歳、75歳以上では「夜間の見回り等の防犯活動」が最も高くなっている。
- ・ 女性では、現在心がけている取り組みでは、多くの年齢層で回答者全体と同様に「住まいの周辺等の清掃活動」が最も高くなっているが、30～34歳では「地域コミュニティ活性化の活動」、40～44歳では「夜間の見回り等の防犯活動」、70～74歳では「防災訓練等の自主防災活動」が最も高くなっている。
- ・ 今後活動したい取り組みにおいても多くの年齢層で「住まいの周辺等の清掃活動」が最も高くなっているが、25～34歳、40～44歳で「地域コミュニティ活性化の活動」、50～54歳では「高齢者等のためのボランティア活動」が最も高くなっている。

図表III-104 性年齢別区民参画・協働（現在）

< 男性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	住まいの周辺等の清掃活動				
	防災訓練等の自主防災活動				
	文化財等の維持管理活動				
	地域コミュニティ活性化の活動				
	わからない				
14.3%					
25～29歳(n=22)	住まいの周辺等の清掃活動		歩道脇などの緑化の推進		
	わからない		防災訓練等の自主防災活動		
			地域コミュニティ活性化の活動		
	22.7%		13.6%		
30～34歳(n=42)	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動		わからない	夜間の見回り等の防犯活動
		地域コミュニティ活性化の活動			
	23.8%	14.3%		11.9%	7.1%
35～39歳(n=42)	防災訓練等の自主防災活動	地域コミュニティ活性化の活動		住まいの周辺等の清掃活動	
		わからない		夜間の見回り等の防犯活動	
	19.0%	16.7%		14.3%	
40～44歳(n=58)	防災訓練等の自主防災活動	わからない	地域コミュニティ活性化の活動	歩道脇などの緑化の推進	
				夜間の見回り等の防犯活動	
	22.4%	19.0%	13.8%	12.1%	
45～49歳(n=47)	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	住まいの周辺等の清掃活動	青少年の健全育成	クラブ活動の支援等の生涯学習活動
	25.5%	17.0%	14.9%	10.6%	8.5%
50～54歳(n=40)	地域コミュニティ活性化の活動	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	歩道脇などの緑化の推進	
				わからない	
	30.0%	22.5%	17.5%	12.5%	
55～59歳(n=65)	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動		夜間の見回り等の防犯活動	クラブ活動の支援等の生涯学習活動
		地域コミュニティ活性化の活動			
	26.2%	20.0%		12.3%	9.2%
60～64歳(n=67)	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動		歩道脇などの緑化の推進	夜間の見回り等の防犯活動
		地域コミュニティ活性化の活動			
	32.8%	23.9%		17.9%	14.9%
65～69歳(n=40)	地域コミュニティ活性化の活動	住まいの周辺等の清掃活動	高齢者等のためのボランティア活動		歩道脇などの緑化の推進
			防災訓練等の自主防災活動		
	22.5%	20.0%	15.0%		12.5%
70～74歳(n=36)	地域コミュニティ活性化の活動	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	高齢者等のためのボランティア活動	
				歩道脇などの緑化の推進	
				夜間の見回り等の防犯活動	
	25.0%	22.2%	19.4%	11.1%	
75歳以上(n=28)	高齢者等のためのボランティア活動		青少年の健全育成		
	住まいの周辺等の清掃活動		歩道脇などの緑化の推進		
			地域コミュニティ活性化の活動		
17.9%		10.7%			
男性計(n=510)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	歩道脇などの緑化の推進	夜間の見回り等の防犯活動
20.8%	19.8%	17.6%	10.6%	10.0%	

< 女性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	住まいの周辺等の清掃活動	わからない	わからない	青少年の健全育成	わからない
	防災訓練等の自主防災活動			夜間の見回り等の防犯活動	
	21.4%		14.3%	10.7%	
25～29歳(n=42)	わからない	住まいの周辺等の清掃活動	わからない	子育て家庭の支援	わからない
		地域コミュニティ活性化の活動		防災訓練等の自主防災活動	
	16.7%	11.9%		9.5%	
30～34歳(n=81)	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	わからない	住まいの周辺等の清掃活動	子育て家庭の支援
		18.5%	13.6%	12.3%	9.9%
35～39歳(n=82)	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	わからない	夜間の見回り等の防犯活動	わからない
		18.3%		15.9%	
40～44歳(n=63)	夜間の見回り等の防犯活動	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	わからない
		27.0%	25.4%	19.0%	17.5%
45～49歳(n=40)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	夜間の見回り等の防犯活動	防災訓練等の自主防災活動	高齢者等のためのボランティア活動
			35.0%	22.5%	20.0%
50～54歳(n=40)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	高齢者等のためのボランティア活動	夜間の見回り等の防犯活動	わからない
		37.5%	25.0%	17.5%	
55～59歳(n=84)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	歩道脇などの緑化の推進	夜間の見回り等の防犯活動
		39.3%	36.9%	20.2%	10.7%
60～64歳(n=80)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	夜間の見回り等の防犯活動	高齢者等のためのボランティア活動
		36.3%	23.8%	18.8%	13.8%
65～69歳(n=59)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	夜間の見回り等の防犯活動	子育て家庭の支援
		40.7%	32.2%	22.0%	13.6%
70～74歳(n=47)	防災訓練等の自主防災活動	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	高齢者等のためのボランティア活動	歩道脇などの緑化の推進
		27.7%	25.5%	23.4%	14.9%
75歳以上(n=54)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	高齢者等のためのボランティア活動	歩道脇などの緑化の推進	わからない
		33.3%	22.2%	13.0%	
女性計(n=701)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	夜間の見回り等の防犯活動	高齢者等のためのボランティア活動
	27.8%	23.5%	17.7%	12.3%	7.8%

図表III-105 性年齢別区民参画・協働（今後の希望）

< 男性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	住まいの周辺等の清掃活動	歩道脇などの緑化の推進	高齢者等のためのボランティア活動	防災訓練等の自主防災活動	
	33.3%	23.8%	文化財等の維持管理活動	わからない	14.3%
25～29歳(n=22)	子育て家庭の支援	高齢者等のためのボランティア活動		歩道脇などの緑化の推進	
	22.7%	18.2%		住まいの周辺等の清掃活動	
30～34歳(n=42)	地域コミュニティ活性化の活動	住まいの周辺等の清掃活動	夜間の見回り等の防犯活動	歩道脇などの緑化の推進	青少年の健全育成
	35.7%	33.3%	28.6%	23.8%	19.0%
35～39歳(n=42)	地域コミュニティ活性化の活動	夜間の見回り等の防犯活動		防災訓練等の自主防災活動	青少年の健全育成
	33.3%	31.0%		28.6%	19.0%
40～44歳(n=58)	地域コミュニティ活性化の活動	夜間の見回り等の防犯活動	歩道脇などの緑化の推進	住まいの周辺等の清掃活動	
	32.8%	22.4%	20.7%	子育て家庭の支援	19.0%
45～49歳(n=47)	地域コミュニティ活性化の活動	夜間の見回り等の防犯活動	クラブ活動の支援等の生涯学習活動	住まいの周辺等の清掃活動	青少年の健全育成
	27.7%	25.5%	21.3%	19.1%	防災訓練等の自主防災活動
50～54歳(n=40)	住まいの周辺等の清掃活動	歩道脇などの緑化の推進		青少年の健全育成	夜間の見回り等の防犯活動
	25.0%	22.5%		20.0%	17.5%
55～59歳(n=65)	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動		高齢者等のためのボランティア活動	
	30.8%	29.2%		クラブ活動の支援等の生涯学習活動	
60～64歳(n=67)	歩道脇などの緑化の推進	高齢者等のためのボランティア活動			防災訓練等の自主防災活動
	29.9%	25.4%			23.9%
65～69歳(n=40)	地域コミュニティ活性化の活動	歩道脇などの緑化の推進		高齢者等のためのボランティア活動	
	25.0%	20.0%		17.5%	
70～74歳(n=36)	夜間の見回り等の防犯活動	住まいの周辺等の清掃活動		高齢者等のためのボランティア活動	
	22.2%	19.4%		歩道脇などの緑化の推進	
75歳以上(n=28)	夜間の見回り等の防犯活動	青少年の健全育成			
		高齢者等のためのボランティア活動			
男性計(n=510)	地域コミュニティ活性化の活動	歩道脇などの緑化の推進		14.3%	
		住まいの周辺等の清掃活動		20.4%	
	26.5%	23.1%	21.2%	20.4%	19.8%

< 女性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	住まいの周辺等の清掃活動	歩道脇などの緑化の推進	防災訓練等の自主防災活動	地域コミュニティ活性化の活動	子育て家庭の支援
	35.7%	32.1%	28.6%		25.0%
25～29歳(n=42)	地域コミュニティ活性化の活動	子育て家庭の支援	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	高齢者等のためのボランティア活動
	31.0%	28.6%	19.0%		16.7%
30～34歳(n=81)	地域コミュニティ活性化の活動	住まいの周辺等の清掃活動	子育て家庭の支援	防災訓練等の自主防災活動	歩道脇などの緑化の推進
	32.1%	27.2%	23.5%		21.0%
35～39歳(n=82)	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	子育て家庭の支援	地域コミュニティ活性化の活動	夜間の見回り等の防犯活動
	29.3%	24.4%	23.2%	20.7%	19.5%
40～44歳(n=63)	地域コミュニティ活性化の活動	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	高齢者等のためのボランティア活動	夜間の見回り等の防犯活動
	25.4%	22.2%	20.6%	17.5%	15.9%
45～49歳(n=40)	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	地域コミュニティ活性化の活動	子育て家庭の支援	高齢者等のためのボランティア活動
	32.5%	25.0%	22.5%	17.5%	17.5%
50～54歳(n=40)	高齢者等のためのボランティア活動	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	地域コミュニティ活性化の活動	子育て家庭の支援
	35.0%	32.5%		27.5%	20.0%
55～59歳(n=84)	住まいの周辺等の清掃活動	高齢者等のためのボランティア活動	地域コミュニティ活性化の活動	子育て家庭の支援	クラブ活動の支援等の生涯学習活動
	33.3%	28.6%		22.6%	21.4%
60～64歳(n=80)	住まいの周辺等の清掃活動	高齢者等のためのボランティア活動	防災訓練等の自主防災活動	地域コミュニティ活性化の活動	子育て家庭の支援
	31.3%	26.3%		22.5%	18.8%
65～69歳(n=59)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	高齢者等のためのボランティア活動	防災訓練等の自主防災活動	夜間の見回り等の防犯活動
	30.5%	25.4%	20.3%		13.6%
70～74歳(n=47)	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	高齢者等のためのボランティア活動	地域コミュニティ活性化の活動	歩道脇などの緑化の推進
	31.9%	21.3%	19.1%		10.6%
75歳以上(n=54)	住まいの周辺等の清掃活動	高齢者等のためのボランティア活動	地域コミュニティ活性化の活動	歩道脇などの緑化の推進	防災訓練等の自主防災活動
	22.2%	14.8%	13.0%	11.1%	9.3%
女性計(n=701)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	高齢者等のためのボランティア活動	子育て家庭の支援
	29.0%	24.7%	21.8%	20.7%	18.1%

居住年数別

- ・ 現在心がけている取り組みにおいては、すべての層で「住まいの周辺等の清掃活動」が最も高くなっている。
- ・ 一方、今後活動したい取り組みにおいては、18年以上の層を除き「地域コミュニティ活性化の活動」が最も高くなっており、現状心がけている取り組みと今後の意向についての差異がみられる。

図表III-106 居住年数別区民参画・協働（現在）

	1位	2位	3位	4位	5位
3年未満(n=184)	住まいの周辺等の清掃活動	わからない	防災訓練等の自主防災活動	地域コミュニティ活性化の活動	歩道脇などの緑化の推進
	13.6%	13.0%	12.0%	10.9%	6.5%
3～8年未満(n=207)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	わからない	高齢者等のためのボランティア活動
	17.4%	14.5%	13.5%	11.1%	7.2%
8～18年未満(n=145)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	地域コミュニティ活性化の活動	高齢者等のためのボランティア活動
	夜間の見回り等の防犯活動				歩道脇などの緑化の推進
	17.9%		17.2%	15.9%	9.7%
18年以上(n=756)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	夜間の見回り等の防犯活動	歩道脇などの緑化の推進
	31.0%	27.4%	20.6%	13.0%	9.7%

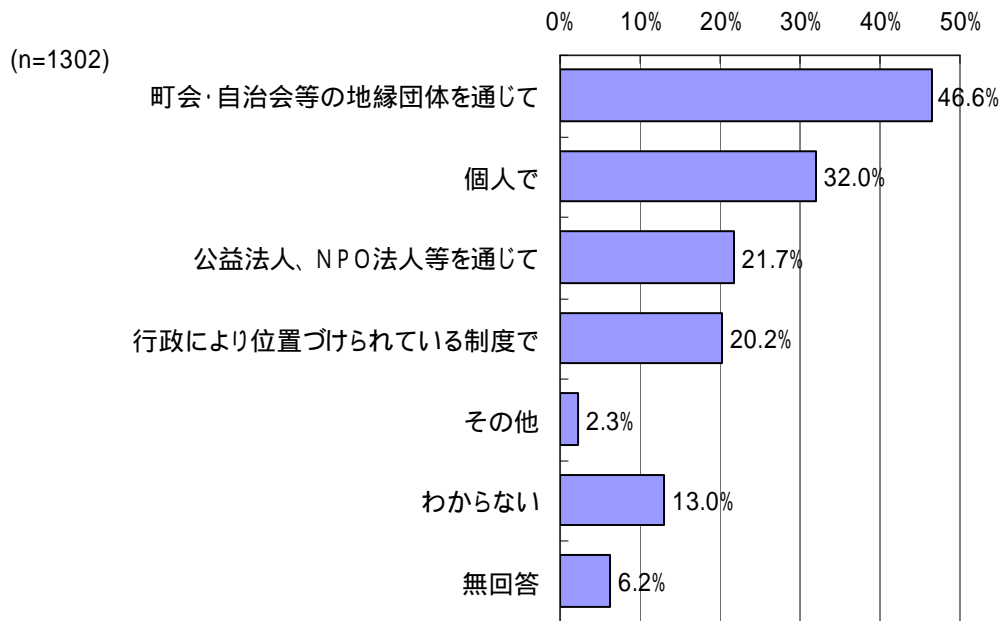
図表III-107 居住年数別区民参画・協働（今後の希望）

	1位	2位	3位	4位	5位
3年未満(n=184)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	歩道脇などの緑化の推進	クラブ活動の支援等の生涯学習活動
	22.8%				20.7%
3～8年未満(n=207)	地域コミュニティ活性化の活動	住まいの周辺等の清掃活動	防災訓練等の自主防災活動	子育て家庭の支援	高齢者等のためのボランティア活動
	26.6%	24.2%	20.8%	19.8%	16.9%
8～18年未満(n=145)	地域コミュニティ活性化の活動	住まいの周辺等の清掃活動	夜間の見回り等の防犯活動	高齢者等のためのボランティア活動	防災訓練等の自主防災活動
	22.8%	22.1%	17.2%	15.2%	
18年以上(n=756)	住まいの周辺等の清掃活動	地域コミュニティ活性化の活動	防災訓練等の自主防災活動	高齢者等のためのボランティア活動	歩道脇などの緑化の推進
	27.8%	25.1%	21.7%	21.4%	夜間の見回り等の防犯活動 17.6%

(1 0) 区民参画・協働の参加しやすい形

問 15-2 今後様々な地域の活動に参加する場合、どのような形が参加しやすいと思いますか。
あてはまるものをすべて選び、 をおつけください。

図表III-108 区民参画・協働（参加しやすい形）



- ・ 「町会・自治会等の地縁団体を通じて」（46.6%）が最も高く、「個人で」（32.0%）、
「公益法人、NPO法人等を通じて」（21.7%）の順となっている。

地区別

- すべての地区において回答者全体と同様に「町会・自治会等の地縁団体を通じて」が最も多く、次いで「個人で」となっている。

図表III-109 地区別区民参画・協働（参加しやすい形）

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋(n=213)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 51.2%	個人で 32.4%	公益法人、NPO法人等を通じて 26.8%	行政により位置づけられている制度で 21.6%	わからない 14.1%
富岡・東陽(n=198)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 47.5%	個人で 34.3%	行政により位置づけられている制度で 20.7%	公益法人、NPO法人等を通じて 19.2%	わからない 9.6%
豊洲(n=227)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 44.9%	個人で 37.4%	公益法人、NPO法人等を通じて 24.2%	行政により位置づけられている制度で 19.4%	わからない 12.3%
亀戸(n=144)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 46.5%	個人で 31.3%	行政により位置づけられている制度で 20.1%	公益法人、NPO法人等を通じて 15.3%	わからない 14.6%
大島(n=174)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 42.0%	個人で 31.0%	公益法人、NPO法人等を通じて 21.8%	行政により位置づけられている制度で 17.8%	わからない 12.1%
砂町(n=213)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 45.1%	個人で 31.5%	公益法人、NPO法人等を通じて 23.0%	行政により位置づけられている制度で 21.1%	わからない 13.1%
南砂(n=126)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 50.8%	個人で 23.0%	行政により位置づけられている制度で 20.6%	公益法人、NPO法人等を通じて 16.7%	わからない 15.9%

性年齢別

- 男性では、20～29歳で回答者全体と異なり「個人で」が最も高くなっているが、他の年齢層はすべて回答者全体と同様に「町会・自治会等の地縁団体を通じて」が最も高くなっている。
- 女性では、25～29歳で回答者全体と異なり「個人で」が最も高くなっているが、他の年齢層はすべて回答者全体と同様に「町会・自治会等の地縁団体を通じて」が最も高くなっている。
- 男女ともに、30歳未満において町会・自治会等の地縁団体を介するよりも、個人での参画が参加しやすいとする意識がみられる。

図表III-110 性年齢別区民参画・協働（参加しやすい形）

< 男性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	個人で 33.3%	わからない 23.8%	町会・自治会等の地縁団体を通じて 公益法人、NPO法人等を通じて 19.0%	行政により位置づけられている制度で 14.3%	
25～29歳(n=22)	個人で 50.0%	町会・自治会等の地縁団体を通じて 36.4%	行政により位置づけられている制度で 18.2%	公益法人、NPO法人等を通じて その他 わからない 9.1%	
30～34歳(n=42)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 38.1%	個人で 31.0%	行政により位置づけられている制度で 26.2%	公益法人、NPO法人等を通じて わからない 11.9%	
35～39歳(n=42)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 45.2%	個人で 38.1%	行政により位置づけられている制度で 31.0%	わからない 14.3%	公益法人、NPO法人等を通じて 11.9%
40～44歳(n=58)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 44.8%	個人で 36.2%	行政により位置づけられている制度で 24.1%	公益法人、NPO法人等を通じて 22.4%	わからない 20.7%
45～49歳(n=47)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 44.7%	個人で 40.4%	行政により位置づけられている制度で 27.7%	公益法人、NPO法人等を通じて 23.4%	その他 わからない 4.3%
50～54歳(n=40)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 57.5%	個人で 35.0%	公益法人、NPO法人等を通じて 22.5%	行政により位置づけられている制度で 17.5%	わからない 10.0%
55～59歳(n=65)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 49.2%	個人で 36.9%	公益法人、NPO法人等を通じて 30.8%	行政により位置づけられている制度で 24.6%	わからない 6.2%
60～64歳(n=67)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 50.7%	個人で 29.9%	公益法人、NPO法人等を通じて 25.4%	行政により位置づけられている制度で 13.4%	わからない 10.4%
65～69歳(n=40)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 52.5%	個人で 30.0%	公益法人、NPO法人等を通じて 12.5%	行政により位置づけられている制度で わからない 10.0%	
70～74歳(n=36)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 55.6%	個人で 行政により位置づけられている制度で 27.8%		公益法人、NPO法人等を通じて 16.7%	わからない 11.1%
75歳以上(n=28)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 46.4%	個人で 25.0%	行政により位置づけられている制度で 10.7%	公益法人、NPO法人等を通じて わからない 7.1%	
男性計(n=510)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 46.7%	個人で 34.3%	行政により位置づけられている制度で 21.0%	公益法人、NPO法人等を通じて 19.4%	わからない 11.2%

< 女性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 50.0%	個人で 35.7%	公益法人、NPO法人等を通じて 32.1%	行政により位置づけられている制度で 21.4%	わからない 10.7%
25～29歳(n=42)	個人で 40.5%	町会・自治会等の地縁団体を通じて 35.7%	行政により位置づけられている制度で 19.0%	わからない 16.7%	公益法人、NPO法人等を通じて 9.5%
30～34歳(n=81)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 46.9%	個人で 37.0%	公益法人、NPO法人等を通じて 24.7%	わからない 19.8%	行政により位置づけられている制度で 18.5%
35～39歳(n=82)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 46.3%	個人で 32.9%	行政により位置づけられている制度で 25.6%	公益法人、NPO法人等を通じて 24.4%	わからない 14.6%
40～44歳(n=63)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 49.2%	個人で 28.6%	わからない 23.8%	公益法人、NPO法人等を通じて 22.2%	行政により位置づけられている制度で 17.5%
45～49歳(n=40)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 52.5%	公益法人、NPO法人等を通じて 40.0%	個人で 25.0%	行政により位置づけられている制度で 20.0%	わからない 5.0%
50～54歳(n=40)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 52.5%	公益法人、NPO法人等を通じて 37.5%	個人で 25.0%	行政により位置づけられている制度で 20.0%	わからない 7.5%
55～59歳(n=84)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 47.6%	個人で 40.5%	公益法人、NPO法人等を通じて 38.1%	行政により位置づけられている制度で 11.9%	わからない 7.1%
60～64歳(n=80)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 43.8%	個人で 30.0%	公益法人、NPO法人等を通じて 28.8%	行政により位置づけられている制度で 17.5%	わからない 12.5%
65～69歳(n=59)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 54.2%	行政により位置づけられている制度で 28.8%	個人で 18.6%	公益法人、NPO法人等を通じて 13.6%	わからない 6.8%
70～74歳(n=47)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 48.9%	個人で 29.8%	わからない 17.0%	行政により位置づけられている制度で 12.8%	公益法人、NPO法人等を通じて 8.5%
75歳以上(n=54)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 42.6%	行政により位置づけられている制度で 24.1%	わからない 16.7%	公益法人、NPO法人等を通じて 13.0%	個人で 7.4%
女性計(n=701)	町会・自治会等の地縁団体を通じて 47.4%	個人で 30.8%	公益法人、NPO法人等を通じて 23.8%	行政により位置づけられている制度で 19.7%	わからない 13.6%

居住年数別

- ・ 「3年未満」では回答者全体と異なり「個人で」が最も高くなっているが、他は回答者全体と同様に「町会・自治会等の地縁団体を通じて」が最も高くなっている。

図表III-111 居住年数別区民参画・協働（参加しやすい形）

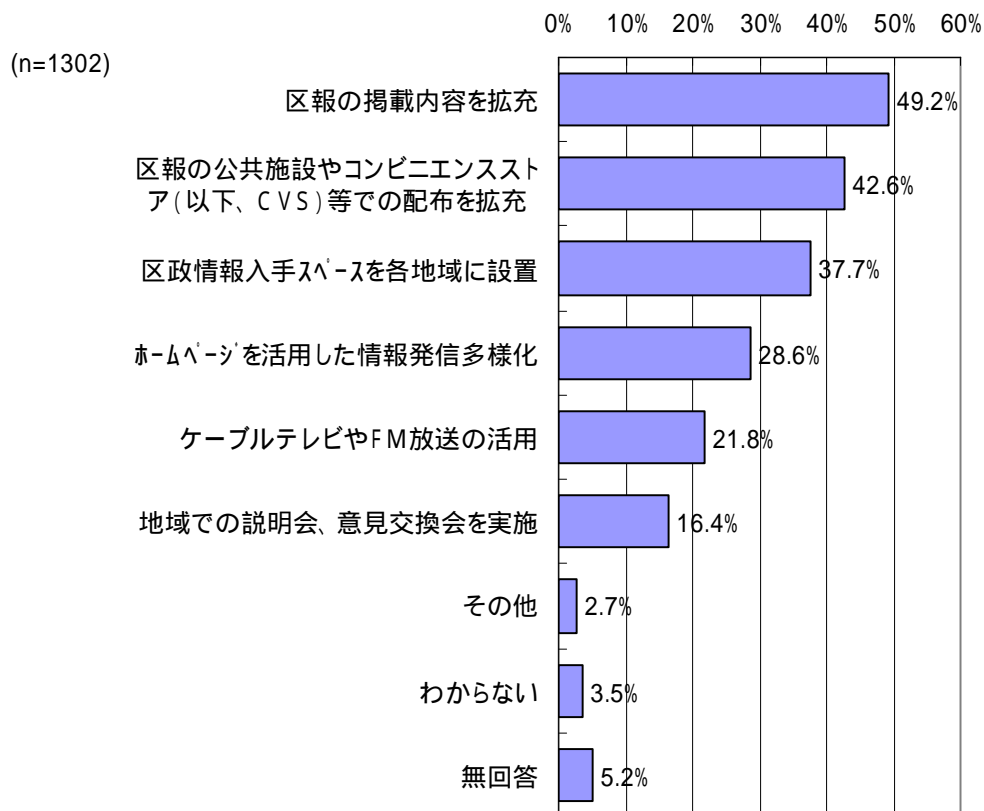
	1位	2位	3位	4位	5位
3年未満(n=184)	個人で	町会・自治会等の地縁団体を通じて	公益法人、NPO法人等を通じて	行政により位置づけられている制度で	わからない
	40.8%	32.6%	21.7%	19.0%	16.3%
3～8年未満(n=207)	町会・自治会等の地縁団体を通じて	個人で	行政により位置づけられている制度で	公益法人、NPO法人等を通じて	わからない
	44.0%	37.2%	24.2%	22.2%	13.5%
8～18年未満(n=145)	町会・自治会等の地縁団体を通じて	個人で	公益法人、NPO法人等を通じて	行政により位置づけられている制度で	わからない
	40.0%	30.3%	26.2%	18.6%	17.2%
18年以上(n=756)	町会・自治会等の地縁団体を通じて	個人で	公益法人、NPO法人等を通じて	行政により位置づけられている制度で	わからない
	52.2%	29.2%	21.0%	19.4%	11.4%

(1 1) 区政情報の公開

問 16 【区政情報の公開】

区政の動きをよりわかりやすく、また情報を入手しやすくしていくために、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内に をおつけください。

図表III-112 区政情報の公開に係る取り組み



- ・ 「区報の掲載内容を拡充」(49.2%)が最も高く、「区報の公共施設やコンビニエンスストア等での配布を拡充」(42.6%)、「区政情報入手スペースを各地域に設置」(37.7%)の順となっている。

地区別

- すべての地区において回答者全体と同様に「区報の掲載内容を拡充」が最も高くなっている。
- 第2位にあげられているものでは、亀戸地区、大島地区では回答者全体と異なり「区政情報入手スペースを各地域に設置」があげられているが、他地区は回答者全体と同様に「区報の公共施設やコンビニエンスストア等での配布を拡充」が挙げられている。

図表III-113 地区別区政情報の公開に係る取り組み

	1位	2位	3位	4位	5位
白河・小松橋(n=213)	区報の掲載内容を拡充 53.1%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 35.2%	区政情報入手スペースを各地域に設置 33.3%	ホームページを活用した情報発信多様化 32.9%	ケーブルテレビやFM放送の活用 24.4%
富岡・東陽(n=198)	区報の掲載内容を拡充 45.5%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 41.9%	ホームページを活用した情報発信多様化 32.3%	区政情報入手スペースを各地域に設置 29.3%	ケーブルテレビやFM放送の活用 21.7%
豊洲(n=227)	区報の掲載内容を拡充 46.7%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 41.0%	区政情報入手スペースを各地域に設置 37.4%	ホームページを活用した情報発信多様化 34.4%	ケーブルテレビやFM放送の活用 19.8%
亀戸(n=144)	区報の掲載内容を拡充 48.6%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 45.1%	区政情報入手スペースを各地域に設置	ホームページを活用した情報発信多様化 25.0%	ケーブルテレビやFM放送の活用 20.1%
大島(n=174)	区報の掲載内容を拡充 47.7%	区政情報入手スペースを各地域に設置 38.5%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 36.2%	ケーブルテレビやFM放送の活用 24.7%	ホームページを活用した情報発信多様化 20.7%
砂町(n=213)	区報の掲載内容を拡充 54.5%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 54.0%	区政情報入手スペースを各地域に設置 45.5%	ホームページを活用した情報発信多様化 21.6%	ケーブルテレビやFM放送の活用
南砂(n=126)	区報の掲載内容を拡充 47.6%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 46.8%	区政情報入手スペースを各地域に設置 38.1%	ホームページを活用した情報発信多様化 32.5%	地域での説明会、意見交換会を実施 20.6%

性年齢別

- 男性では、45歳以上の層では回答者全体と同様に「区報の掲載内容を拡充」が最も高い一方、20～24歳、40～44歳では「ホームページを活用した情報発信多様化」、25～39歳では「区報の公共施設やコンビニエンスストア等での配布を拡充」が最も高くなっている。
- 女性においても男性と同様の傾向がみられ、40歳以上の層では「区報の掲載内容を拡充」が最も高い一方、20歳代、35～39歳は「区報の公共施設やコンビニエンスストア等での配布を拡充」、30～34歳では「ホームページを活用した情報発信多様化」が最も高くなっている。
- 以上から、20～30歳代は区政情報の入手方法の多様化を望んでおり、比較的高齢の層は区政情報の内容の拡充をより望んでいるといえる。

図表III-114 性年齢別区政情報の公開に係る取り組み

< 男性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=21)	ホームページを活用した情報発信多様化 47.6%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 38.1%	区政情報入手スペースを各地域に設置 28.6%	区報の掲載内容を拡充 地域での説明会、意見交換会を実施 23.8%	
25～29歳(n=22)	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 59.1%	区報の掲載内容を拡充 ホームページを活用した情報発信多様化 50.0%		区政情報入手スペースを各地域に設置 31.8%	ケーブルテレビやFM放送の活用 18.2%
30～34歳(n=42)	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 54.8%	ホームページを活用した情報発信多様化 42.9%	区報の掲載内容を拡充 40.5%	区政情報入手スペースを各地域に設置 38.1%	ケーブルテレビやFM放送の活用 19.0%
35～39歳(n=42)	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 54.8%	区報の掲載内容を拡充 50.0%	ホームページを活用した情報発信多様化 47.6%	区政情報入手スペースを各地域に設置 31.0%	ケーブルテレビやFM放送の活用 23.8%
40～44歳(n=58)	ホームページを活用した情報発信多様化 44.8%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 41.4%	区報の掲載内容を拡充 39.7%	ケーブルテレビやFM放送の活用 34.5%	区政情報入手スペースを各地域に設置 20.7%
45～49歳(n=47)	区報の掲載内容を拡充 51.1%	ホームページを活用した情報発信多様化 46.8%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 区政情報入手スペースを各地域に設置 36.2%	ケーブルテレビやFM放送の活用 34.0%	
50～54歳(n=40)	区報の掲載内容を拡充 45.0%	区政情報入手スペースを各地域に設置 40.0%	ホームページを活用した情報発信多様化 ケーブルテレビやFM放送の活用 37.5%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 35.0%	
55～59歳(n=65)	区報の掲載内容を拡充 区政情報入手スペースを各地域に設置 47.7%		区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 40.0%	ケーブルテレビやFM放送の活用 27.7%	ホームページを活用した情報発信多様化 26.2%
60～64歳(n=67)	区報の掲載内容を拡充 47.8%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 41.8%	区政情報入手スペースを各地域に設置 35.8%	ホームページを活用した情報発信多様化 22.4%	ケーブルテレビやFM放送の活用 地域での説明会、意見交換会を実施 16.4%
65～69歳(n=40)	区報の掲載内容を拡充 47.5%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 45.0%	区政情報入手スペースを各地域に設置 42.5%	地域での説明会、意見交換会を実施 30.0%	ケーブルテレビやFM放送の活用 22.5%
70～74歳(n=36)	区報の掲載内容を拡充 55.6%	区政情報入手スペースを各地域に設置 50.0%	地域での説明会、意見交換会を実施 27.8%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 ホームページを活用した情報発信多様化 22.2%	
75歳以上(n=28)	区報の掲載内容を拡充 53.6%	区政情報入手スペースを各地域に設置 46.4%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 28.6%	地域での説明会、意見交換会を実施 14.3%	ホームページを活用した情報発信多様化 ケーブルテレビやFM放送の活用 10.7%
男性計(n=510)	区報の掲載内容を拡充 46.5%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 41.2%	区政情報入手スペースを各地域に設置 37.3%	ホームページを活用した情報発信多様化 33.7%	ケーブルテレビやFM放送の活用 24.1%

< 女性 >

	1位	2位	3位	4位	5位
20～24歳(n=28)	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 53.6%	ホームページを活用した情報発信多様化 35.7%	区政情報入手スペースを各地域に設置 28.6%	区報の掲載内容を拡充 25.0%	ケーブルテレビやFM放送の活用 21.4%
25～29歳(n=42)	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 52.4%	ホームページを活用した情報発信多様化 45.2%	区報の掲載内容を拡充 35.7%	区政情報入手スペースを各地域に設置 31.0%	地域での説明会、意見交換会を実施 14.3%
30～34歳(n=81)	ホームページを活用した情報発信多様化 49.4%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 37.0%	区報の掲載内容を拡充 35.8%	区政情報入手スペースを各地域に設置 33.3%	ケーブルテレビやFM放送の活用 17.3%
35～39歳(n=82)	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 53.7%	区報の掲載内容を拡充 48.8%	区政情報入手スペースを各地域に設置 35.4%	ホームページを活用した情報発信多様化 31.7%	ケーブルテレビやFM放送の活用 地域での説明会、意見交換会を実施 15.9%
40～44歳(n=63)	区報の掲載内容を拡充 55.6%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 50.8%	ホームページを活用した情報発信多様化 44.4%	区政情報入手スペースを各地域に設置 33.3%	ケーブルテレビやFM放送の活用 19.0%
45～49歳(n=40)	区報の掲載内容を拡充 57.5%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 40.0%	区政情報入手スペースを各地域に設置 35.0%	ホームページを活用した情報発信多様化 32.5%	ケーブルテレビやFM放送の活用 25.0%
50～54歳(n=40)	区報の掲載内容を拡充 55.0%	区政情報入手スペースを各地域に設置 42.5%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 40.0%	ケーブルテレビやFM放送の活用 35.0%	ホームページを活用した情報発信多様化 32.5%
55～59歳(n=84)	区報の掲載内容を拡充 58.3%	区政情報入手スペースを各地域に設置 50.0%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 35.7%	ホームページを活用した情報発信多様化 23.8%	ケーブルテレビやFM放送の活用 22.6%
60～64歳(n=80)	区報の掲載内容を拡充 63.8%	区政情報入手スペースを各地域に設置 43.8%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 37.5%	地域での説明会、意見交換会を実施 23.8%	ケーブルテレビやFM放送の活用 20.0%
65～69歳(n=59)	区報の掲載内容を拡充 64.4%	区政情報入手スペースを各地域に設置 52.5%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 49.2%	ケーブルテレビやFM放送の活用 16.9%	地域での説明会、意見交換会を実施 13.6%
70～74歳(n=47)	区報の掲載内容を拡充 63.8%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 46.8%	区政情報入手スペースを各地域に設置 34.0%	地域での説明会、意見交換会を実施 25.5%	ケーブルテレビやFM放送の活用 23.4%
75歳以上(n=54)	区報の掲載内容を拡充 44.4%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 33.3%	区政情報入手スペースを各地域に設置 31.5%	ケーブルテレビやFM放送の活用 20.4%	地域での説明会、意見交換会を実施 16.7%
女性計(n=701)	区報の掲載内容を拡充 51.9%	区報の公共施設やCVS等での配布を拡充 43.4%	区政情報入手スペースを各地域に設置 38.5%	ホームページを活用した情報発信多様化 26.0%	ケーブルテレビやFM放送の活用 20.0%

IV. 江東区民まつり参加者へのアンケート調査結果

(1) 調査概要

* 実施概要

- ・ 平成 19 年 10 月 20、21 日に木場公園で開催された江東区民まつりへの参加者に対し、会場にてアンケート調査を実施した。
- ・ 有効回収数は 815 件であった。

* 調査内容

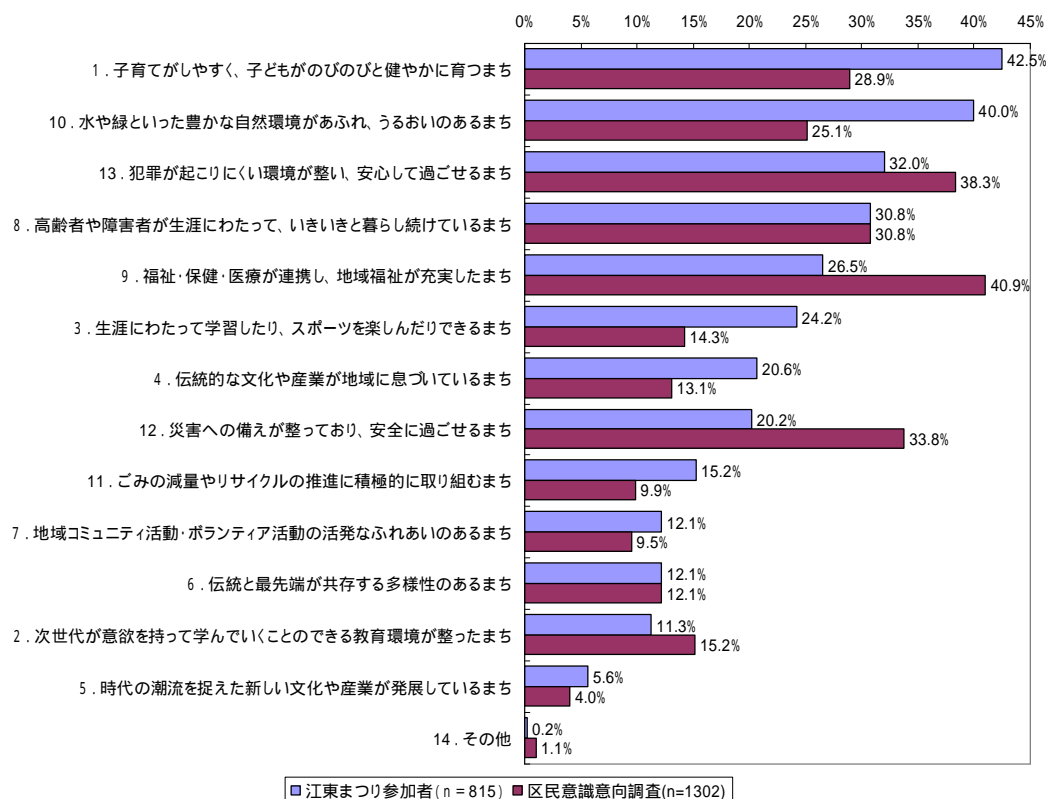
- ・ 江東区の望ましい将来像について（区民意識意向調査問 5 と同様の設問）
- ・ 江東区の良いイメージ（自由記述）
- ・ 江東区の悪いイメージ（自由記述）

(2) 調査結果

江東区の望ましい将来像

- ・ 「子育てがしやすく、子どもがのびのびと健やかに育つまち」（42.5%）が最も高く、「水や緑といった豊かな自然環境があふれ、うるおいのあるまち」（40.0%）、「犯罪が起こりにくい環境が整い、安心して過ごせるまち」（32.0%）の順となっている。
- ・ 区民意識意向本調査では、「福祉・保健・医療が連携し地域福祉が充実したまち」（40.9%）が最も高くなっているが、江東区民まつり参加者の回答率は全項目の中で 5 番目の 26.5%にとどまっている。

図表IV-1 江東区の望ましい将来像（江東区民まつり参加者と意識意向調査結果との比較）



江東区の良いイメージ

- ・ 江東区の良いイメージとして自由記述で回答を得た結果、806件の回答が得られた。このうち、まち並みや緑の豊かさなど市街地環境全般が良好であるとする意見が最も多かった。また、公園が豊富である、交通利便性が高いといった意見も多く、都市基盤や市街地の環境に関することを挙げる意見が多くなっている。
- ・ 上記以外では下町的な人情やふれあいなどコミュニティが豊かであるとする意見が多く、伝統、文化が豊かであるといった意見も含め、地域社会に関することを挙げる意見も多く見られる。

図表IV-2 江東区の良いイメージ（江東区民まつり参加者、自由記述）

分野		件数
大分類	小分類	
都市基盤・市街地環境	市街地環境全般(まち並み、緑・水辺(公園以外)、等)	249
	公園	107
	交通利便性	67
	生活安全	11
	道路の整備、維持管理状況	8
	防災	3
	地球環境問題(リサイクル)	2
	その他	1
産業・文化・コミュニティ	コミュニティ(下町、ふれあい)	123
	伝統、文化	40
	観光・にぎわい	30
	商業(買い物)	25
	生涯学習・スポーツ環境	16
	その他	3
教育・子育て	児童福祉	19
	子どもの遊び場	5
	教育環境	3
福祉(子育て・教育を除く)	高齢者福祉	6
	福祉全般	5
	障害者福祉	2
住みやすい(全般)		31
行政		4
その他		46
合計		806

複数の要素に言及している回答は主たる要素と判断されるものに分類した

江東区の悪いイメージ

- ・ 江東区の悪いイメージとして自由記述で回答を得た結果、591件の回答が得られた。このうち、まち並みや緑の豊かさなど市街地環境全般に問題があるとする意見が最も多かった。道路の整備や維持管理状況、交通利便性、生活安全などに問題があるとする意見も多く、都市基盤や市街地の環境に関することを挙げる意見が多くなっている。
- ・ 上記以外では児童福祉や教育環境など教育・子育てに関することを挙げる意見も多く見られる。

図表IV-3 江東区の悪いイメージ（江東区民まつり参加者、自由記述）

分野		件数
大分類	小分類	
都市基盤・市街地環境	市街地環境全般(景観、まち並み、緑・水辺(公園以外)、等)	173
	道路の整備、維持管理状況	76
	交通利便性	42
	生活安全	36
	公園	26
	防災	10
	地球環境問題(リサイクル)	10
	その他	17
教育・子育て	児童福祉	30
	教育環境	16
	子どもの遊び場	2
	その他	1
産業・文化・コミュニティ	コミュニティ(下町、ふれあい)	24
	産業	2
	商業(買い物)	6
	生涯学習・スポーツ環境	5
	その他	8
福祉(子育て・教育を除く)	福祉全般	14
	高齢者福祉	10
	健康・医療	8
	障害者福祉	3
	その他	1
行政		19
その他		42
特に悪いところはない		10
合計		591

複数の要素に言及している回答は主たる要素と判断されるものに分類した

資料編（アンケート調査票）

はじめに、あなたご自身についておうかがいします。

F 1 から F 6 まで、それぞれあなたにあてはまる番号に をつけてください。

F1. 性別	1. 男性	2. 女性		
F2. 年齢	1. 20～24 歳	2. 25～29 歳	3. 30～34 歳	4. 35～39 歳
	5. 40～44 歳	6. 45～49 歳	7. 50～54 歳	8. 55～59 歳
	9. 60～64 歳	10. 65～69 歳	11. 70～74 歳	12. 75 歳以上
F3. ご職業	1. 会社員・団体職員	2. 商工自営業	3. 公務員	
	4. 会社役員・団体役員	5. パート・アルバイト	6. 学生	
	7. 無職（専業主婦・主夫含む）	8. その他（ ）		
F4. ご自宅 (居住地区)	地区名	該当する町丁名		
	1. 白河・小松橋	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋、千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利		
	2. 富岡・東陽	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島、木場、東陽、南砂 2 丁目(1 番 1 号～5 号・5 番～7 番)、新砂 1 丁目 1 番		
	3. 豊洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海		
	4. 亀戸	亀戸		
	5. 大島	大島		
	6. 砂町	北砂 南砂(1 丁目 5 丁目)、南砂 2 丁目(24 番～34 番)、東砂 1 丁目～5 丁目		
	7. 南砂	東砂 6 丁目～8 丁目、南砂 2 丁目(1 番 1 号～5 号・5 番～7 番・24 番～34 番を除く) 3・4・6・7 丁目、新砂 1 丁目(1 番を除く) 2・3 丁目、新木場、夢の島、若洲		
F5. 世帯の構成	1. ひとり暮らし	2. 夫婦だけ	3. 親と子(2 世代)	
	4. 祖父母と親と子(3 世代以上)	5. その他()		
	F5-2 右記に該当する家族がおられる方は、あてはまる番号に をつけてください	1. 家族に中学校卒業前の子どもがいる	2. 家族に 65 歳以上の高齢者がいる	
F6. 住宅の形態	1. 一戸建持ち家	2. 分譲マンション(公団・公社*含む)		
	3. 一戸建借家	4. 賃貸マンション		
	5. 賃貸アパート	6. 社宅・公務員宿舎・社員寮など		
	7. 同居・間借り・住み込み	8. その他()		

* 公団とは「UR 都市機構(旧日本住宅公団、住宅都市整備公団、都市基盤整備公団)」、公社とは「東京都住宅供給公社」を指します。

江東区での居住歴と今後の定住意向についておうかがいします。

問1 あなたはどのくらい前から江東区にお住まいですか。次の中からあてはまるもの1つにをつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 3年未満（平成16年11月以降） | 2. 3～8年未満（平成11年11月以降） |
| 3. 8～18年未満（平成元年11月以降） | 4. 18年以上（平成元年10月以前） |

問2 これからも江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つにをつけてください。

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. ずっと住み続けたい（住み続けるつもり） | 2. 当分は住みたい |
| 3. あまり住みたくない（機会があれば転出したい） | 4. すぐにでも転出したい |
| 5. わからない | |

現状の江東区のイメージと、江東区が目指すべきまちの姿についておうかがいします。

問3 あなたが思い浮かべる江東区の良いイメージ（アピールできるイメージ）はどれですか。次の中から、あてはまるもの3つ以内にをつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 人のつながりが深い人情味豊かなまち | 2. 落ち着いたやすらぎのあるまち |
| 3. 活気にあふれ賑わうまち | 4. 多様な地域文化が息づくまち |
| 5. 治安の良い安全なまち | 6. 清掃がいきとどいたきれいなまち |
| 7. 子育てをしやすいまち | 8. 教育環境に恵まれたまち |
| 9. 買い物や仕事などに便利なまち | 10. 高齢者・障害者等が暮らしやすいまち |
| 11. 水と緑が豊かなまち | 12. 臨海副都心など発展する新しいまち |
| 13. 懐かしい街並みが残る伝統のまち | 14. 懐かしさと新しさが同居するまち |
| 15. その他（ ） | |

あなたが生活する周辺の環境についておうかがいします。

問6 あなたが生活する上で、次のそれぞれの項目についてどのようにお感じになっていますか。A欄（現在の状況）、B欄（以前と比べて）の**あてはまるところに1つずつ**をつけてください。
 （B欄の「以前と比べて」は4～5年前、それ以降に江東区に住まれた方は転入当時と比べて）
 また、それぞれの分野において、今後優先して取り組んでいくべき項目を**優先度の高い順に2つまで選び、それぞれ枠の中に番号を記入**してください。

分野	番号	あなたの生活周辺環境	A.現在の状況			B.以前と比べて			C.優先度
			良い	ふつう	悪い	良くなった	変わらない	悪くなった	左の中で、今後優先して取り組んでいくべき項目を順に2つ選んで番号を記入してください
教育・児童福祉	0	(例)							
	1	子どもの心と身体、知力を育む学校教育環境						1番目	
	2	子どもを育む家庭や地域の教育力							
	3	子どもが安全で健やかに育つ地域の環境						2番目	
	4	子育て家庭の状況に応じた多様な子育て支援サービス							
	5	利用しやすい保育サービスの提供							
産業・コミュニティ・文化	6	だれもが参加しやすい生涯学習・スポーツの環境							
	7	伝統文化の保護や活用の状況							
	8	地域で芸術文化活動を楽しみ、参加できる機会						1番目	
	9	町会・自治会やNPO・ボランティアなどコミュニティ活動の活発さ							
	10	国内外の多様な人々との交流の活発さ							
	11	あらゆる分野に男女が平等に参画し、協働できる環境							
	12	観光客が増え、観光が活発化している様子						2番目	
	13	区内産業の活発さと中小企業への支援							
	14	魅力ある個店が並び、にぎわいのある商店街の様子							
	15	区内産業の後継者が育ち、受け継がれていく様子							
福祉・介護・健康	16	消費者保護に関する啓発や相談体制の充実							
	17	高齢者・障害者の生活を支援するサービスの充実感							
	18	高齢者・障害者が社会参加する多様な機会と場の提供						1番目	
	19	高齢者・障害者等が自立して暮らせる環境							
	20	保健・医療・福祉・介護サービスの情報提供及び相談体制							
	21	家族・地域による高齢者・障害者の支援体制						2番目	
	22	すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況							
	23	すべての区民が心と身体の健康づくりに取り組みやすい環境							
	24	いつでも、安心して医療相談や医療サービスが受けられる環境							

区民意識意向調査 アンケート調査票

分野	番号	あなたの生活周辺環境	A.現在の状況			B.以前と比べて			C.優先度 左の中で、今後優先して取り組んでいくべき項目を順に2つ選んで番号を記入してください
			良い	ふつう	悪い	良くなった	変わらない	悪くなった	
都市づくり	25	商業・居住・ビジネス機能等が調和した都市環境							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">1 番目</div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">2 番目</div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	26	道路・バス等の整備による円滑な交通ネットワーク環境							
	27	交通事故の危険にあわないような取組							
	28	災害に強い安全なまちづくりへの取組							
	29	災害時の救助・救援・支援体制の状況							
	30	水辺と緑に囲まれた生活空間の整備状況							
	31	臨海部の新しいまちの整備状況							
	32	生活スタイルに応じて住み続けられる住環境							
	33	犯罪の少ない安全で安心して暮らせる住環境							
	34	公害等環境汚染のない安全な生活環境							
	35	ごみの排出抑制やリサイクルなど環境に配慮した生活・行動の定着							
	36	環境配慮行動の浸透に向けた区民や事業者への支援体制							
	37	海・川・緑地等の自然保護・保全の取組							
38	清潔で調和ある都市景観の美しさ								
行政運営	39	区民と行政が協力してまちづくりを進める取組の充実							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">1 番目</div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">2 番目</div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	40	区政の動きに関する情報のわかりやすさ・入手のしやすさ							
	41	区政に意見を言える機会の充実							
	42	ITの活用による各種手続きの簡略化やサービス利便性							
	43	行政窓口の対応や利用のしやすさ							

・江東区の将来に向けた政策・施策についてうかがいます。

ここでは、区が重点的に取り組むべき分野や喫緊の課題を有する分野などについてより細かい意向を把握するための質問を設定しています。なお、「防災」や「治安対策」のように区政世論調査など近年の意識調査により意向の把握がすでになされているものについては、今回の設問を見合わせています。

問7 【健康維持・医療体制の充実】

区民が健康で元気に暮らし続けられるよう、健康維持・医療体制の充実に向け、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内にをおつけください。

1. 全世代に対する健全な食事、適度な運動など健康増進に向けた行動の啓発
2. 特に高齢世代に対する健康指導や運動の促進など介護予防サービスの充実
3. 病気とその予防方法に関する学習機会の拡充
4. 健康診断の結果、生活習慣改善が必要とされた方への取り組みのきっかけや方法の提供
5. 健診の充実や感染症対策の充実による病気の早期発見・治療の促進
6. 休日・夜間などの救急医療体制の充実
7. 気軽な健康相談や医療のための「かかりつけ医」制度の整備
8. 総合病院と地域の「かかりつけ医」との相互連携による医療体制の充実
9. その他（具体的に： _____）
10. わからない

問8 【高齢者の生活支援】

高齢者の地域での暮らしを支援するために、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内にをおつけください。

1. スポーツ・レクリエーション・文化活動の充実・支援等による生きがいの創出
2. シルバー人材センターなどによる就労の場の確保
3. 在宅生活を支援する在宅福祉サービス・介護サービスの充実と質の向上
4. 入所・入居系の介護福祉施設等の整備・拡充
5. 公共施設のバリアフリー化などの高齢者が外出しやすいまちづくりの推進
6. 自宅で生活しやすくするための住宅改修等に対する支援
7. 高齢者が利用できるボランティア・NPOなどの福祉人材・組織の育成と支援
8. その他（具体的に： _____）
9. わからない

問9 【子育て環境の充実】

子どもたちを取り巻く環境の向上や、子育てをしている家族を支援するために、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内にをおつけください。

1. 子育て広場事業や子育て相談事業など相談できる場や機能の充実
2. 子育ての手助けが必要な保護者をボランティアが援助するファミリーサポート事業の充実
3. 認可保育園や認証保育所等の保育施設の拡充などによる待機児童の解消
4. 延長保育、一時保育、病後児保育など保護者の生活に応じた多様な保育サービスの実施
5. 子ども医療費助成や児童手当などによる経済的負担の軽減
6. 24時間、365日の小児医療・救急医療体制の整備
7. ひとり親世帯への経済的援助や、家事援助、就労支援などの支援
8. 児童館、児童遊園など放課後の子供たちが遊びのなかで成長できる環境
9. 放課後の子供たちがのびのびと家庭的に過ごせる居場所の提供
10. 子供を育てている保護者が気軽に外出できる環境の整備
11. その他（具体的に： _____）
12. わからない

問10 【学校の教育力向上】

区内小中学校の教育力を向上していくために、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内にをおつけください。

1. きめ細やかな学習・生活指導を行うため1クラスに複数の教員を配置する複数担任制の導入
2. 児童生徒の進路や理解度に応じたクラス編制を行う習熟度別指導の導入
3. 国語や算数など教科ごとに教師が指導する教科担任制の小学校への導入
4. 個々の児童生徒の発達に合わせた教育を行いやすい小中連携（一貫）校の設置
5. 現在の学区内でなくても魅力ある学校を選択できる学校選択制
6. 地域学や日本語科の導入、英語科の早期実施など科目の多様化
7. 校長への民間人材の登用や教員の区独自採用など教員の質の向上に向けた取組
8. 外部評価機関の設置による学校の運営状況や授業の質に対する評価の実施
9. その他（具体的に： _____）
10. わからない

問 11 【環境保全・資源の有効活用】

環境保全やごみの減量を進めていく上で、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。
あてはまるもの3つ以内に をおつけください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 . 大気・水質・騒音など身近な生活環境の的確な把握・測定 2 . 残された自然の保全や区民農園の運営など、区民が自然とふれあう場の提供・保全 3 . 環境負荷の少ないライフスタイルをめざす環境教育・環境学習の推進 4 . 環境に配慮した製品開発に取り組む大学・事業所等の支援 5 . 自動車から公共交通への利用転換など環境負荷を軽減する事業活動・生活行動への支援 6 . 温室効果ガスの大量排出など環境負荷の大きな事業活動・生活行動に対する取り組みの強化 7 . 区民・事業者・行政の協働による3R(リデュース・リユース・リサイクル)施策の推進 8 . 太陽光発電や風力発電の活用など、自然エネルギーの利用促進 9 . 環境保全や資源の有効利用に取り組む環境ボランティアの育成と活動の支援 10 . その他(具体的に: _____) 11 . わからない |
|--|

問 12 【観光】

観光振興に関する取り組みの中で、あなたが重視すべきと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内に をおつけください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 . 地域の河川・運河、歴史的な建造物など自然景観やまちなみの保全 2 . 美術館・博物館や植物園・庭園などの観光スポットとなる施設の設置 3 . マリンレジャーやテニス等のスポーツ・レクリエーション施設の整備 4 . 伝統芸能・伝統工芸品や史跡・旧跡などの歴史的な有形・無形の文化財の保全 5 . 区民まつりや花火大会などのイベントの積極的な開催 6 . 名物となる食べものや土産品などの名産品の開発 7 . 遊覧船や周遊バスの運行など遊覧観光の充実 8 . 区内周遊パスの発行やレンタサイクルなどの移動手段の拡充 9 . 広報誌やインターネットを通じた様々な観光情報の発信 10 . 広報誌やパンフレットの多言語化など外国人旅行者に対する情報発信 11 . 区内観光スポットを案内できる観光ボランティアガイドの育成 12 . その他(具体的に: _____) 13 . わからない |
|--|

問 13 【新たなまちづくり】

今後区が進める新たなまちづくりについて、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。
あてはまるもの3つ以内に をおつけください。

- | | |
|---|--|
| 1 . 歩道の段差解消などユニバーサルデザインによるひとにやさしいまちづくりの推進 | |
| 2 . 緑豊かなうるおいのある公園や水辺の整備 | |
| 3 . 防災対策、耐震対策のゆきとどいたまちづくりの推進 | |
| 4 . 民間開発における緑地や歩行者通路などゆとりのあるオープンスペースの確保 | |
| 5 . 快適、安全に通行できる生活道路の整備 | |
| 6 . 地域自らの発意による主体的なまちづくりの推進 | |
| 7 . スポーツ・レクリエーションなど多様な利用に配慮した公園や水辺の整備 | |
| 8 . 建築物等の色や高さなど周辺との調和に配慮した街並み景観の形成 | |
| 9 . 大規模開発やマンション・業務ビル建設などにおける環境負荷低減への配慮 | |
| 10 . 鉄道・バス路線の充実による移動利便性の確保 | |
| 11 . 公共施設の敷地や歩道・駅前広場などにおける緑や水に親しめる空間の整備 | |
| 12 . その他（具体的に： _____) | |
| 13 . わからない | |

問 14 【地域コミュニティの活性化】

町会・自治会やNPO・ボランティアなどの地域活動を活性化するために、あなたが重視すべき
 だと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内に をおつけください。

- | | |
|---|--|
| 1 . 地域活動のきっかけづくりのため、地域活動をしている団体の活動内容をPR | |
| 2 . NPOなどの地域活動団体が行う公益性の高い事業に対する経済的支援の拡充 | |
| 3 . 地域活動をしている団体が交流・連携できる場の提供 | |
| 4 . 地域活動などに誰もが参加しやすい環境の整備 | |
| 5 . 新たに地域活動をする団体を立ち上げる場合の支援の拡充 | |
| 6 . 新しく区民になった方や団塊の世代等を取り込んだ町会・自治会組織の活性化支援 | |
| 7 . 地域の活動を周知・PRすることによる、町会・自治会への加入促進 | |
| 8 . その他（具体的に： _____) | |
| 9 . わからない | |

問 15 【区民参画・協働】

問 15-1 あなたご自身が日頃から心がけている取り組みについて、**あてはまるものをすべて**選び、下記の回答欄 に をおつけください。また、今後活動したいと考えている取り組みについて**あてはまるものをすべて**選び、回答欄 に をおつけください

	回答欄 (現在)	回答欄 (今後)
1. 子育てボランティアの参加など、子育て家庭の支援		
2. 体験学習の実施や見回りなどの青少年の健全育成		
3. 高齢者や障害者の自立支援や生活支援のためのボランティア活動		
4. 歩道脇や公園の花壇の管理などの緑化の推進		
5. 住まいの周辺や公道などの清掃活動		
6. 防災訓練などの自主防災活動		
7. 夜間の見回りや登下校時の見守り活動などの防犯活動		
8. 市民向け講座への講師としての参画やクラブ活動の支援などの生涯学習活動		
9. 道路・公園の里親制度や文化財などの維持管理活動		
10. 町会・自治会のお祭りなどの地域コミュニティ活性化の活動		
11. その他（具体的に： _____）		
12. わからない		

問 15-2 今後様々な地域の活動に参加する場合、どのような形が参加しやすいと思いますか。**あてはまるものをすべて**選び、 をおつけください。

1. 個人で	
2. 町会・自治会などの地縁団体を通じて	
3. 公益法人、NPO法人、ボランティア団体などを通じて	
4. 行政により位置づけられている制度で（災害協力隊・防犯パトロールなど）	
5. その他（具体的に： _____）	
6. わからない	

問 16 【区政情報の公開】

区政の動きをよりわかりやすく、また情報を入手しやすくしていくために、あなたが重視すべきだと思う取り組みはどれですか。あてはまるもの3つ以内にをおつけください。

- 1．情報提供を充実するため**区報の掲載内容を拡充**
- 2．区報をどこでも手に入れられるように**公共施設やコンビニエンスストアなどでの配布を拡充**
- 3．写真や動画の配信など**区のホームページを活用した情報発信の多様化**
- 4．区政や地域に密着した情報を提供する**ケーブルテレビやFM放送の活用による情報発信**
- 5．行政と区民が直接顔を合わせた**地域での説明会、意見交換会を実施**
- 6．手軽に**区政情報を入手できるスペースを各地域に設置**
- 7．その他（具体的に： _____)
- 8．わからない

《 調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。 》

【正誤表】

19 ページ 図表 - 13 性年齢別江東区の悪いイメージ<女性> 女性合計欄

<修正前>

女性計(n=701)	買い物や仕事などに 便利なまち	水と緑が豊かなまち	臨海副都心など発展 する新しいまち	懐かしさと新しさが同 居するまち	人の繋がりが深い人 情味豊かなまち
	57.5%	35.7%	32.0%	28.8%	24.1%

<修正後>

女性計(n=701)	雑多で一体感のない まち	街角のごみが目に付 きたないまち	騒がしいまち	訪れてみたい場所の少 ないまち	高齢者等にとって暮 らしにくいまち
	23.3%	18.4%	17.7%	17.4%	15.7%

23 ページ 図表 - 16 性年齢別江東区の望ましい将来像<女性> 女性合計欄

<修正前>

女性計 (n=701)	雑多で一体感のないまち	街角のごみが目に付 きたないまち	騒がしいまち	訪れてみたい場所の少 ないまち	高齢者等にとって暮 らしにくいまち
	23.3%	18.4%	17.7%	17.4%	15.7%

<修正後>

女性計 (n=701)	福祉・保健・医療が連携 し地域福祉が充実したま ち	犯罪が起こりにくい環境 が整い安心して過ごせる まち	災害への備えが整って おり、安全に過ごせるまち	高齢者や障害者が生涯 にわたって、いきいきと 暮らし続けているまち	子育てがしやすく、子 どもがのびのびと健やかに 育つまち
	43.7%	41.5%	34.2%	29.5%	29.4%

江東区民意識意向調査

平成 20 年 3 月

印刷物規格表第 1 類

印刷番号 (19) 114 号

発行 江東区政策経営部企画課
江東区東陽 4 - 11 - 28
電話 : 03 - 3647 - 9111(代)

編集 三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社

印刷 株式会社カントー